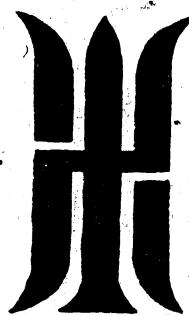


日本水泳連盟機関紙

# 水泳

第 110 号 昭和31年4月

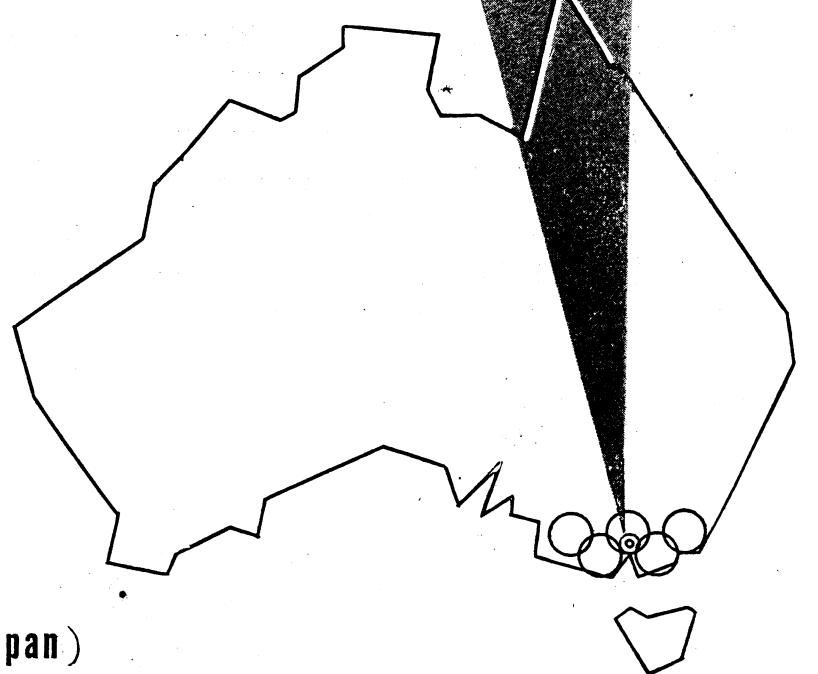


No. 110 April 1956

“SUI EI”

NIPPON SUI EI RENMEI

(Amateur Swimming Federation of Japan)



# 昭和31年度行事日程予定

|                     |              |             |
|---------------------|--------------|-------------|
| オリンピック強化男子競泳合宿練習会   | 1月4日—10日     | 東大室内プール     |
| 〃 女子競泳合宿練習会         | 4月1日—10日     | 白浜温泉プール     |
| シンクロ、ナイズドスイミング講習会   | 4月4日—7日      | Y W C A プール |
| 〃 競技会               | 4月7日         | 〃           |
| オリンピック強化飛込合宿練習会     | 4月19日—28日    | 大阪 プール      |
| 〃 男子競泳合宿練習会         | 4月28日—5月7日   | 別府室内プール     |
| 関東学生水球リーグ戦          | 5月26日—7月1日   | 神宮 プール      |
| 第28回早慶対抗水上競技大会      | 6月1日         | 〃           |
| 第21回日立、明三大学対抗       | 6月10日        | 〃           |
| 水泳指導者講習会            | 6月11日—16日    | 両国高 プール     |
| 〃 検定試験              | 6月15, 16日    | 〃           |
| 〃 検定試験委員協議会         | 6月15日—17日    | 〃           |
| 第1回日本大学、中央大学水上競技大会  | 7月1日         | 神宮 プール      |
| 男子水泳教室              | 7月25日—29日    | 野沢温泉 プール    |
| 〃                   | 〃            | 久留米 プール     |
| 女子 〃                | 〃            | 天理 プール      |
| 北海道高等学校選手権水上競技大会    | 8月4, 5日      | 未 定         |
| 東北 〃                | 〃            | 秋田市営 プール    |
| 関東 〃                | 〃            | 山梨県営 プール    |
| 中部 〃                | 7月28, 29日    | 松任 プール      |
| 近畿 〃                | 8月4, 5日      | 甲子園 プール     |
| 中国 〃                | 〃            | 鳥取船岡隼 プール   |
| 四国 〃                | 〃            | 松山東高 プール    |
| 九州 〃                | 〃            | 別府温泉 プール    |
| 日本選手権兼オリンピック予選会     | 8月10日—12日    | 神宮 プール      |
| 第24回日本高等学校選手権水上競技大会 | 8月17日—19日    | 〃           |
| 第1回日本泳法大会           | 8月19日        | 天理 プール      |
| 国民皆泳週間              | 8月26日—22日    | 全国          |
| 第7回全国勤労者水上競技大会      | 8月25, 26日    | 天理 プール      |
| 第2回全日本中学水泳通信競技大会    | 8月26日        | 各府県会場       |
| 第29回関東学生選手権本上競技大会   | 9月1, 2日      | 神宮 プール      |
| 第32回日本学生            | 9月7日—9日      | 〃           |
| 第11回国民体育大会水上競技大会    | 9月23日—26日    | 甲子園 プール     |
| オリンピック代表選手合宿練習会     | 未 定          | 未 定         |
| 第16回オリンピック大会水上競技大会  | 11月29日—12月7日 | メルボルン       |

目 次

|                      |                  |    |
|----------------------|------------------|----|
| メルボルン、オリンピック大会の為に    | 田畠政治             | 2  |
| 座談会 “メルボルンへの道”       | 水泳担当記者           | 4  |
| オリンピック強化冬期合宿報告       | 太田光雄             | 13 |
| シーズンを迎えるための健康管理      | 黒田善雄             | 14 |
| 水泳と栄養                | 鈴木慎次郎            | 16 |
| 古川君「日本スポーツ賞」を授与する    |                  | 17 |
| シーズン中の栄養献立           | 三枝美貴子            | 8  |
| 飛板飛込の基礎理論            | 毛利元英             | 24 |
| 日本泳法研究会を行つて          | 多治見祐孝            | 26 |
| シーズンの練習計画            | 鈴木重孝, 浦井保弘, 池田岩夫 | 28 |
| オリンピックのために私は如何に練習したか | 葉室鉄夫             | 28 |
| 主なる大学の卒業生と新入生        |                  | 29 |
| 海外ニュース               | 記録委員会            | 30 |
| 昭和 31 年度主要競技会要項について  |                  | 38 |
| 定例代議員会議事録            |                  | 39 |
| 水連日誌                 |                  | 50 |

# メルボルン・オリンピック 大会の爲めに

田畠政治

メルボルン・オリンピック大会を控えて、昨年末から本年の初めにかけ豪州水泳界の華々しい活躍は実に目を見張らせるものがあつたが、更に今春のインドアシーズン末期に於ける米国の躍進は誠に脅威に値するものがある。然もオリンピック大会の開かれる12月は我等にとって全くオフシーズンであるに拘らず彼等にとつて戸外、室内の別はあつても何れも水泳シーズンの半ばであるというハンディキヤブを考慮に入れゝば、一通りや二通りの努力では仲々彼等に打勝ちことはむづかしい、彼等の力が一寸常識をうわまわっていることを考えれば吾々も亦常識を逸脱した努力をしなければ追越せない、大いに憚を締めなをさなければならぬ所である。

初めて南半球で開かれる今回のオリンピック大会は11月22日より12月8日まで、陸上は前半、水泳は後半に行はれる、代表選手は陸上の10月7日を最後とし、9月末日までには、全部決定される。水泳は8月10日—12日の全日本選手権を予選会にして主力は決定し、更にインターラッヂと国民体育大会の成績を参考にして補充することになっているが、少くも男子競泳は選手権大会で殆んど全部決定され、極めて少数がインターラッヂで拾い上げられる位のもので国民大会まで持ち越されるやうなことはあるまいと思はれる。

今回の代表選手は役員を含め145名を限度としすべての競技を通じ精鋭主義で選ばれヘルシンキ・オリンピック大会の第6位の記録を基準とする、従つてサッカー、バスケット等のチームゲームが参加の資格を得ることになれば145名になり、これ等が参加しなければ、ヘルシンキ大会と同じく100名位になるものと思はれる、現在、水泳で代表選手の選考基準を突破しているものは男子競泳を別にすれば男女の高飛込の2,3名で今一息で基準に達し得ると思はれるものは女子競泳の平泳と400米リレーである、日本のスポーツ界では只一人のオリンピックチャンピオン前畠さんを持つ女子競泳としては何としても参加の資格を得て、優勝は望めないにしても6位迄に入賞はしたいものであり、今後の努力次第では決して不可能ではない、特に女子400米リレーの為めには全日本選手権と国体では最優4名を1組として400リレーの記録をとり、ヘルシンキ大会の第6位の記録を突破すれば参加資格を得ることになる、200平泳は3分を破れば問題なく資格を得るが、現在に於ては双方共に、そこまで到達していない。女子競泳が今度もオリンピック

に参加出来るか、どうかは正に今後の努力次第である。

役員については1月の代議員会で監督ヘッドコーチ小池君、競泳コーチ太田君、飛込コーチ小柳君、マネーチャー、古橋君と決定して居り、女子の参加が平泳だけということになれば男子競泳コーチに世話を頼むということになる公算は強いがリレーも加はることになつて、女子競泳が6,7名以上になればどうしても専門の女子コーチをつけることになるであらう、小池、太田、古橋君等は昨年の日米対抗の監督陣で日本を優勝に導いた殊勲者で、特に小池君は学生時代慶應の主将として手薄の慶應チームを率いて早慶戦、インターラッヂ共に完勝した実戦の雄であり、太田君が水泳教室を初め水連の講習会や合宿を手がけて新人に馴染多く、古橋君は既に豪州には2回も長期滞在したことがあり、各方面に顔が売れているから豪州へ行つての同君の活躍は水泳チームにとって、非常に有利である。この外、安部君は国際水泳連盟の理事として、メルボルンオリンピックではマネーチャーとしてミティのメンバーとなり、シェリーにもなるから、水泳チームと国際水連並に豪州の組織委員会との連絡は他の競技と違って万全を期し得るであろう。女子専任コーチをつけるかつけないか、若しつけるとすれば誰とするかは代議員会で一任された常務理事会で慎重に審議決定されるがこの際、役員の問題について私の意見を述べておく、この点は既にロサンゼルス・オリンピック大会の報告書に書いておいたが、世間でよく役員の数が多いというが、これは採るに足りない俗論である。オリンピック大会は勿論、総べての競技会でよい成績を挙げる為めには原則として役員は多ければ多い程よい、例として或は当を得て居ないかも知れぬが、戦争に勝つためには現実に戦う兵隊のみでは駄目である。司令官も参謀も必要であるし軍医も主計もいれば輜重兵も炊事係も伝令もいる、選手の習性を一番よく知っているコーチが選手1名に1名づゝについて、起きるも寝るも、食事も練習も休養もその選手に一番適応するやうに行い、このコーチ達をヘッドコーチなり監督なりが調制指導するやうにすれば最もよい、その実例はソ連のやり方である。そのよいことはわかっているが選手をさへ充分つれて行けない日本では、これは不可能であるし、又実際問題としてソ連や米国のやうに役員の為めに大邸宅を借り上げれば別であるが、オリンピック村に生活するものは役員の数は極度に制限される、さうなれば全体的立場に立ってコーチ

は選ばなくてはならない。従ってコーチの選考は誰がオリンピックコーチとしてチーム全体のために比較的一番適任かという観点に立つべきであって、日本水泳界のために尽したとか、よい選手を出したとかいう論功行賞の具に供することは厳につゝしまなければならないし、現実に水連はこの方針を堅持して来た、今回も常務理事会は必ずやこの線で進むものと確信する。水泳界に貢献した人達を表彰することは充分必要なことであるが、現実の問題としては頗るむづかしい、誰が表彰されて誰が表彰されなかったというやうなことから逆効果となる危険が多いし、それを恐れて乱発すれば表彰の功果もなくなる、この点が必要も充分知っているながら踏み切れぬ所である、当面の課題としてお互に研究しなければならぬと思っている。

メルボルン・オリンピック大会に対する世界スポーツ界の関心事は、水泳で日米豪の何れが優勝するかという所にある。オリンピック募金映画「若い河」で英本国のオリンピック委員がいっているやうに、水泳は濠州の国技でありその優勝は英連邦全国民の非願であり、希望である。又現実の問題としては、平泳とバタフライを除き100米優勝の本命といわれるヘンリックスを初め短中長距離の自由形、背泳には優勝を争う資格のあるものが各種目2,3名づゝは居るし、その上、地元という地の利があるて然も水泳シーズンの真最中である。7種目中、平泳とバタフライを除き100米、400米、1500米、100米背泳800米リレーの5種目優勝のチャンスは充分ある。1方米にはコンノ、親川は既に峠を越し、今回のオリンピックでは日豪両国の争覇に委せるのではないかと思はれたが、今春に入ってブリーン君の大記録によって、米國の中だるみ的低迷状態は破られて日豪両国の脅るべきライバルとして立ち上った。事実米国は平泳を除いてすべての種目に優勝のチャンスは充分ある。これに対し日本はどうか、古川君の平泳は一寸桁はずれの強さで先づ優勝は間違いあるまい、石本君と長沢君のバタフライは現在に於ては世界第1位、第2位であるが、平泳と違って新種目だけに、外国でもどんどん進歩するであろうから、勿論安心はして居られない、併し2人を揃えていることは非常に有利で優勝のチャンスは充分ある。100米は記録の上ではヘンリックス君には僅に及ばないが、古賀、谷、鈴木君と3名を揃えていることは大きな強みで、鈴木君は益々円熟して確実性を増して来るし、古賀、谷両君は更に躍進途上にある。殊に100米は水もので、所謂本命と予想されるものが勝つたことはないから、ヘンリックス君の優勝は古川君程の確実性はない、3人を揃えた日本に優勝のチャンスは充分ある、長谷君の背泳は富田君の躍進で益々有望である、親川、ボゾン両君の時代に既に去った、今度は長谷君等新人の番である、ブリーン君の1500米18分5秒9は確に驚きに値する。併し卒直にいって古橋君が18分19秒を作った時の驚きに比すればそれ程のものと思はない。山下、新宅両君が、僅か1年でかすんで終うというやうなへマさへやらなければ、古

橋君の記録は既に1昨年、山下君に依って破られ、恐らく昨年は山下、新宅両君のいづれかに依って今春のブリーン君位の記録は出ていた筈である。両君の失敗に依って、18分そこそこの大記録はオリンピック大会で持ち越されるものと思はれたのを、突如ブリーン君に依って作られたのであるが、それが長距離得意の日本人の代りに米国人に依って作られたということと、予想より1シーズン早く作られたということは確に驚きである。併し日本人の記録とブリーン君との開きは1500米で20秒そこそこである。少しあげ汐にさへ乗れば1500米で30秒や40秒何でもない、ロサンゼルス大会の時の実例を見ればはっきりする、即ち昭和7年6月12日神宮プールで開かれたオリンピック予選会では100米は宮崎君が59秒8、100米背泳は清川君が1分10秒4、1500米は北村君が19分54秒4であつたが、2月後の8月上旬のロサンゼルス大会では宮崎君は58秒0 清川君は1分8秒6で北村君に至って19分12秒4で何れも優勝している。去年の夏の日本の記録と今春のブリーン君の記録の開きが20秒や30秒あっても、その意味では驚くには足りない、有為の新人を多数持つ我国としては優勝のチャンスは依然として充分ある。かく数えて来れば日本は全種目に優勝のチャンスは充分ある。

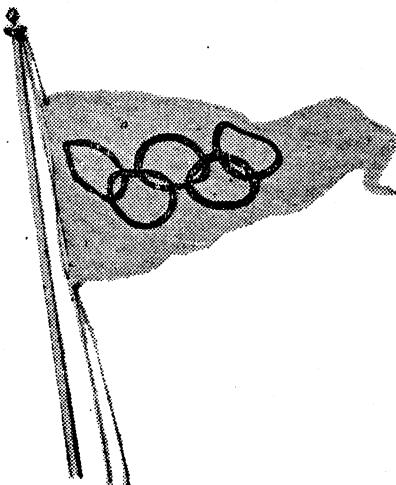
たゞ、こゝで吾々が卒直に認めて置かなくてならぬことは嘗て古橋君の出現が世界水泳界のレベルを引き上げたやうに、昨年末から今春にかけ米豪両国の選手の活躍は確に再びレベルを押上げた、昨年夏まではオリンピック大会の100米は56秒2なら優勝確実、56秒4でも勝てるかも知れぬと思はれていたが、現在ではこれより1秒あがって、オリンピック優勝は55秒2か4の力を持つ必要があると思はれるやうになつた。常識以上とさえいえる。

思えば大きな進歩である。昔はスポーツ選手で一流になるには酒を飲んでも不摂生をしても、こたえぬ位の頑丈な身体を持っていなければならなかつたが現在はさういうやうな立派な身体を持ったものが酒のままで、充分栄養をとり、充分摂生して常識以上の猛練習をしなければ世界の第一線には立つて行けない。陸上の織田君も「現在は練習量の競争だ、この競争に堪えて勝ち残ったのみが一流選手たり得る」といっているが正に至言である。メルボルン大会に優勝する為めには一見目茶と思はれるやうな量質共に常識以上の猛練習を行はなければ不可能である、その為めには充分な栄養と摂生とに依り、これに堪え得る身体を作ることが不可欠の要件である、メルボルン大会に優勝する為めには栄養に依って裏打ちされた常識以上の猛練習こそ絶対要請であることを銘記すべきである。

× × × ×

## 水泳担当記者座談会

# “メルボルンへの道”



出席者

辻富士夫(朝日新聞) 須佐光雄(毎日新聞) 深沢兵一郎(読売新聞)

大場浩一(共同通信) 松尾博志(東京新聞) 木村 勝(スポーツニッポン)

司会 上野徳太郎(水連常務理事、毎日新聞)

川田 友之(編集委員長)

上野 今年は申すまでもなくメルボルン・オリンピックが開かれる年なので、そのオリンピックには日本のスポーツの先頭を切って行くかの様に思われるのが水泳チームなんですが、それについて、現在各新聞社の第一線において、しかも水泳担当のヴェテランとして活躍なさっている皆さんに今晚お寄り願い、水泳についていろいろと御意見を承わりたいと存じ、お集まりを願った次第です。腹蔵のないお話を承われば、有難いことと存じます。さし当って水泳連盟では、オリンピックに出かける各スポーツ団体にさきがけまして、いわゆる役員、監督、コーチ団というものを結成したのでございますが、早くこういうスタッフを決めて置いたということについて、なにかお話を伺いたいと思います。

辻 その前にちょっと川田さんに聞くのですが、あの4名全部で賄うわけじゃないのでしょうか?

川田 女子が参加する様になれば、当然そのコーチ1名が追加されるし、そのほかに水球の視察員というのが、チームが参加

しないで行けるわけです。

辻 その他にもう一枚会計みたいなものが?

川田 普通の割合からいければそういうのがあると思うが、古橋君が濠州に先発する9月の末ごろまでは全部やり、その後チームがメルボルンへ出発前の合宿中は水球の視察員の人が古橋君の代りをや

るということを聞いています。あるいはその人が会計的なことも古橋君と分け合ってやるのじやないかと思いますが。結局田畠会長の方針としては、選手も精鋭主義だけれども、それについていく役員も非常に精鋭主義じやないかと思う。

辻 僕は個人としては、スタッフを早く決めたことは賛成です。水泳連盟が早く決めたということは非常にいいと思う。

松尾 他の競技団体、バスケットはきめているものもあるが、メルボルンのオリンピックに関しては、やっぱり一番自信をもって先手を打っていくのが水泳連盟だということは、日本の水泳は強いからだといえると思う。勝つか負けるかは別として、今シーズンそのスタッフでやっていこうという意気込を示し、また連盟をはじめ選手全部がそういう気持になっているということは、他の競技団体ではその点不安だ。こんどはそのスタッフがよかったです、悪かったですという問題だが……

辻 それを云い出したらいろんな問題が出て来る。いまの質問は、早く決めた方がよかったかどうかということなんだ。

深沢 それをやったら5日ぐらいかかるやうよ。  
(笑)

松尾 前の問題になるが、ヘルシンキで負けて帰ってきて来た時に、やっぱり水泳連盟は一つの方針を立てたと思う。で、高石さんを強化委員長にして、

現実にやって来たわけだ。そういうことを非常にうまくやって今度のスタッフができたと思うが、そういうところはやっぱり水連ならではという感じはもっている。

大場 いま松尾君がいったように、ヘルシンキから帰って来いろいろなことをいったわけだ。それでメルボルンの強化面は前のコーチング・スタッフが担当するのかどうか高石さんが強化委員長になる前にゴダゴダしていた。あの頃は水連にしてはちょっと手緩いことをやってるなと思ったけれども、それが、高石さんが強化委員長になって、実績が少しづつ現われて来ている訳だ。

まあ、色々な事があったろうが、こういう人事を一編にやれたということは大したもんだと思う。それに早く決めてもらえばその人達が腹もきまつちやうしね。僕は日米対抗の時に、すでに今度のメルボルンはあの人達がやるのだという気がした。そして日米対抗には勝ったし、あそこで一気に解決したわけだ。

松尾 人の問題でゴダゴダしない点は、他の競技団体にくらべれば、非常にすっきりしていると思う。たとえ内部にどういういきさつがあろうと——小池君が悪いとかどうとかいっているのじやなくだね、外部にいう場合でも、水連は鉄桶の陣だと思う。

上野 深沢さん、いま大場さんが去年の日米対抗の人達がこんどのスタッフになると、すっかり見透されていたそうですが、どうですか。

深沢 僕も当然そうなるのじやないかと思っていました。うち(読売)はあの前に日米対抗の座談会をやったが、どういう顔触れがいいかと上から尋ねられて、僕はあの時一応小池、根上、太田、古橋といっておいた。それじや君いって頼んでこいと勝手に俺に頼んだわけだ。そのネガさん(根上氏の愛称)はあの監督になつたし、他の連中はそのまま監督になつちやつてる。大体この4人に来てもらうことにしたが、小池先生は俺はイヤだ、ネガさんが行ってくれるというならいくといふし、ネガさんも同じようなことをいっていたが、2人で話がついてやつたわけです。あのころ田畠さんに、今の見透しの話をしたら、とにかく

そういうことになるのじやないかと彼もいっていた。大体あの頃から、水連としての対策、ハラはあったのじやないかという気がする。

大場 まあ日米が始まる前は、どうなるかわからぬという気もした。役員になった人達だってあの時勝つなんていい切れたもんじやなかったと思う。しかし、僕はしばしば練習を見に出かけたがとにかく一生懸命だった。暗くなつても、個人個人の練習方法まで注意していたし、それで勝つたのだろうが、とにかくその時には、変ったなあと思った。

深沢 新聞の悪いところだが、良い悪いというのは結果で決める。だからきまつた人には非常にいいこともあるし、悪いこともあるわけだが、結局結果で値段がつけられちやうんだ。

上野 オリンピックの選手の予選会の重さというか、主目的といいますか、それは8月の中旬の全日本選手権大会に置いたわけですが、その時にこぼれたような人を、9月までの、大きなインターハレジとか、国体などの成績によって採り取って、いわゆる全勢力を集中していこうという予選方針をとったわけですがね、これについてなにかあったら一つ。木村君どうですか。

木村 いまいわれたことは別なことですが、人選については現在の役員、これは最高のものだと思う。全国の水泳関係者も、みんなそれ以上な、或いはそれと違った人選があるとは誰も思っていないと思う。ただ、私は感ずるままをいうと、ヘッド・コーチの小池さんが、現在の状態ではとにかく用事が多すぎるのじやないかと思う。ヘッド・コーチがもうきまつたのだから、小池さんはメルボルンに勝つという、それだけで一生懸命になってもらいたい。というのは、今小池さんの仕事は前に理事長の藤田さんがやつていた分と小池専務理事の仕事との2人分を背負っている。だからその激務をやり、尚且つ、メルボルンのヘッドコーチという重責を負わされている。いろいろなオリンピック対策もあるし、そうした時に水連の庶務及渉外関係などもみんなひっくるめて、1人で奔走しているような姿を見た時に、誰かにこういう水連の事務とか、その他細かいものは代って

やっていただいいて、小池さんには、ただメルボルンに勝つことだけ一本で進んでもらいたいということを希望しておったわけです。

**松尾** あの時、代議員会できました時にそういうことになったのじやないかと思うが。

**上野** 小池さんが選考される席上でも、そういったような心配をされた向きもあったようだが、会長以下、その仕事の代理人というか、補助する人は当然出て来るはずだから、そういう心配はないということを僕は聞いたように思う。たしかに木村さんのいわれる通り、人力には限りがあるから、われわれも、小池さんに専心やってもらうことが一番いいと思っています。

**大場** 僕らはとにかく監督をやる人が水連の責任者だというのが、これまでの水連の行き方だったと思う。そういう細かなことは、当然他の人が手伝っていると思った。

**川田** 本当にそれに没頭させてやりたいという気持はみんなにある。

**大場** 小池さん自身がそういう気持だと思う。ヘルシンキのコーディングスタッフの一員だったから水連の行き方を見てよく知っているし、それにあの人が専務理事になった時、こんどこそしっかりやろうと考えたに違いない。それになんというか、自分が経験してきたオリンピックをはじめ、いろんな経験を全部活かして、こんどこそやってやろうという、そういう性根に凝り固まっていると思う。だから僕は、絶対いいといって、推薦するわけだ。

**上野** 木村さんの心配はみんなよくわかりますよ。

**松尾** 連盟そのもののアレンジメントは大したことではないですよ。水連は、オリンピックに勝つことが絶対の要請であるならば、すくなくも小池氏がシーズン前に監督に決められたということは、それ相当の水連の全部の覚悟があって、そういうことになったのだと、外部から見てそう思っている。

**上野** 8月の予選が日本では主目的ですが、たまたま濠州なんかも、役員だとか選手の顔ぶれを決めるというようなことがわれわれの耳に情報が入って来ている。ここに偶然地元と、敵地へ乗りこんで行く日本水泳団のあり方が同じだったわけで、ひそかに微笑も出て来るわけなんですが、こんな点についてなんかお話を伺いたい。

**大場** ハンガリアなんかがそうですが、こんどやる時期は11月の下旬だというので、シーズンをここ2年ほどずらしている。そういう周到な準備の下にやるならいいけれども、日本の水泳はそうじやなかったのだから、やっぱり一応シーズンの最盛期にピークをつくらなければいけないのじやないか。そういう意味で、日本はやっぱり気候とか自然現象に逆らわないでやっていくべきだと思う。8月の初めに全日本をやることは当然だろうと思う。問題は、その時勝たなくても、いいやつが現れたら拾うということだが、ヘルシンキの場合も平泳の古川君が、ちょっと頭をもたげて来て了一が、拾われなかつた。ところが8月中旬に大記録を出した。そういう意味の新人を探すことにも重点を置かなければいかんと思う。予選が8月ということなら、それを目がけて練習して来るし、それから後も長いのだから、そこでまた一叩きできると思う。

**上野** 野に遺賢ながらしめるのですな。9月の終りまでに、ビッグ・ゲームについてよく目を見張って残りないように掬い上げたいというのが今回の選考方針だが、ところでオリンピックは11月の終りから12月にかけてあるので、まともに考えると最終予選というものは、できる限りその近くに持ったらしいんじやないかという考えも起らぬわけである。8月の主要予選をなくして9月に一度最終予選で一発でポンとやるという意見もあったが

**辻** 時期を多少ずらすといふこともいいが、アメリカなぞは、最終予選というものは、お前がオリンピックに行けるかどうかはこの試合がすべてを決めるのだ、だから選手も俺の最後の勝負がこの月のなん日だというのでそれに調子を合していく、だからそれにうまく調子を合わしていく選手、これが一番貴重だ。すこし早目にいい記録を出しても、目標の大会で肝心の記録を出せないような選手は、もうそれだけで、資格はない。ある意味において9月にするとか時期はあるが、10中8、9はこれできるのだという目標を与えて、それに一番いいコンディションを持っていける選手が一番確実で、まぐれの記録とか、3大学の時によかったからあれは今は悪くてもう少し訓練したらいいということにはとらわれないことだ。

**深沢** 賛成だな。

**上野** それはもう、いわゆる選考委員会などはやは

り炯眼の士ばかりがそろっているだろ うと思うから、万遗漏ないと思っている。

松尾 水連の選考委員会は、われわれ素人が考えるよりいろいろな状況を充分考えてやっているのだから僕は間違いないと思う。信用していいと思う。けれども、要するに結果において負けちやうと、後であれをやらなければならなかつたとか、だからこっちはどうとか話が出るんですよ。

深沢 俺は時期の問題より、今年の水連のやり方は、とにかく全日本を一番ウエイトのかかった選考資料にするとすれば甘いと思う。バタと平泳は特別の選考をするにしても、自由形百で1,2位までは完全にいけるという線まで出さなければいけない。それなら選手も張り切れるし、この大会というものをねらって来れるという選手は使えると思う。

上野 深沢さんのお話の第1、第2人者はやはりオールジャパンでは大体きまるような考え方らしい。これは大丈夫だろうと思うが……。

松尾 それも種目によってですね。

深沢 かりに谷、古賀、鈴木なんかのタイムが60秒だったということになると、選考委員会がメチャメチャになると思うが、60秒でもしようがないと思う。

松尾 それは極端すぎる。そりやあダメだよ。

上野 60秒でも1着になつたら、それはメルボルン行きというのは決定せよという話ですか。

深沢 それくらいの自信があつてもいいと思う、極端な例をいえば、全日本を大きくみて、これが選考会であるという太鼓判を押せる自信があつてもいいんじやないかと思う。

松尾 全日本を最終予選にするとは異論はないと思う。

深沢 実質的にそつているのだけれども、選手自体は他の時に、3大学などにいい記録を出せば、後はどうでもいける可能性があるというのでは可哀想だ。

松尾 年間を通じての、早慶戦の時はどう、3大学の時はどう、全日本、インターラッジがどうという今までの一連の成績を1人の選手を見る場合に、波を考えるわけだ。そういうことがあるから、いま深沢君の意見が出ているが、今度の場合は全日本は一つのオリンピックの最終予選なんだから、辻君のように、最高のコンディションを持

って来ないようなやつをオリンピック選手にしても……コーチがうまくいけができるのかもわからないとしても自分の力を最大限に発揮できるような選手を選ばなければいけないということを辻君はいっていると思うが……

深沢 それは賛成だ。だが、かりに背泳でAという選手が、田舎の大会でもなんていが、1分3秒で泳いだ。それを2度も3度も出した。ところが全日本では1分10秒だということに対してはどうなるのかな。

松尾 田舎で1分3秒出して全日本で1分10秒しか出せないということは、僕はあり得ないと思うけれど……

深沢 あり得る。レースの世界であり得ないと云うことあり得ない……(笑)

大場 2人のいうことはわからないな。(笑)僕はこう思う。ヘルシンキの時の古川、日米の時の山中ああいうものを拾えなかつたのは、拾つた結果がどうなつたかじやなくて、なぜ拾えなかつたかということだ。

松尾 種目にもりますね。

上野 その種のことわれわれの頭に一番出て来るのはプレストストロークとバタフライストロークの人選ですよ。両方合して3人だから。

辻 ヘルシンキの時の古川、日米対抗の時の山中のことは、古川の場合、非常に炯眼の士がおつて、これは一月すればヘルシンキの2,3位に入る記録を出すからと、それを水連の選手選考委員会に出しても万人が納得しないだろうし、かりにそういう考え方を押し通して、成功すればいいが、不成功の場合を考えたらその論は成り立たないですよ。

大場 あの時は最終予選をやつたが、こんどはそうじやないのだから……

辻 こんどは日本選手権にほとんど重点を置く、あとは単なる参考と私は承知していますが。

深沢 水連は選手に徹底させなければならんですね。

上野 全日本選手権兼オリンピック予選と看板で銘打っておく予定になっている。

松尾 野に遺賢ながらしめるやり方ではないにしても、要するに全日本で立派な成績を挙げなければ、オリンピック選手になれないと思って差支えない。インターハイとかインターラッジとか国

体というものがあるが、国体で選手が出ることは考えられない。インターハイではいくらかあるかもしれないが、インターハイで、その時全日本を凌駕する高校生は全日本で出せるわけだ。

**大場** 新宅が3年の時、日本選手権に出なかった。高校大会が最高の目標だということですね。昨年は山中、池尻が日本選手権当時予想出来なかつたほどの好記録を高校選手権で出したわずか一ヶ月の間にね。

**松尾** とにかく全日本に目標に置くと思う。

**深沢** 一番の問題は、いまの現役の選手に話を聴いてみると、全日本の2位にすべった場合に他の大会で優勝すれば、なにかで記録を出せば入るのだと考えている。選手に対して、この一番という気分を持たしていいことは事実だ。

**須佐** 僕は全日本でオリンピック・チームを決めてしまった方がいいんじやないかと思う。もうコーチ陣も決っていることだし、オリンピック・チームはできるだけ早くコーチ陣の手にゆだねた方がよいのではないか。

**大場** こんどは違うと思う。ヘルシンキの時は出発の時期が迫っていたからどうしようもなかったが、こんどは予戦が終ったあと出発までの練習時期が長いから極端な話、山中、池尻が四週間ぐらいであそこまで来ている。

**松尾** 山中、池尻は当然入って来るもんだと考えていいと思う。いまは芽を出しているから僕らはそう思うけれども、これは種目の問題になって来ると思う。100メートルで芽を出そうとしてもあの3人以外に60秒を切るか切らないかの芽を出してもこれはアウトだ、駄目だ。それなら芽を出すところはなんであるかというと、1500と400だな。それ以外に若いもんが芽を出すところはない。平泳はきまっているし、出る幕はない。バタフライは長沢が帰ってくれればだし、バックは長谷を追い越すやつはおそらく出て来ないだろう。出て来るとすれば1500と400しかないですよ。だから種目について考えた方が簡単だと僕は考えるな。

**上野** 種目的なお話を出ましたが、須佐さん、ダイビングは8月と9月ではガッチャリと甲と丙と違うことはあり得ないから、8月には大体目鼻がつ

いちやうわけですか。

**須佐** つけるべきだと思います。そしてミッチャリと練習をすべきでしょうね。事情が許されれば競泳チームよりひと足先きにメルボルンへ乗りこんでやるべきだと思います。プールの雰囲気に慣れ、次に飛板などのクセも呑みこめるようになってから、飛ぶ自分の種目の仕上げにかかるねばなりませんから時間がかかりますよ。

**辻** 豪州の新聞を読んでいたら、30名の、いわゆる候補選手、日本流ではね、それを9月に選んでやろうというふうな案が出ている。それに対してヘンリックスはそれに参加はしない、こっちで練習するというような考え方が出ている。豪州自身もまとまっていない、まだバラバラなんだ。

**松尾** そういう点では、僕は去年から継続して、今年の正月からとにかく60人を連れて合宿し、4月にまたやるわけだが、もっといいメンバーでやるといつても、おそらくあれ以外から出っこないと確信するんだ。どんなに出て来ても……あれ以外から出て来れば、これは大変な拾い物であって、すくなくとも正月やった60人以上の中からオリンピック選手は出ないと思う。突発的にローズとかチヤップマンとかみたいのが出ればだが、水連が60人をつかまえているとすれば、あれを伸ばす以外にないと思う。

**上野** 松尾さんが合宿訓練の話をされましたか、水連としては第一線選手の強化合宿はもちろんのこと、これにいわゆる新人選手の養成を考えていかなければならないし、またそれをやっているつもりなんです。例年水連ではお正月と早春のころ、大体年2回くらいの割合で合宿合同練習をやっています。もちろん、これには第一線選手も入っているけれども、しかも若い有名、無名の選手も加えてやっている。一応はやっているつもりなんですが、もととなにか突き進んでいけるような考の方がありましたら話して下さい。

**辻** 僕が前から考えていることは、中学校の全国大会あるはブロックの大会の水泳を盛んにすること文部省から横槍を入れているが、それから中学、高校を通じて地方でいい選手を養成したり、コーチのうまい人になんらかの方法で水連が優遇することだ。

**松尾** 中学生が中央へ集まるようにしろということだね。

辻 それに、いい選手を出したという場合に、その指導をした人を、いろいろ表彰の方法もあろうが、水連としてできる限り優遇することだ。それによってその人達は、水連がこうしてくれたということで励みを感じるだろうし、その人だけじゃなしに他の人もいい選手を育てようとの励みになる。優遇の仕方はいろいろあるだろうけれど、とにかくその人に御苦労さまでしたという方法を考えること、中学校の競技を盛んにすること、この2つだ。

深沢 そういう点で僕も一ついいたい。いま、そうした若い中学生たちは水泳に目を向けていないし、いい素材をつかんでいないというが、それは結局メルボルンで勝つことが一番の早道なんだ。これにうんと勝ったということになると、小、中学生の水泳に対する考え方の方向が違って来ると思う。オリンピックで水泳がいつも2、3位だったら、水泳はいつまでも衰えていくばかりだと思うんだ。ヘルシンキで体操とレスリングの選手が日の丸を揚げたので、そういう選手がふえて来ている。バスケット、バレー、野球に水泳に欲しいような選手がいっぱいいるんだ。ああいうものに水泳の強さを再認識させれば随分集まって来る。そういう選手を養成する方法はいろいろあるが、そういう選手を、子供を水泳の方に向けることは、メルボルンで勝つこと自体が一番早い……。

辻 きょうはその座談会なんだよ。（笑）

上野 "オリンピックとは勝つこととみつけたり"かな。そこで、いまは時期が早いかもしれません、オリンピックにおけるざっとした予想というか、日本選手がいかにやるかというようなことを……

木村 フタを開けてみなければわからないが、これまでいわれておった「日米対抗を制するものはオリンピックを制す」というようなことは今は甘い。もう通用しなくなったと思う。僕の考えでは、強敵はなんといっても、地元の豪州で、これに次いで米国だと思う。記録的な比較というのはアテにはなりませんけれども、たとえばローズが18分20秒を出したというのですが、環境とかいろいろ考えますと、決して日本の選手が劣るとは断じてない。私の予想では、現在日本と豪州が全く5分5分の状態にあるのじやないかと思う。それに関連するが、こんどのオリンピックのプールは、観衆を大体5千人くらい収容できるスタンドを持っ

た屋内プールだ。そうすると、そのムレル様な雰囲気は、神宮なんかで1万人以上の観衆を集めてやっているインドアのレースよりも、非常な興奮状態になって全く日本の選手には未経験な状態だが、そこへ行ってレースをやった場合に、日本でやるようなコンディションになり切れるかどうかという様なことも考えなければいかんと思う。それはどこの国も共通したことかもしないけれども、気候とか、環境ですね。とにかくそういったことに早く慣れ切ったら、いささか日本が有利じやないかな。

辻 上野さんの話がかけ足だな。いまの豪州との比較の前に新人についての、少年選手を養成することは僕が意見を吐いただけだ。日本じや中学校の全国大会を占領軍がきてやってはいかんと決めたやつを踏襲してやらせないが、豪州でもイギリスやほかの国でも全国のジュニア大会をやっている。"教育的見地"からいいたら問題はあるが、日本はそういう国もこれから太刀討していくんだ。中学校の競技、全国大会をやっちやいかん、旅行もやっちやいかんというのでは話にならない。

上野 古橋君の話では、豪州では小学校の体育の時間の実技は、やっぱり水泳とテニスが大部分を占めているということを聴いたことを覚えている。たしかにそうかなと思いますね。

松尾 去年からやった通信競技大会みたいなものをやって、要するにかけての小池礼三なり、宮崎康二、北村久寿雄というものが捨てるほどことはもう今やっているのじやないかな。ただ全部が一堂に会して、神宮プール、大阪プールで面つき合わしてやらないだけのことであって……

辻 本来なら通信競技は別にやらなくてもいいんだ。全国的に集計してやることよりも、予選でいいものが出て来てお互に顔を見合してやるのが本道だ。通信競技はまつとうなものじやないよ。

松尾 前提として、将来行われればいいというための前提としてやっていると思うが。

辻 さっきから豪州との力の比較が出ているが、豪州は何年も前から若い人を養成している。豪州恐るべしだ。みんなティーンエイジャーばかりだ。そういう選手を養成しなければオリンピックはむずかしい。結局それを養成するのはジュニア大会なんだ。日本では一泊を要するものはいかんとか

足カセ手カセをはめられている。それから僕は体育指導者の悪いところは、なんでもかんでもやらさなければいかんということだと思う。豪州では、あそこは陸上はテニス、それに水泳だ。日本では野球と水泳と陸上とか、それに重点を置くようなことを考えなければならん。

上野 辻さんの今いわれた様に、指導種目を日本国民全体があまり懲りすぎるとかが禍していると思う。

松尾 いまの高校の入学試験の体育の問題に、バレーボールのネットの高さはいくらとか、胸をそらせる運動とかこっちへ曲げている運動の絵が書いてある。なんのためにこういうことが必要だということが書いてあるが、やっぱり今云うような、一人の泳ぎの早いやつをみつける教育というのはしていないのだ。しかしそういう教育をしても、自ら出るやつは出て来ちやうと思う。どんな水泳を知らない岩手県からでも、これは速いぞということになればそれが通信競技でもなんでもいいから、とにかく水連がみてよければ、やって来ればいいんじゃないかと思う。

深沢 ところが中学生だったらそれはできないんだ。少年野球で文部省とえんえん6ヶ月の交渉をした。藤田（藤田明氏）さんとも話したが、藤田さんは水泳ばかりに固まって話をしたわけじやない。文部省に中学生にやつていけない根拠はないということを食いついたが、中学生だからいけないという根拠も向うにはなんにもないんだ。結局、向うはシンパばかり集めて、投票した結果ダメになったんだ。

上野 辻さんの言葉の裏に察しられるが、水泳には他の種目と違って特殊性があるので、この点は文部省方面も、心の中では認めていると思うのだが……

松尾 表面も認めてきますよ。

川田 その特殊性には2つある。水泳は早く始めて早く花を咲かせること、もう一つは水泳は日本国民が期待をかけている競技だ。これに負けたら国民はガッカリしちやう、水泳を負かしちやいけないという2つがあると思う。他の競技と同じような考え方でなく、水泳は国民の衆望を担う

ものであり、体育的にも早く始めて早く花を咲かせなければならないという特殊性を、教育の立場にある人達は視野を拡げて考えなければ今にもの笑いになる。

深沢 それは認めよう、それは認めるけれども、教育の方法としてはそれはダメだという結論になつたんだ。

川田 8千万の衆望を担っている、オリンピックでは優勝かゼロかだ、特殊なものには、その特殊性を考へなければいけないと思う。

深沢 文部省のいるのは、国民の衆望でもなんでもかまわない。われわれは先生であるということだ。

松尾 文部省のことを心配するこたあないです。水連は大して気に病む必要はない。やっぱり中学生とでうん強いやつがいれば、オリンピックへ出せばいいんだ。出せるよ。（笑）

辻 オリンピックに出す問題じやないんだ。要するに、100で56秒出したとすれば問題ないが、56秒出す選手をいかにして出すかということなんだ。

上野 今からこうすることを気に病むのもどうかと思いますが、水泳に関する限り、われわれ過去において割合にいい状況において競技などをやって来たので、果して豪州における大会の運営など欧洲、アメリカでやって来た競技のコースをたどるかどうかということはどうですか。

辻 僕は豪州のことはよくわからないが、豪州の方が日本より悠長だと思うから、日本でスムースにいっているコンディションと同じ考えじやダメだ。これは必ずしも豪州に限らないが、欧洲にくらべてなお豪州の方が悠長じやないかと思う。ヘッド・コーチも大切だが、マネージャーをする人が、古橋君も大きな責任を持つわけだ。選手にイライラした感じを起きさせないことが大事だ。

川田 古橋君はその点は心配ないと思う。メルボルンでは午前中はレースがなく、午後2時半からで、昼飯後運動してもいい時間をおいてから、競技が始まる。それが5時過ごろに終り、晩飯後に引継がれて8時から又始まる。それが10時過迄あるのでプールから村まで約7マイル、その他を考えると宿舎に帰って落着くのは11時、それから寝るわけです。この様に豪州の生活慣習の中にプログラムが組込んであるから、それに慣れることがむずかしいと思うんですよ。他の国で競技するよりはお互いに神経を使うわけで、その習慣に慣れるこ



とが成績に影響があると思う。

辻 外人の生活は日本人より悠長だ。

深沢 早く向うへ行った方がいいということだな。

そういうことでは……

辻 早い行ってグロッキーになつたら困る。（笑）

早く遅い生活に慣れるのはいいが、力が出せない  
としようかない。むしろ慣れなくても、蓄えていた力でもついた方がいいんじやないかな。

松尾 その通りだ。水連の幹部はそういうことも考  
えていると思うが、マニラの時がそうだったね。  
相手が弱いから問題にしていないが、しかし記録  
の上からでも全部が最高のものだった。あの時の、  
5月初旬というのは日本のシーズン前だ。そのシ  
ーズンでなかったころ、あそこであの記録をパ  
ッと出した。それも開会式間際の30日に行ったの  
からね。だから今度も案外そういうこともいえる  
かもしれない。1月早く行ってストックホルムに  
キャンプを張ってヘルシンキで負けた例もある  
し、ギリギリのところに行ってワッとやった方  
がいいんじやないかという考え方をみんな持つて  
いるのじやないかと思う。ただ今までと違うところ  
もある。赤道を越えて行くんだし、気候も変るし、  
室内競技だし……どうだろうな、その辺はわから  
ないが。

深沢 ヘルシンキのはベタ負けたといわれるかもし  
れんが、あれは決してベタ負けじやない。自分  
もっている記録のベストは出している。相手が強  
かったからなんだ。1ヵ月早い遅いじやない。

大場 ただ、練習さえしていれば強くなると思って  
休養することを考えなかつたとすれば問題だ。

川田 ヘルシンキの時はプレストを1枚余計入れて  
いったが、こんどの場合バタフライとプレストは  
3名です。僕は水泳人として、できるだけのこと  
を許してもらえるならバタフライ2名、プレスト  
2名を連れて行きたいと思うんですが、それにつ  
いてどうですか。

松尾 そうだなあ、2名づつ連れていくんじやない  
かな。出るのは向うへいって決めるのじやないで  
すか。僕はそう思ってるな。

大場 精銳主義だといっているんだから、種目によ  
っては削ってもいい種目もある。

深沢 リレー・メンバーとバックは削ったのじやな  
かったか？

松尾 バックを2人にしたよ。バックを2人にして

プレストを4人にしたのだ。要するにプレストは  
優勝候補であり、バタフライも優勝候補であり,  
だから、バタフライとプレストを合せて3名しか  
できないというのならば、古川は絶対勝つ、故障  
のない限り。バタフライを2人にするだろう、き  
っと。

川田 でも古川が万が一ということがあるとゼロに  
なっちゃうが。

松尾 その時になってみないとわからないが、しか  
しやっぱり古川だ。古川と木村とか胡麻鶴とか戸  
上があるかもわからないが、こっちも2人欲しい  
所だ。バタは長沢も向うで、立派にやっているか  
ら、長沢と石本と、その辺はオリンピック選手と  
して出場しようとしなからうといいんじやないか  
と思うが。

辻 ヘルシンキの時は4人連れていったのは必ずし  
も失敗じやなかつたと思う。案としては、2人づ  
つはいいと思うが、今から決めることはないと思  
う。最終予選の結果を見て、補欠をつれていって  
もいいし、リレーの補欠とのかね合いで、バタフ  
ライ2名がいいというなら、選考委員会がその時  
にいいチエを働くべきですよ。

松尾 400, 1500の選手をどういうふうにかみ合せ  
るかの方がむずかしいのじやないか。

深沢 エントリーは3名のワクはとれるのですね。

松尾 水連が3名はできるわけだ。

川田 もう一つ、1500というのは、われわれの計算  
では勝つという種目だが、今までをみると山下、  
新宅、大野君と開けてみなければわからない感じ  
だが、それにもう一つ細間、これは歌を忘れたカ  
ナリヤで、歌を思い出すのをみんな鶴首して待つ  
ているわけですが、それについて……。

松尾 立教大学は…（笑）…私にいわせれば根上、  
太田とちやんとオリンピック・コーチをもってい  
ながら、自分の学校へ来た選手はダメにしちやう  
んだからダメだ。（笑）

辻 それから始めるか（笑）

松尾 大体おかしいや、僕らは素人だからおかしい  
素人のヤブニラミかもしれないが、水連では太田  
というのはなかなかいい、田畠のマアチヤン以下  
みんなにいいが、あれは自分の学校へ帰れば監督  
ですよ。それで、一番やらなければならんのは細  
間なんだ。細間はよくしなければダメだ。

川田 山下は？

**松尾** 山下もそういうことはいえるわけだ。早稲田もキャプテンは代々いいからね。山下がキャプテンになってから『夢よもう一度』…根拠のないことだけれどそういうふうに思っていますけれど。

**大場** 細間、山下、新宅と3人の場合、全部原因が違うんだが、その原因の探求をしていないのじやないかな。

**川田** 新宅はどうですか。

**木村** 新宅は去年は初めて大学の生活というものに入つて来て、精神的にも上から、上級生からグッとやられて、泳ぐということより合宿生活で精神的に安定性がなかったのじやないかと思います。そういったことも自然に泳ぎの上に現わされて来て、それがまた側で足がどうとか、ストロークがどうとかいうのを非常に気にし始めて、いろいろ考える……。

**辻** 日大は、はたでいろいろなことをいうの？

**木村** いや、プールで本人がタイムが悪いとあの泳ぎはどうだとか監督がいなくとも皆に尋ねますよ。それで横から足がどうとかいろいろなことをいわれ、自分の技術というものに対して知りたい、あくまで知つていきたいんですね、どうしてこう遅いのだろうかということから、余計に焦りが出て来て去年の新宅は不振でしたが、それがかえっていい勉強になったと考えている。今年は本人も張り切っていますし、この間家へ帰つても、毎朝5時半ごろから1人で山をかけ回つたりしている。これはその町のやっぱり水泳の関係者の話ですが、朝早くなんかの用事で自転車で走つたら、どうも向うから息せき切つて走つて来るのが新宅のように思つたら、やっぱり新宅のトレーニングだった、とにかく今年の新宅はやりますよとその人はいっていたが、本人も非常に意欲に燃えているし、新宅はカム・バックすると思う、年令的にも無理な年令じやないし、これから彼の道は開けるという自信はあるし、確信しています。

**上野** 須佐さんあなたが考へている事を一つ……。

**須佐** 新人問題に關連して選手の調査表というつまり履歴書といったものを作つて見ればと考えています。選手が中学から高校、大学と上るについてこのカードも同行するという仕組です。カードにはコーチの手によって選手の練習方法や、くせまた将来への意見などが詳細に書き加えられることになります。

こういうものがあれば手数がかかる方法だが、水連主催の合宿練習にも利用できると思う。A選手がレースの朝、大飯を食つていたとします。知らない人は一見して『ヤッ、元気だなあ』とよい

方に判断するかも知れません。もし、この場合、A選手がレースの朝になると上つて必要以上に飯をかき込んでしまうクセがあったとしたら、どうでしよう。これは大きな錯覚になります。極端な例ですが、選手の成長のためになる記録がひとめになっていれば何かにつけ参考になると思います。

**川田** 競技記録にとどまらず、すべての水泳に關連した記録ですね。

**上野** 前のコーチが苦心した点がよくわかるわけですね。

**川田** 科学的練習法についてはかねがね機会があればと思っているのですが、練習方法を科学的にどういうふうにするか生活様式を如何にするかということについては、今後まだ研究すべき事が随分あると思うので、いまのあなたのおっしゃったことは非常に必要なことです。

**須佐** メルボルンに飛込は3名か4名がゆけそうですが、恵まれていますね。ここらあたりで飛込委員会が最高機関らしく強力な動き方をしてくれれば、チャンスですね。いま、ちょっとおとなしい。

**辻** 具体的に頑張っていないということは？

**須佐** 飛込委員会のやっているのは、全日本や団体の準備など事務面のことばかりが多くて、案外技術面の動きが少いのではないか。私の記憶では昨年、講習会を一度やつたきりだと思う。技術面がもっと最高機関のこの委員会で研究される必要がある。でないと毎年、外国選手が来ても、ただピックリするばかりに終つてしまつて、得るところが少なかつたのでは惜しいと思う。もう日本の飛込の歴史から考えても、『日本の飛込スタイル』といったものが出来上つてもよい時期なのではないか。

**辻** 君のことはよくわかる。しかし、すこし表現はまずいが、要するに他力本願じやなく、須佐君は日大だが、日大は人もそろつているのだから、村上君以外にもうけて、いい選手を育てることが一番近道なんだ。

**上野** いよいよオリンピックに挑むに当つて、オリンピックを中心にして皆さんのもとに結構なお話をいろいろ聞くことができまして、ありがとうございます。今後とも、水泳連盟としては、皆さんのお話の中にみられたいいろいろな御忠言なり、あるいは御勧告なりを充分体しまして、よりよき方向に進みたいと存じますので、どうか御了承を願いたいと思います。どうもありがとうございました。

(終り)

# オリンピック強化冬期合宿報告

太田光雄

期日 昭和31年1月4日——1月10日

場所 東京都文京区 東大室内プール(25米)  
学芸大附属追分小学校

宿舎 本郷東大前 太栄館

指導者 監督兼コーチ 小池 礼三

コートチ 太田 光雄

マネジャー 伊藤 謙平

トレーナー 吉田 勝平 外助手 1名

参加選手(60名)

(自由形) (39名)

谷 諒(早大) 古賀学(早大) 鈴木弘(日大) 後藤暢(日大) 清水健(立大) 東野賢二(中大) 浜島 明(中大) 菅毅寿(日大) 鈴木英士(伊東高) 柳瀬吉広(立大) 川岡長身(法二高) 坂井逸次(三瀬高) 増田勲(日一高) 古川徹(宮之城高) 金谷 雅弘(立大) 浜田成亮(土佐高) 細間輝喜(立大) 庄司嘉宏(明大) 大野司(日大) 野田芳郎(明大) 池尻月男(山鹿高) 山中毅(輪島高) 青木行義(日大) 留川公明(明大) 金谷修作(田辺高) 野々下耕嗣(中大) 八木清三郎(夕陽丘高) 今井昌裕(法大) 坂梨公昭(山鹿高) 新宅七郎(日大) 北村忠夫(桐蔭高) 足立達(明大) 森江重雄(観音寺一高) 坪田暉(杉並高) 山下勝次(早大) 松浦善幸(都島工高) 林利博(日大二高) 水野時彦(磐田農) 山崎慶介(浜北高)

(背泳) (8名)

長谷景治(早大) 富田一雄(三瀬高) 二宮英雄(江南高) 梶浦昇(早大) 山下栄隆(明大) 中村隆一(中大) 田口利寛(中大) 尾組 昇(富士製鉄)

(平泳) (7名)

古川勝(日大) 胡麻鶴寿(読売) 木村基(城東高) 戸上雅雄(日大) 太田勝(早大) 窪昭博(五条高) 永井正員(太田高)

(バタフライ) (6名)

石本隆(日大) 伊達英則(明大) 篠原友義(福工高) 東山充(明大) 山本修平(中大) 増永文昭(佐伯鶴城高) 清光雄二(早大) 吉村昌弘(日大) は都合の為不参加

日課 起床7.00(体操) 朝食8.00 練習9.30—12.00

中食12.30 練習2.30—5.30 夕食6.30

座学(水泳映画観賞) 7.30—8.30 消灯9.00

マルボルンオリンピックを今年末に控えた今回の合宿は文字通り、日本水泳選手の第一線級を網羅しての重要な合宿練習であり、戦前戦後を通じて、この様な大人数の合宿は初めてであった。此の実施に当って日課の消化、団体行動等の上からも不徹底に流れるのではないかと心配されたのであるが、これら選手がオリンピックを目指して、ここに集った群雄を抜き去らなければならないと云う構えもあって、起床から消灯迄、各選手が自発的に行動して呉れたので実によい合宿となり、充分な成果をあげる事が出来たと思う。

練習としては、まだシーズン迄は間もあるので、先づ泳げる体を作るという事に重点を置き、体操7に泳ぎ3位の割合でスケジュールを実施した。

起床直後の体操は従来は軽い体操のみであったが、今回は広い東大の構内を利用して相当長い距離のランニングを行った後に体操をした。このランニングには大分参った様であったが、これによって汗を流しそれを落す事が出来たと思う。

午前、午後の練習は2班に分れて体操と泳ぎを交互に行つた。一方は追分小学校の雨天体操場で、横須賀の合宿以来行っている連続的な柔軟体操と、各部の強化の為の組合せ体操を約1時間みっちりやつた。泳ぐ方は室内プールであるが室内暖房が充分でない為1回しか泳ぐ事が出来ず、ロングとビートを合せて約1000米から1500米位行った。参加選手中にはこの合宿に来る前に既に地方で各自泳いで居た者もあって、これらは既に相当水に乗っている様に見受けられた。

今回の合宿ではさすがにもうドルフィンキックの研究とか、クイックターンとか八釜しく云う必要のない程皆よく出来ているが、短距離選手には更に一層クイックターンをマスターして今年のレースには皆が使へる様にならなければならないと思う。

尙合宿中に各自の身上調書を作り、又体協医事部に御願いして選手の身体精密検診を行つた。此の結果回虫、サナダ虫の保有者が2、3名居たが直ぐ連絡して治療する様にした。選抜された後に疾患の為に取消しになったと云う様な事を未然に防ぐ事は当然であり、今後も機会ある毎に続ける可き事と思う。

# シーズンを迎えるための健康管理

黒 田 善 雄

4月の声をきき、野も山も美しい春の装いに懸命です。今迄あたたかい土の中にもぐっていた蛙も眼をさまし、小川の流れにピョンピョンと飛び込む姿がみられます。もうわが河童達もじっとしていられないことでしょう。とくに今年の秋はメルボルンでオリンピック大会があります。メルボルンを目指して今年こそはと大いに張り切っている人達も多いことと思います。しかし、水にとびこむ前に一寸待って下さい。君の健康状態は如何ですか？

病気というものは初めの軽い間に処置すれば案外簡単に治るものですが、一寸無理をしてこじらせるとなれば厄介なもので、そのために2度と来ない青春の貴重な時間を病床にむなしく過さなければならぬということになります。貴君の先輩や友人の中にそんな人はいませんか。僕だけは大丈夫だといふ心のすきを病気は狙っています。日本体育協会医事相談所では毎年何千人というスポーツマンの身体検査を行っていますが、自分の体には何よりも自信を持っているこの人達の中からも5～10%の要注意者がいつも出ています。特に、水泳は全身を使う激しい運動ですから十二分の注意が必要といえます。

さて、それではこれからシーズンに入る前にどんな検査をしたらよいかということについて述べましょう。

## (1) ツベルクリン反応を行うこと。

結核についての一般的知識が高まり、学校や会社で健康管理をしっかりと行うようになり、又種々な特効薬のおかげで結核による死亡率は著しく下りましたが、患者の数はまだ余り減って居らず、やはり残念ながら国民病の名は消えていません。特に結核は若い人が侵され易く、健康管理の中でも最も大事な仕事です。

結核菌が体の中に入りますとツベルクリン反応が陽性になります。ですからツベルクリン反応を行うことによってその人の身体の中に結核菌が入っているかどうかが判ります。然し結核菌が体の中に入っても、全ての人が発病するものではなく、10～

20%の人が肋膜炎、肺浸潤などになるわけで、残りの人は別に大したこともなく過ぎてしまいます。どんな人が発病するのかと云いますと、一度に沢山の結核菌が入り込んだ場合とか、体の抵抗力が落ちていた場合とかに多く発生します。そしてこの発病はツベルクリン反応が陰性であった人が陽性になった時（自然陽転という）から一年以内に多いのです。ですからツベルクリン反応が陽転したならば1年位は過激な運動はやめ十分休養をとり過労にならぬようにし、食事にも注意して病気に対する抵抗力を出来るだけ高めなければなりません。この時期をすぎると発病率はずっと少くなります。

B.C.G.という注射を御存じでしょう。これは、毒力を弱めた結核菌を注射して人工的に結核菌を体の中に入れ、結核に対する抵抗力を作るのですが、この注射によって結核に感染した場合の発病率を少くすることができます。また、発病しても軽くすむといわれています。このB.C.G.注射によてもツベルクリン反応は陽性になりますが（B.C.G.陽転という），これと自然陽転とはなかなか区別が難しいので、B.C.G.陽転の場合も一応自然陽転と同様な注意をした方が無難です。又、B.C.G.陽転は再び陰性になることがありますので、B.C.G.でツベルクリン反応が一度陽性になったから、もうツベルクリン反応はやらなくてよいと考えるのは間違いで、数年間は年に少くとも2回ツベルクリン反応をくり返し行う必要があります。ですから去年陰性であった人、B.C.G.で陽転した人は今年も是非ツベルクリン反応をして下さい。

## (2) 胸のレントゲン写真を撮ること。

胸のレントゲン写真を撮ることにより肺結核その他の病気の有無が判ります。特に結核は自覚病状が全くない場合が多く、聴診器で診ても変化がなく、レントゲン検査をして初めて発見出来ることがあります。この検査を毎年2回位定期的に行うことにより、万一結核が発病しても早期に発見出来るので治療し易く、その結果もよいのです。

レントゲン検査は普通はじめ間接撮影（6×6版）を行ひ、その上で必要あれば直接撮影を行ひます。全然撮影を行わざ透視だけをする人がありますが、これでは病気を見逃す率が多いので、少くとも間接撮影はしてほしいと思います。

#### （3）血沈を調べること。

血沈は結核性疾患、貧血その他色々な病気の時に多くなります。しかし、これは健康人でも人により多い少いがありますので、平常その人がどの位の血沈を示しているかを知っておくと便利です。1回行った血沈が多いからといって必ずしも心配なものではなく、又逆に血沈がよくとも安心出来ない場合があります。ですから血沈は、その人の平常の値と比較し、他の諸検査の参考にするというものです。

#### （4）検尿、検便を行うこと。

扁桃腺炎や猩紅熱等のあと急性腎臓炎を起すことがよくあります。その急性腎臓炎は治ったと思っても、完全になほり切らず慢性化して居ることがあります。この様な場合自覚症状はなくとも検尿すると異常が発見されます。前に腎臓炎、扁桃腺炎、猩紅熱等をやったことのある人は一応検尿をしてみて下さい。

日本には食物の関係で寄生虫のある人が沢山います。1月に行った水泳オリンピック候補選手の検便では59名中、蛔虫6名、十二指腸虫2名でした。地方ではもっと高率にあるものと思われます。特に十二指腸虫は放置しておきますと貧血症を起しますので、必ず駆除しなければなりません。しかし、検便をせずに駆虫剤のみを使用するのは害こそあれ益はある。

ありませんから、必ず検便をしましよう。

#### （5）医師の診察をうけること。

自分の今迄にかゝった病気をよく話して詳しく診察して貰うことです。特にリュマチ、デフテリア、腎臓炎、重い伝染病、脚気等をやったことのある人は知らぬ間に心臓が弱って居ることがありますからよく調べて下さい。肝臓も大事な臓器ですから黄疸をやった人は肝臓をよく検査する必要があります。

運動選手の中には自分の病気をかくす人がありますが、こんなことをして損をするのはその人だけなのですから、自分の身体の事は細大もらさず医師に話した方がよいのです。

（6）眼、耳、鼻、皮膚等の病気を治療しておくこと。結膜炎、トラホーム、蓄膿症、中耳炎、皮膚病等は十分治しておかないと悪化したり、他人に伝染させたりする恐れがありますから、あらかじめ専門の医師に診察してもらい、治療をしておきましょう。

君達の身体は君達自身の大切な財産です。自分の財産を自分で大切にし、管理するのは当然のことです。シーズンに入る前に、以上述べた諸検査を必ず行って、異常のある人はすぐに処置をし、全ての人が健康のもとにスポーツを、水泳を行いうようにしましょう。

筆者 東京大学医学部田坂内科、日本体育協会医事部員、第2回アジア大会日本選手団チームドクター、第16回オリンピック日本選手団チームドクター

## メルボルンの気温

メルボルン、オリンピックは11月の末から12月上旬に亘って開催されるが、昨昭和30年度のその頃の気温を古橋氏が調査された。結果は次の通りで、暑い日は日本の真夏と大差ないが、涼しい日は日本の4月頃の気温位迄下がるという可なり激しい変化がある。（摂氏）

|        | 最高   | 最低   |
|--------|------|------|
| 11月21日 | 19.0 | 7.0  |
| 22日    | 31.5 | 14.5 |
| 23日    | 18.0 | 12.5 |
| 25日    | 18.0 | 8.5  |

|       |      |      |
|-------|------|------|
| 27日   | 18.0 | 11.5 |
| 28日   | 21.0 | 11.5 |
| 29日   | 30.0 | 11.0 |
| 30日   | 21.5 | 17.5 |
| 12月1日 | 22.0 | 9.0  |
| 2日    | 18.5 | 10.5 |
| 4日    | 16.0 | 7.0  |
| 5日    | 18.0 | 9.0  |
| 6日    | 25.5 | 9.0  |
| 7日    | 32.0 | 10.5 |

# 水泳と栄養

鈴木慎次郎

世界的な記録をだすような選手は、生れつき恵まれた素質の上に、人並み以上の努力を重ねた人にちがいない。そして、その練習たるや涙ぐましいものであろうと、素人の私は想像している。それは、水泳に限らず、他のあらゆる方面でも同じことがあってはまるからである。

来るオリンピックを前にして水泳日本の輝やかしい誇りを世界に示したいのは、日本人あげての希望であろう。

最近、私は水泳連盟から水泳選手の食事について相談をうけ、各大学の練習量と合宿中にとっている食物の現状について知る機会をえたが、栄養があまり軽視されているのに驚いた。

そこで、選手諸君やその指導者の方々に栄養について認識をあらためていただくことをお願いしたい

体力を決定する後天的な多くの因子の中で最も大きいものは訓練と栄養の2つである。しかも、この2つの因子は物の表裏に当る関係にあって、何れをおろそかにしても体力を伸ばすことができない。

栄養が体力に及ぼす影響を示す最もよい例は、日本人の体格の時代的な変遷である。

明治時代からの統計を見ると、日本人の長身は10年毎に約1cmずつ伸びてきたため、現代の青年は当時の青年にくらべ約7cmも背が高い。その一番大きい原因是日本人の食物の変遷にあって、それまで迷信から獣肉や牛乳をとらなかった日本人が、外国の食習慣を取り入れて動物性食品をしたいに多くなるようになつたことにある。また、第2次大戦中の食糧不足のため、日本青年の身長や体重が満1才分低下した事実も同種のよい例である。その他、体力と栄養の密接な関係を示す動物実験は、かぞえるにいとまがない。

このように、栄養は基礎的な体力を作る大きな因子であるが、反面、薬物のように用いればすぐ効果をあらわすものではないので、とかく軽視されやすいのである。

それでは、水泳の練習にどれくらいの食物の量を必要とするか、及び、どんな種類をとればよいかに

ついでべよう。

まず、1日に何カロリーとらなければならないかについてしらべると、これは、全く練習の距離とその速さによって決るわけであり、実際に測定しなければ正確なことはいえないが、例えば、1日約600m泳ぐとすれば、そのために約1500～2000calを使うから、その他の時間の消費を加えて1日間では3500～4000cal必要となる。米だけで計算すれば約7～8合に当る。9000mも泳げば5000calにも達するのである。

このような1日間5000calもつかう例はスポーツ中でも最も高い方で、職業としても現在の日本では極めて少く、伐木夫とか仲仕、農繁期の農夫くらいのものである。

次にこれだけのカロリーをとるには、熱量素である炭水化物・脂肪・蛋白をどんな割合でとればよいかについてのべる。日本人は古来からの習慣と経済的な関係からカロリーの大部分を穀類やいも類の澱粉にあおいでいるが、体力の上からは決して望ましいことではない。それは、これら熱量素の働きは各自特徴をもっているから、ある種類の偏食は栄養上好ましくないからである。

炭水化物は、運動中にもっともえやすい熱量素である。激しい運動をして疲れ果てた時、甘いものがほしくなるものだが、これは、体の中に糖分がつかわれて欠乏してきたためである。このように、炭水化物は運動時にもっともえやすいので、スポーツに適した熱量素であるが、からだの中に炭水化物として貯えられる量には限度があって、それ以上たべた炭水化物は脂肪にかえられてたくわえられるので、炭水化物ばかり多くとっても、その効果はあらわれない。それどころか、日本人は熱量の8割近くを炭水化物からとっているので、それ以上とる必要は全くない。

脂肪は、1グラム9カロリーの熱量をもっているから、炭水化物や蛋白の4カロリーに比較すると、同じ重量でも倍以上のカロリー価に当る。したがって、はげしい運動で4000カロリー以上も必要とする

場合や一食ぬきにするような場合には、量の少くてカロリー価の高い脂肪にとんだ食物をたべておくと腹もちがよい。そればかりでなく、脂肪は、発育を促進するはたらきをもっているし、また、ビタミンAやDも多く含んでいて、熱量素以外の役目をはたしている。

たん白質は、きん肉をはじめとして、からだのあらゆる部分を作っている栄養素であるから、熱量素としても、発育の増進やつかったからだを補修する意味で大切である。したがって、発育期にあるものは成人より多くとる必要があるし、また、スポーツによってきん肉が大きくなるような場合には、ふだんより多くとらなければならない。

また、蛋白質の中でも、動物性蛋白質の方が植物性蛋白質より質的にすぐれているから、肉類や牛乳からとった方がよい。総蛋白質の約3分の1は動物性食品からとりたいものである。

以上のような諸点から、現在水泳選手が合宿生活でとっている食物について批判すると、量的にも不足しているが、質的にも極めて劣る場合が多いようである。そして、練習量の少い学校は食物も少くて質的にも劣る傾向がはっきりうかがわれる。即ち、食物が練習量を限定しているのである。

このような現状であるから、食物の量と質とを改善すれば、疲労も少くてもっと練習もできようし、また、筋肉その他の内臓の発達を促して体力の向上

を期することもできよう。

たとえば、値段において脱脂粉乳は生牛乳の半分以下であるから、これに多少カルピスでも加えておけば、味の点からも栄養の点からも申し分のない清涼飲料となるし、鯨肉もカツレツにすればおいしくたべられ、体の発育に充分な蛋白源となる。

植物油を豊富につかうには、マヨネーズにして野菜サラダとすれば、量も少くカロリー価の高い、しかもビタミンや無機質にとむ副食ができる。

また、4000カロリー以上にも達する食物をとる場合には、食事の回数をふやすことが合理的で、3食の間におやつの形で補うのがよい。食事の回数はだいたい1000calを1食とした方が1度に沢山とるより能率がよい。

さらに、いずれにせよ、日本人は澱粉を多くとるのであるから澱粉の燃焼に必要なBを豊富にとることが必要で、エビオスその他のB剤を毎日適量(100カロリー当たり0.5mg)服用したい。

最後に強調したいことは、栄養の効果はふだんからの心がけが大切なことである。

試合前の美食は精神的な意味以外にあまり意味をもっていない。とくに、合宿練習はじめは筋肉が肥厚する時期に当るから、動物性の蛋白を充分補っていただきたい。

(国立栄養研究所 栄養生理部長 医学博士)

## 古川君「日本スポーツ賞」を授与する

日本水泳連盟では、読売新聞社制定の「日本スポーツ賞」に水泳最優秀選手として平泳の古川勝君(日大)を推薦した。

推薦理由は次の通りである。

同選手は平泳の第一人者で、本年度に於けるその実力は抜群で、比肩し得べき相手がない。200米平泳に於ける従来の長水路世界最高記録は胡麻鶴君(日本)の2:40.0であったが本年の古川君は泳ぐたびに必ずこの記録を破っている。その主なる記録を列記して見ると次の通りである。

2:33.7 2:34.7 2:34.9 2:35.3 2:35.5 2:35.6  
2:36.0 2:36.4 2:36.8 2:36.8 2:37.2 2:37.4

尙世界の公認記録は25mプールに於て昨年同選手が作った2:35.4であったが前記の通り本年は4回に亘って長水路で短水路世界記録を破る常識外の実力を發揮しており、去る9月の国際水連理事会に於て、この2:33.7(8月5日神宮プールに於ける日米対抗の優勝記録)は世界記録として

公認された。

更に10月1日東京富士高校プール(25m)に於て行われた日大記録会に於てはシーズン外の降雨低温の悪条件の中で平泳全種目の世界記録を至極アッサリと次の通り更新してしまった。

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 100Y 1:01.4 | 旧記録 1:04.3 ブロツク(瑞) |
| 100M 1:08.2 | 1:09.8 ペトルセビッツ(波)  |
| 200M 2:31.0 | 2:33.7 古川 勝(日)     |
| 220Y 2:31.9 | 2:38.0 ゴーポーイ(米)    |

世界水泳界に於ける前人未踏の境地を拓いた功績は偉なものである。

性格も温和で極めて真面目なる好青年である。以上

この結果、古川君は「日本スポーツ賞委員会」に於て、アマチュアースポーツ第一人者と認められ、30年度「日本スポーツ賞」を授与された。この賞は26年度より実施されたものであるが水泳選手では26年度吉橋君、29年長沢君が授与されている。

(島田)

# シーズン中の栄養献立

5月～7月

## 三枝 美貴子

**望ましい食事** スポーツマンの食事は、栄養上バランスのとれた質量共に勝れ且つ、おいしく、安い事であるが、矢張食費は出来る丈多くすることが望ましい。

栄養量は普通人の2倍を必要とし、ビタミン類は、労作が過激な場合は著るしく消費される為、V.B群及びカルシウムを強化する事が必要である。

**注意** 1. この献立は、男子(年令18歳～23歳)を基準とし、女子はその80%とする。又各月出廻り食品を考えしながらつくられたもので1週間は各月1日～

7日迄の事でない。2. 主食は朝、昼、夕、各食に1

合5勺(麦1割混炊)を使用、これにビタライス2g(V.B<sub>1</sub>剤、各薬店販売)を加え強化飯とする。3. 味噌はV.B<sub>2</sub>カルシウム等の添加された強化味噌。4. 煮干は粉末として使用。

牛乳も又カルシウム源食品であるから1日に1本以上使用する事。5. 肉類は主として豚肉を使用しているが、消化がよく、かつV.B<sub>1</sub>にすぐれている。6. おやつは省いてあるが、4100カロリーを3回で食べるには、実際問題として困難であろうから4回～5回に摂取する事が望ましい。

### 各月平均栄養価

| 熱量          | 蛋白質   | 脂肪   | カルシウム | ビタミンA        | ビタミンB <sub>1</sub> | ビタミンB <sub>2</sub> | 価格       |
|-------------|-------|------|-------|--------------|--------------------|--------------------|----------|
| Cal<br>4100 | 130 g | 90 g | 1.2 g | I.U<br>11000 | mg<br>2.9          | mg<br>2.0          | 円<br>230 |

### 5月の献立1週間

| 朝      |                                      | 昼                                   |                      | 夕                                  |                                  |   |   |
|--------|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------|------------------------------------|----------------------------------|---|---|
| 1<br>日 | みそしる里いも<br>葱<br>・みそ<br>煮干            | 中2ケ<br>中10cm<br>大S 2.5<br>3匹        | さばソテー<br>じやがいも<br>玉葱 | さば<br>じやがいも<br>玉葱                  | 大1切<br>中1ケ<br>1/3ケ<br>大S 2<br>少々 | にしんバター<br>焼メリケン粉  | 生にしん<br>大S 3～4                                  |
|        | さやえんどう<br>のごまよごし                     | 2つかみ<br>大S 2                        | 五 目 汁                | 豚ひき肉<br>塩・こしょう                     | 8勺                               | 生キヤベツ<br>バター  | トマトソース<br>大S 1                                  |
|        | ごま<br>みそ<br>砂糖                       | 小S 2<br>小S 1<br>少々                  |                      | 卵大1ケ<br>卵大1.5<br>卵大1/2ケ<br>中8cm    | 少々                               | さやえんどう<br>キヤベツ<br>塩・こしょう  | 大S 1<br>1つかみ<br>大葉1/2<br>少々                     |
|        | なつみかん汁<br>ひき肉とたけ<br>のこ炒り煮            | 少々<br>10勺<br>卵大2ケ<br>小S 1<br>少々     |                      | みそ                                 | 大S 2.5                           | さけのカレー<br>汁   | 塩さけ<br>1切                                       |
|        | ひき肉とたけ<br>のこ炒り煮                      | 豚ひき肉<br>たけのこ<br>油<br>砂糖正油           | 牛乳と果物                | 牛乳<br>いちご<br>砂糖                    | I本<br>大5ヶ<br>大S 2                | じやがいも<br>玉ねぎ<br>メリケン粉<br>バター                                    | じやがいも<br>中1ケ<br>中1/4ケ<br>大S 2<br>大S 2           |
|        | 牛 乳                                  | 牛乳<br>砂糖                            |                      |                                    |                                  | 漬物  | 大根浅漬  |
|        | 牛 乳                                  | 牛乳<br>砂糖                            |                      |                                    |                                  |   |   |
|        | みそしるかぶ<br>あぶらげ                       | 中2ケ<br>1枚<br>大S 2.5                 | いわし入り<br>コロッケ        | いわし<br>玉葱<br>じやがいも<br>メリケン粉<br>パン粉 | 中2匹<br>中1/4ケ<br>中1ケ<br>大S 2～3    | さしのみ<br>まぐろ<br>春雨<br>だいこん<br>春雨<br>にんじん<br>だいこん<br>にんじん<br>しらす干 | まぐろ<br>大根<br>8枚<br>卵大1<br>少々                    |
|        | オムレツと<br>野菜ソテー                       | 3匹                                  |                      | 豚肉朝鮮焼                              | 大S 1<br>大S 2<br>少々               | 夏みかん汁<br>塩・砂糖   | 卵大1/2<br>少々                                     |
|        | ひき肉<br>にんじん<br>キヤベツ<br>バター<br>塩・こしょう | 大S 1.5<br>少々<br>大葉1/2<br>大S 2<br>少々 |                      |                                    | 15勺<br>大S 3～4<br>小S 1<br>少々      | ふき・しいたけ<br>ふき<br>煮つけ<br>砂糖・正油                                   | 25cm<br>中2ケ<br>少々                               |
| 2<br>日 | 牛 乳                                  | 牛乳<br>砂糖                            | 1本<br>大S 1           | しゅんぎく<br>ごまかけ                      | 少々                               | 青豆<br>ポタージュ   | しいたけ<br>砂糖・正油<br>青豆<br>ベーコン<br>じやがいも<br>牛乳<br>塩 |
|        |                                      |                                     |                      | 漬物                                 |                                  |   |   |

|        |                |   |  |                       |   |   |                        |  |  |
|--------|----------------|---|--|-----------------------|---|---|------------------------|--|--|
| 3<br>日 | みそしる           | さやえんどう<br>しいたけ<br>あぶらあげ<br>みそ                     | 10ヶ<br>2ヶ<br>1枚<br>大S2.5                           | 魚とたけのこ<br>の木の芽揚げ      | たけのこ<br>さば<br>木ノ芽<br>卵<br>メリケン粉               | 卵大2ヶ<br>1切<br>少々<br>$\frac{1}{3}$ ヶ<br>大S5  | まぐろぬた                  | まぐろ<br>うど<br>わかめ<br>味噌<br>砂糖<br>夏みかん                   | 1切<br>8cm<br>少々<br>大S2<br>大S3<br>少々<br>15匁<br>$\frac{1}{4}$ ヶ<br>少々<br>大S2<br>大S3<br>少々<br>中2本<br>大S2<br>大S1.5<br>2株<br>少々 |
|        | 目玉焼<br>野菜ソテー   | 卵<br>ほうれん草<br>じやがいも<br>油<br>ソース・塩                 | 2ヶ<br>中3株<br>1ヶ<br>大S1.5<br>少々                     | 豚とごぼう<br>いり煮          | 豚肉<br>ごぼう                                     | 15匁<br>中10cm  | ロール<br>キャベツ            | 合引肉<br>玉葱<br>人参<br>トマトソース<br>パンくず                      |  |
|        | うずら豆甘煮<br>うずら豆 | 砂糖  | 1/4合<br>大S4  | さやえんどう<br>ごま酢あえ       | さやえんどう<br>ごま<br>正油                            | 2つかみ<br>大S2   | 大學いもとほ<br>うれん草<br>ソテー  | トマトソース<br>パンくず<br>さつまいも<br>砂糖                          |  |
|        | はぜつくだ煮<br>牛乳   | はぜ佃煮<br>牛乳  | 小皿1<br>1本  |                       | 砂糖<br>夏みかん                                    | 少々  |                        | 油  | うれん草<br>ほ塩・こしよう  |
|        | 漬              | 物   | 大根浅漬   |                       |   |   |                        |  |  |
|        | 豚              | 汁<br>味噌<br>豚肉<br>じやがいも<br>卵<br>メリケン粉<br>にんじん<br>油 | 大S2.5<br>15匁<br>1ヶ<br>大S1<br>卵大1/2<br>大S1          | いわし辛子<br>ソース          | いわし<br>バター<br>からし、酢<br>こしよう、パセリ<br>レモン        | 2尾<br>大S1<br>少々<br>少々<br>少々   | ひき肉<br>ステーキ            | 牛ひき肉<br>玉葱<br>食パン<br>卵<br>さやえんどう<br>油<br>ソース<br>塩・こしよう | 20匁<br>$\frac{1}{4}$ ヶ<br>$\frac{1}{5}$ 斤<br>$\frac{1}{2}$ ヶ<br>1つかみ<br>大S2<br>少々<br>少々                                    |
|        | 生卵と焼のり         | 卵<br>のり   | 1ヶ<br>2枚   | じやがいも<br>ほうれん草<br>ソテー | じやがいも<br>ほうれん草<br>油                           | 1ヶ<br>中3株<br>大S1.5  | たけのこ<br>ソテー            | たけのこ<br>バター<br>さやえんどう<br>ソース<br>しらす干の<br>おろしあえ         | 卵大2<br>大S1/2<br>少々<br>少々   |
|        | ほうれん草<br>ごまよごし | ほうれん草<br>ごま<br>砂糖<br>正油<br>夏みかん汁                  | 生中皿1杯<br>大S2<br>小S1<br>少々<br>少々                    | わかめとむき<br>み           | わかめ<br>あさりむきみ<br>味噌<br>夏みかん汁<br>砂糖            | 1/4束<br>10ヶ<br>大S1.5<br>大S1<br>大S1  | 漬<br>物                 | だいこん<br>しらす干<br>正油                                     | 卵大1<br>大S3<br>少々   |
| 4<br>日 | みそしる           | みそ<br>煮干<br>とうふ<br>さやえんどう                         | 大S2.5<br>3尾<br>$\frac{1}{4}$ 丁<br>1つかみ             | 精進揚げ                  | はす<br>さつまいも<br>人参<br>粉<br>卵<br>油<br>大根        | 卵大1ヶ<br>卵大1ヶ<br>卵大1/2<br>大S15杯<br>$\frac{1}{3}$ ヶ   | さやえんどう<br>のロールド<br>エッグ | さやえんどう<br>卵<br>牛乳<br>メリケン粉<br>バター<br>塩・こしよう            | 1つかみ<br>1ヶ<br>半本<br>大S2<br>大S1<br>少々   |
|        | 卵サラダ           | 卵<br>ハム<br>じがいも<br>キヤベツ<br>塩・こしよう<br>マヨネーズ        | 1ヶ<br>3枚<br>$\frac{1}{2}$ ヶ<br>大葉1枚<br>少々<br>大S1.5 | 酢のもの                  | うど<br>わかめ<br>酢・砂糖                             | 卵大1ヶ<br>8cm<br>2本<br>少々   | たけのこの<br>ピーナツあえ        | たけのこ<br>たらつかせい<br>砂糖、正油、酢                              | 卵大2ヶ<br>$\frac{1}{6}$ 合<br>少々  |
|        | 焼のり            | のり  | 1枚   | 焼                     | 魚にしん  | 半匹  | 豚朝鮮焼                   | 豚肉<br>メリケン粉<br>油<br>キヤベツ<br>しようが<br>正油、塩               | 20匁<br>大S2<br>大S1<br>大葉1/2<br>少々<br>少々   |
|        | 牛              | 乳<br>牛乳<br>砂糖                                     | 1本<br>大S1  |                       |   |   | とろろこぶ<br>吸物            | とろろこぶ<br>煮干粉   | ちよこ2<br>大S1  |
|        | 漬<br>物         |   |  | 漬<br>物                | かぶ浅漬  |   |                        |  |  |
|        | トーストパン         | パン<br>バター   | %斤<br>大S2  | ビーフ・<br>ステーキ          | 牛肉<br>バター<br>さいやいんげん<br>じやがいも<br>塩、こしよう       | 20匁<br>大S1.5<br>10本<br>中1ヶ<br>少々<br>$\frac{1}{4}$ ヶ<br>卵大1<br>1ヶ<br>$\frac{1}{2}$ ヶ<br>大S1.5<br>小S1 | にしん<br>しようがみそ<br>あえ    | にしん<br>大こん<br>みそ<br>しようが、酢<br>すましとうふ<br>くず引            | 卵大1ヶ<br>大S1.5<br>少々<br>$\frac{1}{4}$ 丁<br>10cm   |
|        | ハムエツグ          | ハム<br>卵<br>サラダナ                                   | 4枚<br>2ヶ<br>大葉1/2                                  | さけのサラダ                | かんづめ<br>にんじん<br>卵<br>じやがいも<br>酢<br>サラダ油       | 卵大1<br>$\frac{1}{2}$ ヶ<br>大S1.5<br>小S1  | かたくり<br>ねぎ             | ほうれん草<br>じがいも<br>ソテー                                   | 大S1<br>10cm  |
|        | ソーセージ<br>ボイル野菜 | ソーセージ<br>さやえんどう<br>キヤベツ                           | 3枚<br>10ヶ<br>大葉1/2                                 | えんどう<br>スープ           | むきえんどう<br>バター<br>メリケンコ<br>牛乳<br>スープ<br>塩、こしよう | 1/3合<br>大S1<br>大S2<br>$\frac{1}{2}$ 本<br>少々<br>少々   | カツオの<br>なます            | カツオ<br>みようが<br>酢、砂糖<br>正油、味の素                          | 1切<br>小1ヶ<br>少々<br>少々  |
| 7<br>日 | みそしる           | とうふ<br>煮干<br>味噌                                   | $\frac{1}{2}$ 丁<br>3匹<br>大S2.5                     | 野菜の白あえ                | とうふ<br>白ごま<br>にんじん<br>さやえんどう<br>砂糖、塩          | $\frac{1}{3}$ 丁<br>大S2<br>卵大1<br>2つかみ<br>少々   | 豚                      | 豚肉<br>味噌<br>煮干<br>にんじん<br>じやがいも<br>もやし                 | 20匁<br>大S2.5<br>5匹<br>卵大1/2<br>中1ヶ<br>1つかみ   |
|        | いかつけ焼          | いか<br>正油  | $\frac{1}{2}$ 匹                                    |                       |   |   |                        |  |  |

|        |                                |                               |                           |                                      |  |   |   |   |   |
|--------|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|--|---|---|---|---|
| 7<br>日 | にんじんと<br>たけのこ<br>煮つけ<br>昆布つくだに | 人参<br>たけのこ<br>煮汁、正油<br>昆布つくだに | 卵大1.5<br>卵大2<br>少々<br>小皿1 | さば味噌むし<br>豚と豆の甘煮<br>うずら豆<br>砂糖<br>正油 | さば<br>みそ<br>長葱<br>豚肉<br>うずら豆<br>砂糖<br>正油 | 1切<br>大S 1<br>6cm<br>15匁<br>$\frac{1}{2}$ 合<br>大S 2<br>少々 | 回卵コロツケ<br>卵塩、玉葱<br>粉牛乳<br>油しらかそうめん<br>あげ油 | 卵<br>塩、こしょう<br>玉葱<br>粉牛乳<br>油しらかそうめん<br>あげ油 | 1ヶ<br>少々<br>$\frac{1}{4}$ ヶ<br>小S 1<br>少々<br>小S 1<br>少々 |
|        | 漬物                             | かぶ浅漬                          | 漬物                        |                                      |  |   |   |   |   |

回 卵のコロツケ。固ゆで卵を作りからをもいて縦に2つ切り、更に小口よりきざみ塩、こしょうで調味します。玉葱は荒くきざみなべに油を熱して玉ねぎを入れいため、粉をふりこんでサツとませ、牛乳3勺を加え約30分間弱火で煮つめる、卵を入れサツとませてすぐ火からおろし、皿にひろげてさまし1人3ヶずつにまるめる。これにしらがそうめんを1cm長さにより、まぶして油であげる。

回 大S 1 (大さじ1杯)

### 6月の献立1週間

| 朝      |                    |  | 昼  |                           |   | 夕  |   |   |   |
|--------|--------------------|--|--|---------------------------|---|--|---|---|---|
| 1<br>日 | みそしる<br>味噌<br>煮干   | あさり<br>生卵<br>のり                                    | 20ヶ<br>大S 2.5<br>3匹  | 鯨カレー揚<br>小麦粉<br>油<br>キヤベツ | 1切(25匁)<br>小S 1<br>小S 2<br>大S 1<br>大葉 $\frac{1}{2}$         | 塩<br>重ね<br>サラダ<br>汁  | さば<br>甘藷<br>りんご<br>砂糖<br>バター<br>卵<br>胡瓜<br>キヤベツ<br>マヨネーズ<br>はんぺん<br>ほうれん草<br>正油<br>にぼし粉 | 1切<br>中 $\frac{1}{2}$<br>中 $\frac{1}{4}$<br>大S 2<br>大S $\frac{1}{2}$<br>1ヶ<br>半本<br>大葉 $\frac{1}{2}$<br>大S 2<br>$\frac{1}{4}$ 枚<br>少々<br>大S 1 |   |
|        | 豚と野菜<br>煮込み        | 豚肉<br>正油   | 15匁<br>4ヶ  | シチュー                      | 豚小間切<br>じやがいも<br>玉葱<br>人参<br>牛乳<br>油<br>小麦粉                 | 10匁<br>中1ヶ<br>中 $\frac{1}{3}$<br>卵大 $\frac{1}{2}$<br>半本<br>大S 1<br>大S 1        | 焼<br>卵<br>ダ<br>汁  | さ<br>燒<br>卵<br>胡瓜<br>キヤベツ<br>マヨネーズ<br>はんぺん<br>ほうれん草<br>正油<br>にぼし粉   |   |
|        | 牛<br>乳             | 牛乳<br>砂糖   | 1本<br>大S 1   |                           |   |  |   |   |   |
|        | 浅づけ<br>浅づけ         | キヤベツ<br>しその葉                                       | 大葉1<br>少々  |                           |   |  |   |   |   |
| 2<br>日 | トーストパン<br>オムレツ     | パン<br>卵<br>合引肉<br>玉葱<br>キヤベツ<br>塩・こしょう             | $\frac{2}{3}$ 斤<br>大S 2<br>2ヶ<br>10匁<br>$\frac{1}{4}$ ヶ<br>大葉 $\frac{1}{2}$<br>少々  | チャアハン<br>煮                | 米<br>卵<br>引肉<br>玉葱<br>青豆<br>油                               | 1合5匁<br>1ヶ<br>8匁<br>中 $\frac{1}{2}$<br>大S 2<br>大S 2                            | 牛<br>山いも<br>山いも<br>のりかけ<br>ほうれん草<br>ソテー   | 井<br>牛肉<br>葱<br>豆腐<br>しらたき<br>砂糖<br>正油<br>山いも<br>山いも<br>のり<br>ほうれん草<br>油<br>かぶ<br>きうり   | 30匁<br>1本<br>$\frac{1}{4}$ 丁<br>$\frac{1}{3}$<br>小 $\frac{1}{2}$<br>1枚<br>3株<br>大S 1<br>2ヶ<br>$\frac{1}{2}$ 本 |
|        | 牛                  | 牛乳<br>砂糖<br>レモン汁                                   | 1本<br>大S 1<br>少々   | 清                         | 豆<br>うずら<br>砂糖<br>汁<br>とろよこぶ<br>煮干粉<br>葱                    | $\frac{1}{2}$ 合<br>大S 8<br>大S 8<br>ちよこ2<br>大S 1<br>少々                          | 汁   | 物   |   |
|        |                    |  |  |                           |   |  |   |   |   |
|        |                    |  |  |                           |   |  |   |   |   |
| 3<br>日 | みそしる<br>カツオの<br>角煮 | わかめ<br>じやがいも<br>味噌<br>カツオ<br>正油<br>酒<br>水<br>古しょうが | $\frac{1}{3}$ 束<br>中 $\frac{1}{2}$ ヶ<br>大S 2.5<br>1切<br>大S 1<br>大S 1<br>大S 1<br>少々 | カレー<br>キヤベツ<br>スープ        | 御飯<br>米<br>人参<br>じやがいも<br>あさりむきみ<br>青豆<br>カレー粉<br>キヤベツ<br>油 | 1合5匁<br>卵大 $\frac{1}{4}$<br>中 $\frac{1}{2}$<br>$\frac{1}{3}$ 合<br>大S 1<br>大S 1 | さ<br>酢<br>まじよう<br>豚   | し<br>み<br>まぐろ<br>大根<br>はす<br>酢さと<br>つまじよう<br>なゆ<br>ごま<br>汁<br>豚肉<br>葱<br>じやがいも<br>にんじん  | 25匁<br>卵大1<br>卵大2<br>中皿1<br>大S 1<br>20匁<br>1本<br>$\frac{1}{2}$<br>卵大 $\frac{1}{2}$                            |
|        | 煮びたし               | あつあげ<br>こかぶ<br>正油                                  | 1枚<br>5ヶ   | 焼肉とサラダ                    | 焼豚<br>きうり<br>キヤベツ<br>玉葱<br>マヨネーズ                            | 中3切<br>$\frac{1}{3}$ 本<br>大葉 $\frac{1}{2}$<br>中 $\frac{1}{2}$<br>大S 2          |   |   |   |
|        | 牛                  | 牛乳<br>砂糖   | 1本<br>大S 1   |                           |   |  |   |   |   |
|        | 浅漬                 | キヤベツ<br>こかぶ  | 大葉1枚<br>2ヶ   |                           |   |  |   |   |   |
| 4<br>日 | みそしる               | とうふ<br>葱<br>みそ<br>煮干                               | 半丁<br>6cm<br>大S 2.5<br>5匹  | お<br>煮<br>メ               | がんもどき<br>じやがいも<br>せんまい<br>砂糖<br>正油                          | $\frac{1}{2}$ 枚<br>中1ヶ<br>20匁<br>大S 2  | 天<br>ぶ<br>ら   | 小あじ<br>粉、油  | 3匹  |
|        |                    |  |  |                           |   |  |   |   |   |

|        |   |   |   |   |  |  |   |  |
|--------|---|---|---|---|--|--|---|--|
| 4<br>日 | 厚焼卵<br>煮出汁<br>砂糖<br>正油<br>人参<br>大根<br>つまみなし<br>南京あえ<br>落花生<br>砂糖<br>正油  | 2ヶ<br>少々<br>少々<br>少々<br>卵大1/3<br>卵大1ヶ<br>2つかみ<br>1/2ヶ<br>1/4合                                 | ます<br>ムニエル<br>かきたま汁<br>卵<br>ねぎ  | ます<br>メリケン粉<br>バター<br>マヨネーズ<br>玉ねぎみじん切<br>茹卵<br>パセリみじん切   | 1切<br>大S 2<br>大S 1<br>大S 1<br>小S 1<br>1/2ヶ<br>小S 1/3   | おろし大根<br>人參<br>いりどうふ<br>大根<br>人參<br>玉ねぎ<br>たけのこ<br>ほうれん草の<br>したし | 大根<br>人參<br>とうふ<br>卵<br>人參<br>玉ねぎ<br>たけのこ<br>ほうれん草<br>正油  | 卵大1<br>卵大1/4<br>1/3丁<br>卵1/2ヶ<br>少々<br>1/3ヶ<br>卵大1/2<br>3株   |
|        | サンド<br>ウイツチ<br>食パン<br>トマト<br>キヤベツ<br>きうり<br>新玉葱<br>さやいんげん<br>茹卵<br>マヨネーズ<br>ハム<br>バター   | 2斤<br>1/2ヶ<br>大葉1/2<br>1/2本<br>1/2ヶ<br>5本<br>2ヶ<br>大S 3<br>2枚<br>大S 1                         | 鯨串カツ<br>鯨ながねぎ<br>塩<br>パン粉<br>小麦粉<br>油<br>さつまいも<br>油 煮<br>さつまいも<br>サラダ油<br>砂糖<br>塩 | 20匁<br>1/2本<br>少々<br>大S 1<br>大S 1<br>大S 1.5<br>1/2本<br>小S 2<br>大S 1<br>少々                                     | まぐろの<br>さしみ<br>ロール<br>キヤベツ<br>さ ラ ダ  | まぐろ<br>キヤベツ<br>玉葱<br>ひき肉<br>じやがいも<br>油<br>トマトケチャ<br>ツブ<br>塩      | 20匁   | 大葉2枚<br>1/4ヶ<br>15匁<br>1/2ヶ<br>小S 1<br>大S 1<br>少々  |
| 5<br>日 | 牛乳と果物<br>牛乳<br>砂糖<br>いちご  | 1本<br>大S 2<br>中6ヶ   | からしあえ<br>えんどう<br>スープ  | 小松菜<br>ねりからし<br>正油<br>むきえんどう<br>バター<br>メリケン粉<br>牛乳<br>スープ<br>塩, こしょう  | 生中皿1<br>少々<br>小S 1<br>1/2合<br>大S 1<br>半本<br>少々   | きうり<br>キヤベツ<br>ハム<br>マヨネーズ                                       | 1/2本<br>1/2枚<br>2枚<br>大S 1  |  |
|        | そらまめ御飯<br>米豆<br>じやがいも<br>塩<br>みそしるふ<br>つまみなし<br>みそ<br>引肉と野菜<br>豚ひき肉<br>いり煮<br>ごぼう<br>人参<br>じやがいも<br>油<br>砂糖<br>正油   | 1合5勺<br>1/2合<br>1/2ヶ<br>少々<br>小10コ<br>1つかみ<br>大S 2.5<br>10匁<br>中5cm<br>小5cm<br>1/2ヶ<br>大S 1.5 | ムニエル<br>カレーソース<br>野菜ソテー   | さば<br>人参<br>玉葱<br>ピーマン<br>トマト<br>粉<br>油<br>カレー粉<br>れんこん<br>さやいんげん<br>しいたけ<br>油<br>かたくり<br>正油<br>しらす干<br>おろしあえ | 1切<br>卵大1/3<br>玉葱<br>小1ヶ<br>小1ヶ<br>大S 1.5<br>大S 1.5<br>大S 1<br>卵大1<br>10本<br>2ヶ<br>大S 1<br>小S 1<br>少々<br>ちよこ2<br>卵大1 | にしんの<br>バター焼<br>ほうれんそう<br>ソテー<br>もやし汁<br>煮<br>豆<br>漬             | 生にしん<br>バター<br>メリケン粉<br>バター<br>トマトソース<br>豚肉<br>もやし<br>煮干<br>むきえんどう<br>砂糖<br>大根<br>くき                                  | 中1匹<br>小S 1<br>大S 2<br>大S 1<br>大S 2<br>生中皿1<br>8匁<br>生中皿1<br>3匹  |
| 6<br>日 | みそ汁<br>ほうれん草<br>あぶらあげ<br>煮干<br>卵サラダ<br>茹卵<br>ハム<br>じやがいも<br>キヤベツ<br>マヨネーズ<br>焼のり<br>焼のり<br>焼のり<br>牛<br>牛乳<br>砂糖   | 2株<br>1枚<br>5匹<br>1ヶ<br>3枚<br>1/2ヶ<br>大葉1<br>大S 2<br>1枚<br>1本<br>大S 1                         | 牛肉小金揚<br>ほうれん草<br>クリーム  | 牛肉<br>卵黄<br>メリケン粉<br>油<br>カタクリ粉<br>じやがいも<br>塩・こしょう<br>ソース<br>ほうれん草<br>メリケン粉<br>バター<br>牛乳<br>塩・こしょう            | 20匁<br>1/2ヶ<br>大S 1<br>大S 2<br>大S 1<br>中1ヶ<br>少々<br>大S 2<br>生中皿1<br>大S 1<br>大S 1<br>半本<br>少々                         | やきそば<br>回かぶら蒸し<br>スープ  | 中華そば<br>豚肉<br>ねぎ<br>たけのこ<br>しいたけ<br>油<br>かぶ<br>かまぼこ<br>しいたけ<br>卵白(昼ののこり)<br>とり肉<br>かたくり粉<br>卵白(昼ののこり)<br>葱・油<br>豆 うずら | 1.5玉<br>大葉2<br>20匁<br>半本<br>卵大1/3<br>中1ヶ<br>大S 3<br>3ヶ<br>2切<br>1ヶ<br>少々<br>2切<br>少々<br>少々<br>少々<br>少々 |
|        | 回 かぶら蒸し。マヨネーズ等をつくつて卵の白味が残った時作る。かぶはすり下してさつと水気をとり、卵白とまぜ合せ塩で味をつける。しいたけは充分もどし石づきをとり、砂糖正油で味をつける。青みはさつと茹る器にとり肉、しいたけ、かまぼこ、青みをおき、上にかぶをたっぷりかけてむし器で10分位むしし、しようがあんを上からかける。しようがあんは、だしに正油、塩で吸味よりや濃く味をつけ、片くり粉の水どきで濃度をつけ、しようがのしばり汁を加えます。 |   |   |   |  |  |   |  |

## 7月の献立 1週間

| 朝      |               | 昼                         |                                      |   | 夕  |  |   |
|--------|---------------|---------------------------|--------------------------------------|---|--|--|---|
| 1<br>日 | みそしる          | そうめん<br>油あげ<br>煮干<br>味噌   | 小束½<br>1枚<br>3匹<br>大S 2.5            | 牛肉つくね<br>カレー煮<br>玉葱<br>パン<br>メリケン粉<br>塩・こしょう<br>カレー粉<br>さやいんげん<br>油   | 20匁<br>¼ヶ<br>1/15斤<br>大S 2~3   | 魚の木の芽<br>味噌<br>油<br>しようが、木ノ芽   | 1匹<br>大S 1<br>小S 1<br>少々                      |
|        | 生卵とのり         | 卵                         | 1ヶ                                   | さばムニエル<br>さば<br>メリケン粉<br>油<br>じやがいも<br>トマト  | 少々<br>少々<br>5~6本<br>大S 1   | 正油<br>酒、砂糖   | 少々  |
|        | つくだ煮          | つくだに                      | 小皿1                                  | なす<br>なす<br>なす<br>なす<br>砂糖、酢、正油   | 大S 1   | 豚肉<br>グリンピース<br>にんじん<br>油  | 少々  |
|        | 野菜ソテー         | もやし<br>ピーマン<br>人参<br>油    | 生中皿1<br>2ヶ<br>卵大½<br>大S 1            | なす<br>なす<br>なす<br>なす<br>砂糖、酢、正油   | 1切<br>大S 1<br>½ヶ<br>小1ヶ  | 豚肉<br>グリンピース<br>にんじん<br>油  | 20匁<br>大S 3<br>卵大½<br>大S 1                    |
|        | フレンチ          | トマト<br>きゅうり<br>酢・油        | 小1ヶ<br>½本<br>大S 1                    | なす<br>なす<br>なす<br>なす<br>砂糖、酢、正油   | 中1ヶ<br>大S 2<br>少々  | 砂糖、正油<br>かたくり粉<br>しようが   | 少々  |
|        | 牛             | 乳                         | 牛乳<br>1本                             | なす<br>なす<br>なす<br>なす<br>砂糖、酢、正油   | 大S 2<br>少々   | きうりもみ<br>きうり<br>塩・酢  | 1本<br>少々                                      |
| 2<br>日 | トースト          | パン<br>バター                 | %斤<br>大S 2                           | 豚カツレツ<br>豚肉<br>メリケン粉<br>パン粉<br>油<br>塩・こしょう  | 30匁<br>大S 1<br>大S 1<br>大S 1<br>少々                                      | 五目<br>飯<br>米<br>人参<br>油あげ<br>ごぼう<br>しいたけ<br>醤  | 1合5勺<br>卵大½<br>½枚<br>卵大½<br>中2ヶ<br>1.5勺       |
|        | キヤベツ          | キヤベツ<br>煮こみ               | 大葉2枚<br>玉葱<br>豚肉                     | サ ラ ダ<br>トマト<br>きゅうり<br>玉葱<br>茹卵<br>グリンピース<br>マヨネーズ   | ½ヶ<br>½本<br>¼ヶ<br>1ヶ<br>少々<br>大S 2                                     | 卵<br>焼<br>卵<br>ほうれんそう<br>しらすぼし<br>油・塩  | 少々<br>1ヶ<br>少々<br>少々<br>少々                    |
|        | じやがいも         | じやがいも<br>甘                | 中1.5                                 | 牛<br>乳<br>牛乳<br>砂糖  | 大S 2<br>1本<br>大S 1   | みそ<br>汁<br>しづみ<br>味噌   | 10ヶ<br>大S 2.5<br>2ヶ                           |
|        | 生野菜           | トマト<br>きゅうり<br>マヨネーズ      | 中1ヶ<br>½本<br>大S 2                    | 牛<br>乳<br>牛乳<br>砂糖  | 大S 1   | 漬物<br>小かぶぬか漬   |   |
|        | なす揚           | なす<br>でんがく                | ½丁<br>4~5本<br>大S 2.5<br>3匹           | 煮豆<br>大豆<br>砂糖<br>正油  | ½合<br>大S 5<br>少々   | 回むし<br>豚<br>豚肉<br>トマト<br>トリ<br>きょう<br>うが<br>しょ<br>うが<br>粉<br>塩・酢、正油、酒,                                   | 25匁<br>中½<br>中½<br>中½<br>少々<br>少々<br>少々<br>少々 |
|        | ひじきいり煮        | ひじき<br>えんどう<br>油<br>正油、砂糖 | 1.5ヶ<br>大S 1<br>大S 1.5<br>大S 1<br>少々 | 魚といもの天ぷら<br>あじ<br>さつまいも<br>メリケン粉<br>油<br>大根おろし<br>さらしくじら<br>さらしくじら<br>酢みそ<br>さらしくじら<br>酢みそ<br>さらしくじら<br>酢<br>酢<br>酢 | 大S 4~5<br>小2<br>中½<br>大S 2<br>大S 3<br>25匁<br>大1枚<br>大S 2<br>大S 2<br>少々 | 回かぼちや<br>小倉煮<br>かぼちや<br>あづき<br>砂糖<br>ピーマン<br>あみ焼<br>油、しようゆ<br>生トマト<br>トマト                                | 中½<br>½合<br>大S 3<br>3ヶ<br>中1ヶ                 |
| 3<br>日 | みそしる          | とうふ<br>さやいんげん<br>みそ<br>煮干 | ½丁<br>4~5本<br>大S 2.5<br>3匹           | 煮豆<br>豆<br>大豆<br>砂糖<br>正油   | ½合<br>大S 5<br>少々   | 回むし<br>豚<br>豚肉<br>トマト<br>トリ<br>きょう<br>うが<br>しょ<br>うが<br>粉<br>塩・酢、正油、酒,                                   | 25匁<br>中½<br>中½<br>中½<br>少々<br>少々<br>少々<br>少々 |
|        | なす揚           | なす<br>でんがく                | 1.5ヶ<br>大S 1<br>大S 1.5<br>大S 1<br>少々 | 魚といもの天ぷら<br>あじ<br>さつまいも<br>メリケン粉<br>油<br>大根おろし<br>さらしくじら<br>さらしくじら<br>酢みそ<br>さらしくじら<br>酢みそ<br>さらしくじら<br>酢<br>酢<br>酢 | 大S 4~5<br>小2<br>中½<br>大S 2<br>大S 3<br>25匁<br>大1枚<br>大S 2<br>大S 2<br>少々 | 回かぼちや<br>小倉煮<br>かぼちや<br>あづき<br>砂糖<br>ピーマン<br>あみ焼<br>油、しようゆ<br>生トマト<br>トマト                                | 中½<br>½合<br>大S 3<br>3ヶ<br>中1ヶ                 |
|        | ひじきいり煮        | ひじき<br>えんどう<br>油<br>正油、砂糖 | 大S 3<br>大S 1<br>大S 1<br>少々           | 生トマト<br>トマト<br>牛乳<br>砂糖   | 1ケ<br>1本<br>大S 1   |  |   |
|        | 生トマト          | トマト                       | 1ケ                                   |   |  |  |   |
|        | 牛             | 牛乳<br>砂糖                  | 1本<br>大S 1                           |   |  |  |   |
|        | 漬物            | 浅漬                        |                                      |   |  |  |   |
| 4<br>日 | みそ汁           | かぼちや<br>玉葱<br>味噌<br>煮干    | 卵大1<br>½ヶ<br>大S 2.5<br>3匹            | スパゲツチ<br>トマトイタメ<br>ひき肉<br>玉葱<br>トマト<br>いんげん<br>チーズ<br>ソース<br>砂糖<br>油  | ¼束<br>20匁<br>½ヶ<br>小1ヶ<br>5~6本<br>少々<br>少々<br>少々<br>大S 1               | 魚のコールド<br>生さけ<br>さやいんげん<br>マヨネーズ<br>塩・こしょう<br>金びらごぼう<br>ごぼう<br>人油<br>かぼちや<br>そぼろかけ<br>ひき肉<br>かぼちや<br>さとう | 1切<br>5~6本<br>大S 2<br>少々<br>半本<br>卵大½<br>大S 1 |
|        | なつとうのり        | なつとう<br>のり                | 大S 3<br>1枚                           | ハムエッグ<br>ハム<br>卵<br>キヤベツ<br>きうり<br>酢、油  | 5枚<br>1ヶ<br>1枚<br>½本<br>少々   | 清汁<br>かまぼこ<br>そうめん<br>青菜   | 10匁<br>卵大6<br>大S 2                            |
|        | さけと青菜の<br>いため | さけかん<br>青菜<br>油           | 中皿1<br>大S 2<br>1本<br>大S 1            |   |  |  |   |
|        | 牛             | 牛乳<br>砂糖                  |                                      |   |  |  |   |
|        | 漬物            | 浅漬                        |                                      |   |  |  |   |
|        | 牛             | 牛乳<br>砂糖                  |                                      |   |  |  |   |
| 5<br>日 | ごま汁           | ごま<br>なす<br>味噌<br>さば      | 小S 2<br>小1ヶ<br>大S 2                  | カレーライス<br>豚肉<br>じやがいも<br>玉葱<br>メリケン粉<br>にんじん  | 15匁<br>中1ヶ<br>中½<br>大S 2~3<br>卵大½                                      | 牛レバもみ焼<br>牛レバー<br>塩・こしょう<br>やくみ  | 1切<br>少々<br>大S 1                              |
|        | 魚ムニエル         | 粉<br>油                    | 1切<br>小S 2<br>大S 1                   |   |  |  | 七ろい   |

|        |  |  |  |   |   |   |   |
|--------|--|--|--|---|---|---|---|
| 5<br>日 | ピーマン<br>なべしき焼<br>みそ<br>砂糖<br>油<br>白す和え<br>大根おろし<br>大根白干  | ピーマン<br>大S1.5<br>大S2<br>大S1<br>卵大1<br>ちよこ2杯  | 3ヶ<br>半熟<br>生牛<br>トマト<br>牛乳<br>牛乳<br>砂糖  | 卵<br>塩<br>トマト<br>牛乳<br>牛乳<br>砂糖   | たまご<br>少々<br>中1ヶ<br>1本<br>大S1   | 冷やつこ<br>なす油<br>豆腐<br>葱<br>しょうが<br>なす<br>油<br>からし, 正油  | %丁<br>6cm<br>少々<br>2ヶ<br>大S2  |
|        | みそ汁<br>キヤベツ<br>味噌<br>目玉焼卵<br>野菜ソテー<br>油<br>ソース・塩<br>小魚かんろ煮<br>小魚<br>さとう, 正油<br>漬物<br>なす<br>きうり<br>牛<br>乳<br>牛乳<br>砂糖   | じやがいも<br>キヤベツ<br>味噌<br>大S2.5<br>2ヶ<br>10本<br>1/2ヶ<br>大S2<br>少々<br>25枚<br>1ヶ<br>半本<br>1本<br>大S1 | 1/2ヶ<br>1/2枚<br>コロツケと<br>生野菜<br>卵<br>パン粉<br>油<br>トマト<br>キヤベツ<br>いわしかば焼<br>いわし<br>さとう, 正油 | あづき飯<br>豚肉<br>玉葱<br>じやがいも<br>卵<br>パン粉<br>油<br>トマト<br>キヤベツ<br>いわしかば焼<br>いわし<br>さとう, 正油 | 米<br>あづき<br>15匁<br>1/4ヶ<br>1/2ヶ<br>大S1<br>大S1<br>1/2ヶ<br>中3匹  | なまりときう<br>り<br>ソーセージ<br>ホワイト和え<br>あじカラ揚と<br>生トマト<br>小あじ<br>油<br>メリケン粉<br>夏みかん汁<br>生トマト                  | 1/2切<br>1/2本<br>大S1.5<br>大S2<br>少々<br>5枚<br>1ヶ<br>1/2本<br>大S2~3<br>大S1<br>大S1<br>5匹<br>大S2<br>大S1<br>少々<br>1ケ |
| 6<br>日 | トーストパン<br>パン<br>ピナツバター<br>かんづめさば<br>かんづめ<br>と, もやしの<br>いため煮<br>油<br>正油<br>塩<br>半熟卵と<br>卵<br>生トマト<br>牛<br>乳<br>牛乳<br>砂糖 | パン<br>大S3<br>1/4かん<br>生中皿1<br>大S2<br>大S1<br>小S1<br>1ヶ<br>1ヶ<br>1本<br>大S1                       | 豚串かつ<br>豚肉<br>ねぎ<br>メリケン粉<br>卵<br>パン粉<br>油<br>じやがいも<br>トマト<br>なすしき焼<br>なす<br>油<br>味噌     | 35匁<br>1本<br>大S3<br>1/2ヶ<br>大S2<br>大S2<br>1/2ヶ<br>1/2ヶ<br>2ヶ<br>大S2<br>大S2            | 貝御飯<br>米<br>玉葱<br>人参<br>ピーマン<br>しいたけ<br>ハム<br>はまぐり<br>油<br>魚団子汁<br>いわし<br>メリケン粉<br>葱<br>おひたし<br>つまみな<br>ほしえび<br>煮<br>豆うずら<br>砂糖 | 1合<br>卵大1/2<br>卵大1/2<br>小2ヶ<br>2ヶ<br>2枚<br>10ヶ<br>大S2<br>3匹<br>少々<br>10cm<br>中皿1<br>1つまみ<br>1/2合<br>大S5 |   |
|        |  |  |  |   |   |   |   |
| 7<br>日 | 回 蒸しぶた。豚肉切身に塩をすりこみ、酒、塩水のまぜた中に入れてちょっと煮つけ、むし器にいれしうがのおろし汁をつけ、約20分むしてから角に切り、トマトの半月切りと、きうりの塩もみをつけて盛り合せ、ねり辛子と正油をそえる。         |  |  |   |   |   |   |
|        | 回 かぼちや小倉煮。あづきは柔らかく煮、砂糖を加え甘く煮ておく、かぼちやは角にきり、砂糖、塩味に柔らかく煮ておく。前的小豆に正油を加え味をし、かぼちやの上にたっぷりかける。                                 |  |  |   |   |   |   |

(成女高校家庭科教諭 連盟編集委員)

(以下次号)

## 「ファンの希望」

### 1) 大学リーグ戦

アメリカでは春の室内シーズンには各大学とも毎週のように対抗戦を行っているが、わが国も早慶日明立中法大位のインター カレッヂ1部校で6月上旬から毎週土日曜日にリーグ戦をやってはどうであらうか。7月中旬頃には終る筈である。1部員の多い学校は相手校によって、2級選手を出場せしめてレースに馴れさせることもできるし、好調の選手に記録をねらわせることもできる。面白いカードも組まれてまことに興味深いものがあると思うが、気易くレースを行う気持ちはないだらうか。

### 2) 日ソ洪三国対抗戦

オリンピックの翌年は国際レースの予定はないようだが、ソ連とハンガリーの両国を招待して三国対抗戦をやれば必ず成功すると思う。オーストラリアは確かに強いが、平泳とバタに弱点があり、チームとしてはハンガリー、ソ連の方が纏っている。それにソ連相手なら招待の条件も妥協し易いではないだらうか、又新しい観客層も獲得できると思う。これが成功すれば定期戦にすれば尚結構であらう。

(1ファン)

# 飛板飛込の基礎理論

毛 利 元 英

## 1. 空中におけるフォーム

飛込競技を演技する選手は誰でも所謂綺麗なフォームをして入水したいと熱望していることは今更言を要しない。明確な「線」即ち最高度に伸び切った体は飛込の最も重要な基礎の中の一つである。脊骨と一直線になった頭部、同様に下半身を鋭く強く伸す、これの統一が出来た時に始めて、各種の複雑な飛込が完成されるといつても過言ではないと思う。これ等のことは全て、ファンシイダイビングを合理的に且つ科学的に探究したキャリアのある熱心な飛込指導員に依って詳細に注意が与えられなければならない。例へば入水の瞬間はどうしても足首が離れるという癖があったら、足首の間に厚紙を挟んで足首に注意をはらう様な練習法をアメリカでは一般的に行われているのである。

## 2. アプローチ（助走）

板の最前部より数歩（選手諸君の最も好きな距離で良い）の所に直立不動で立ち、体の不必要的力は全てこれを抜いて、手は両脇に自然に下げて置く。助走は先づ平均した歩幅を以って始められ、板の最前端より稍長く大きく一步手前から左右いづれかの足から飛上る。この最後の一歩にする左右いずれかの足は膝が高く上がる程両足が板に着く時の反動は強くなる。最後に板の最前端を両足で踏む直前は爪先から胸迄が一直線になって居なければならない。腕は両方共前方に伸ばしながら外側に廻すべきである。板が跳ね返った時に腕は前上方に伸ばし脚と足首は鋭く伸張されて居なければならない。この瞬間迄が助走である。板を離れた後前記のフォームで最高度に飛び上った後に各種の演技に移る訳である。

## 3. 飛板からの走り前飛に關して銘記すべき事項

A選手は飛込に必要な高度を取る為に助走は自然に踏切は力強くされねばならない。

B常に正確な踏切こそ重要である。

C入水は力の限り直線にすること。

## 4. 飛込に必要な判断と感覚、長い練習の必要性

飛込に必要な感覚とは即ち「飛込演技進行中に各自が現在行っている姿勢、高度、運動方向に、常に注意を集中すること」である。飛込は如何なる体の型をしていても、これを制限してはいないが概して過度に肥大したり、重い下半身と軽い体をした選手は上達するには相当の困難が伴うことは事実である。一般的に云って、長身の者は伸型と捻り型がよく短身は回転型の方が良い。然しこれらの条件は必ずしも真実ではない。又女子の場合1回半以上の回転は、「女性の生理的な関係から起因する男子とは異った腹部の筋肉の要求に従つて、あまり優美な演技を期待することは出来ない」から女性の身体構造に適したフォームに注意を向ける方が賢明である。

## 5. ファンシイダイビングの基礎

ファシイダイビングの高等種目が完成される迄には一定の基本種目を先づ確実にして、それから各自選手の持味を發揮する様念頭に置かねばならない。基本種目とは大別して2組ある。1.蝦型、後飛、前後宙返り、半回捻り、2.方向の変化 イザンダー、バックジャクナイフ。

A 走り前飛蝦型 助走の後最高度で爪先き或は足首に両手をしっかりとタッチしてから、強く体を伸ばし入水する。（入水姿勢は第2項「助走」で説明してあるから以後入水に關して省略する。）この種目の鍵は、頭部より尻を高く上げる様な感覚で板を踏むことにある。又この種目に必要なことは体の筋肉と骨が柔軟性に富んで居なければならないということである。この種目の他種目に対する関係は、前飛、回転、後飛とハーフゲイナーの変化等に応用され、その重要性は技術の進歩過程という点で見逃がす訳には行かない。この種目は選手が、板から最高度に上がり、完全なジャクナイフをフォームして、頂点

でそのフォームを出来る限り保持し、入水を明確にする余裕を持つことが出来る様になった時に始めて「完成された」と云うのである。

B 後飛伸型 この種目は後向きで入水する他の種目の全てに対してキイポイントとしての重要性がある。又この種目はハーフゲイナー 半回捻り、1回捻り、後1回半等その他に応用されて居る。先づ爪先で板の端を踏み、踵もしっかりとつけ、出来る限り踵と頭部、脊骨、脚部が一直線になる様にする。手は肩幅の広さで、高さは肩より心持上に伸ばして上げて置く。この手はあくまで体の釣合をとるためにあり、後に反動作用の助けとするのである。さて前上方に伸ばして置いた手を、そのまま樂に且つ少しづつ加速度を加える様な感覚で体の脇に下す、この時は体重が爪先に乗っていなければならぬ。体重を中心に置くという意味は腕を下す時は同時に肩と踵を沈ませるという意味を含まれているから注意する様に。次に再び腕を体の真横から頭上に伸ばしたまま思い切り上げ、一本の棒の様になり、(この時踵も出来る限り持上げる) 上げた両腕を今度は力強く下ろし、軽く膝を曲げ板を押しつける感覚で跳び上がる所以である。この踏切りは抑えられた板が反撥して頂点に来た時に足が離れるのである。ここで注意すべきは、足が板から離れた瞬間は、地球の力即ち引力が板の端の少し先の所に働いて居るということである。若し踏切の時に、1インチ後方に傾くと、如何に高く上ってもその何倍も遠くに入水してしまうものである。上手な後飛は長い弧線を描くことではない。要点はロケットの様は垂直に板を離れ頂点で鋭くターンして再び垂直に入水するのがこの種目の求めるものである。板を離れてから、腕を前から頭上に揃えて伸ばし肩の線とやや一致する線まで拡げる。即ち前飛伸型の逆の形が出来た時が、空中での最高度である。この時は背中が余り彎曲せぬ様に、次に頭部をゆっくり強く後に落し、後は前記入水の通り。この種の演技は頸の筋肉と腹筋の強さがその大半の要素を形成している。

C 走前逆飛伸型、この種目の大部分は力強い飛出しと、体を自分の頭部よりも高く持上げるだけの飛翔力とに含まれて居る。又この種目の難かしい所は、体を傾けさせようと、必要以上に前方に飛出し勝ちになることである。それは落下中に頭部が板と接觸しないかという不安からも来ている。助走は走前飛と同じ様に思って行けば板に頭部を打つ

ことはないであろう。「物理的隨性」を忘れるな。この種目はスタートの時には、「腰を最も高い空中に投出す様な感覚」を忘れてはならない。重い引力の働きで足が上半身に附いて行かない様な場合は、腰そのものよりも下半身全体を持上げるのに苦しまなければならないかも知れない。此処で諸兄は再度腹筋の強靱性の必要について認識を新にするであろう。

D 後踏切前飛蝦型、板からやや後方に跳ね上了ならば、腰を思切り上方に持上げ両手は自然に下るし爪先にタッチする。爪先にタッチした瞬間がこの種目の空中最高度でなければならない。頭部は爪先を良く注視してそのまま板の所まで落下して來たら、蝦型を明確且力強く後踏切前飛の姿勢に直し入水しなければならない。踏切の時、板から体の中心を1インチ後方に傾ければ、入水まで2フィートは離れるものであることを銘記すべきである。必要以上の中心の移動は、いたずらに高さを減ずるばかりであることは言を待たない。この種目は空中に於ける演技を正確ならしめる様高く飛び上の必要があり、それには踏切の「鋭い力」が要求されている。

E 走前飛半回捻り この種目は「高度な感覚と技術を要求する」捻り型飛込を習得するために誰でもが必ず練習しなければならない。「捻り方」はそれだけでも良いが他の宙返り型とのコンビで応用されていることは諸兄御存知のこと。板を離れてから、前伸型と同型で頂点まで行き、頭部を左右いずれかに廻わし、脊中が水面と平行になるまで飛込の角度と方向を変化させることなしに、空中で体を頭部に統いて捻るのである。入水は後飛伸型と同じである。若し頭部の廻しが後飛伸型同様の入水姿勢になるに不充分な時には捻っている方向の内側の腕を体の前を横切らせて頭部上方に持って行って他の腕と合接すれば良い入水が出来るであろう。

(日大OB 飛込競技委員)

×

×

×

# 日本泳法研究会を行なつて

（昭和31年2月25日～26日）

多治見祐孝

期　　日 昭和31年2月25日（土）26日（日）

場　　所 伊東温泉プール

研究泳法 水戸水府流

参　　加　者 男子38名 女子10名

普及部会が毎年実施している日本泳法研究会も回を重ねること5回、参加者も益々増加すると共に、充実度をもち、普及部会の行事中にあって有意義な会として存在するようになったことは、誠に喜ばしいことである。

本紙を通じて説明するまでもないが、本研究会は古来日本に伝わって来た流派の師範格・研究家、及び愛好家の集ひであつて、これ等参会者の懇親と各々の技術の向上を図ることを目的とし、毎年一つの流派をテーマとして、その流派を招待し、講義を受けると共に、実技の指導と泳法の伝達をして戴くこととなって居り、昨今稍もすれば衰微の傾向にある古式流派のために将来とも大きな期待がもてる存在となって来るものと思う。

本年は上記の水戸水府流の上市・下市の各師範を御招待し行なわれたが、当日は天候に恵まれ参加者の出足も多く本会の開催を前に早くも盛大な空気がただよっていたし、諸行事が時間通りに整然と進行したことは回を重ねたこともその一つの理由と思うが、それより増して参加各位の本研究会の内容の熟知と、本会を愛している賜であることがしのばれた。

水戸水府流から上市の乾三郎、蔭山秋穂・下市から石川芳雄の各師範の先生方が、定刻前から到着され、行事開始頃には早くも机上に話の華が咲き、東京の千葉、外山、松沢、小林（高）、大阪の中尾の諸氏が室間に座を囲んで、口角泡を飛ばしていた。午後6時30分大広場に於て、夕食を取り、夕食に引続いて水戸水府流の起因から、今日に至る流れを、石川、乾両先生から、約3時間、参加者一同に

熱心な講義をされたが、その講義の間も参加者に対して笑わせる場面も屢々あつたりして、長時間ではあったが、退屈することなく、一心に聞き入り、最後に質疑応答に火花を散らし、なごやかな講義に終始したのであった。10時過ぎ第1日目の会は閉じたが、以後三々五々各々室に入って机を囲み、談合に時間を過ごした様であった。

第2日目は日曜日であると共に、天候に恵まれていたので、一般の客足も多いことを予測し、午前7時プールに集合、一般客のない時間も利用、実技の指導を受けたが湯気が相当あるので、プール全体を使っての実技指導が出来ず一角に集まって行なったが、参加者は腹が減ったり、上気することも忘れ、研究会の雰囲気を最高度に發揮し、老も若きも新たな泳法を会得しようとする意慾が見られた。又時間がなかったので、短時間ではあったが、串田氏の説明によりシンクロナイズド・スイミングの実技指導が少々紹介されたが参加各位の真剣な研究心と意欲旺盛なことを痛感させられた。朝食も忘れた一同も一般客の多くなったプールに、時間のたつたことを知り3人5人とプールより上り、午前9時30分ようやく空腹を訴えながら大広間に集合し朝食を取ることになった。朝食後は懇談会となつたが、話に花が咲き、会の終るのも忘れる様な始末であった。

本研究会はかくして盛大裡に第2日目（26日）正午解散となつたが、本会は前述した通り誠に充実した会であると共に、本年は長老千葉真一氏、暫らく遠のいていた森秀臣氏や女子競泳に活躍していた小椋とみ子、保見紀子さん等の参加があり、又千葉県から秋葉先生と一緒に生徒の安房一高の日本泳法研究者の参加や神奈川県からも日本泳法を研究している御婦人が3名等例年ない参加者があったことは日本泳法に対する将来に大きな希望が持てたことは特筆にあたいすることである。



この様な会が発展することによって、全国から斯様な研究家や愛好家が参集することは、日本の水泳界の発展のために大いに喜ばしいことであり、殊に斯る会に参加され、水泳の研究の結果、一人でも多くの泳げる様な指導を行ない、水に対する犠牲者の一人でも少なくなることの一も早やからんことを望んでいる次第である。

#### 出席者

#### 招待者

乾 三郎、蔭山 秋穂、石川 芳雄

#### 普及部委員

松沢 一鶴、千葉 真一、外山 高一

佐々木 救、斎藤武五郎、菊田 保孝

小林 高志、白山源三郎、小泉 正延

西本 秀雄、吉田 勝平、串田 正夫

牧野豊一郎、山口 和夫、宇田川幸太郎

多治見祐孝

#### 東京都

森 秀臣、西山松之助、石幡 善一

松本 多勝、橋本のり子、姉崎 一久

斎藤 達男、小椋トミ子、保見 紀子

高橋 静子、栗村マサ子、広中千鶴子

#### 千葉県

秋葉 丈夫、高木 博夫、神尾 謹嗣

庄野 武夫、鈴木 晃

#### 神奈川県

黒川 光子、井原とみ江、荒井 栄子

#### 浜名灣

井上 利夫、内山 高、宮川 紀子

#### 愛知

杜本 義信、斎藤 劍次、坪内 信三

#### 京都

瀬尾 謙一、金子 泰二

#### 大阪

中尾 保

×

×

×

×

## 今シーズンの練習計画

中京商業高校水泳部長 鈴木重孝

1. 4月中旬—5月中旬 脚力、腕力に重点をおく。
  1. 5月中旬—6月中旬 持久力の養成
  1. 6月下旬—7月初旬 スプリントの養成  
ペースの会得
  1. 7月中旬 レースに備へる
- (注)梅雨期が終る迄充分泳ぎ込ませる。暑くなればレースに備えるため練習をコントロールし体力の増強に留意する。

五条高校水泳部長 浦井保弘

本年度はオリンピックに備えて例年と異なりシーズンオフの間、如何にすべきかと言ふ問題を研究し其の結果学校のプール横に2M—3Mの温水プールを作り、水温を23度～30度まで上昇、柔軟体操の外に年間を通じて水中にてバタ足、キャッチングの練習を致し其の間2、3週間の間隔をおいて白浜温泉プールに記録会に参りました。結果は非常に上々で第1回目の練習でシーズン中の練習記録の約90%の実績を挙げ3回、4回と回を重ねるとシーズン中の記録と少しも変りなく寧ろ自己のベスト記録を突破致した選手がいました。

参考までに2、3の例を挙げますれば佐藤嬉子100M 1分9秒2、200M 2分34秒6、鳥田節子200M 2分42秒、長谷川浩三100M バタフライ1分9秒2、200M 2分37秒1、と他の選手達もシーズン中の練習と少しも変りありません。シーズンオフ中の最後の練習場として3月21日には約1週間、伊

東小湧園プールで練習し、その儘で最初からシーズン中(7、8月)の練習法を行いたいと思つています。

約3、4ヶ月程他の学校に比して早く本格的な練習に入れるのですが、昨年に比し練習期間が非常に長いので如何なる方法で気分交換等を行ふか、非常にむづかしい点があるのではないかと思つています。とにかく8月のオールジャパンにベストを持つてゆく様、選手達のコンディションを調整致したいと考えています。そして目標の女子400Mリレーを4分36秒まで奈良県勢のみにて短縮致したいと考えています。最後に皆様の御指導御鞭撻をお願い致します。

伊都高校水泳部長 池田岩夫

### 1. 現在強化体操続行中

男子は足、腕、腹肉の強化と柔軟体操

女子は特に腕力、腹肉の強化

2. 3月25日～4月5日 水中練習(釜石・白浜プール)  
フォームの完成を主とし持久力を養成する。
3. 4月8日より軽い練習、持久力の養成。
4. 6月に入つて本格的猛練習。
5. 本シーズンに入つて試合準備練習。

### 備考

①特に女子選手の強化に重点を置きオリンピックを目指す。

②男子選手も全国的レベルに到達せしめる。

③試合出場は重点出場とする。

④練習と休養のバランスを特に考慮する。

## 私はオリンピック予選を迎えるまでに 如何なる準備練習をしたか

葉室鉄夫

ベルリン大会を目指した私の練習計画は前年11月中旬から1ヶ月間YMC Aに通い、冬休みの2週間候補選手の合宿練習に入り、ここで柳田亨先生に指導された体操で、体を改造して、春休みの合宿まで2ヶ月間YMC Aに通った。特に水泳体操は私の水泳選手としての生活に大きな影響を与えたと思う。この時私は日大の予科2年18才だったが、大学3年の22才まで必ず100か200で自己のタイムを縮めてゆくことができて、現役最後の年に100、200の日本最高記録を出せたのも、水泳体操のおかげだと思っている。

春休みの合宿練習で東大プールで火傷、前にも不注意で足を怪我をしたため、最終予選では上り坂ではあったが最高の調子ではなかった。このためベルリンでは調子がでるのが遅く、大会では私の調子は下り坂ではあったが他の選手のように疲れて、不調だとゆうようなことはなかった。

結局私の場合は日大に入った年(16才)5月の極

東大会、(マニラ)に出場、翌年日米対抗に出場し、引きつづきその年の冬はオリンピック候補の合宿に入るというように中だるみや、病気などがなくて、大会までの順序も丁度よかったです。ベルリンでの成功に役立ったと思っている。しかしこの冬と春の合宿練習で習った体操の効果は非常なものだった。

若い現役選手、ことに高校選手はまず筋肉と関節を柔くして充分な巧緻性と、持久力をつけた後、最後に競り合って敵に勝つ力を作るべきである。

今年はまだこれからシーズンがあるから充分の準備と練習をして代表選手の選考レース(全日本その他)を目指し、敗れて悔いのないレースをして欲しい。そしてオリンピックには充分の練習と、充分な休養をとって、メルボルンでは持っている力を爆発的に発揮して戴きたい。

(ベルリン・オリンピック200米平泳優勝者)

# 主なる大学の卒業生と新入生

4月中にわかつた大学の主なる新入生と卒業生は次の通りである。

## ○早稲田大学 卒業生

|       |     |        |    |
|-------|-----|--------|----|
| 谷 訪   | 自由形 | 八幡製鉄   | 八幡 |
| 横田 宣明 | 〃   | 倉敷レーヨン | 愛媛 |
| 浅野 満  | 〃   | 浅野運輸   | 愛知 |
| 黒佐 佐  | 清   | 背泳     |    |
| 鈴木 進  | 〃   | 第一水産   | 静岡 |
| 田中 守  | 平泳  | 旭電化工業  | 東京 |
| 馬場 豊  | 飛込  |        | 天理 |

## 新入生

|       |          |     |
|-------|----------|-----|
| 坂井 逸次 | 三瀬高(福岡)  | 自由形 |
| 上本 正義 | 国泰寺高(広島) | 〃   |
| 上地 康夫 | 田辺高(和歌山) | 〃   |
| 青山 昌三 | 中京商高(愛知) | 背泳  |
| 窪 哲博  | 五条高(奈良)  | 平泳  |
| 岩橋 弥生 | 今宮高(大阪)  | 飛込  |

## ○日本大学 卒業生

|       |     |       |    |
|-------|-----|-------|----|
| 鈴木 弘  | 自由形 | 日本通運  | 東京 |
| 石橋 明  | 〃   | 久留米   |    |
| 堀内 良治 | 〃   | 大野興業  | 東京 |
| 倉橋 範彦 | 背泳  | 報知新聞社 | 〃  |
| 板井 道生 | 平泳  | 三井生命  | 〃  |
| 菅原 平  | 水球  | 東洋製菓  | 〃  |

## 新入生

|        |           |       |
|--------|-----------|-------|
| 川岡 長身  | 法政二高(神奈川) | 自由形   |
| 増田 黙   | 日大一高(東京)  | 〃     |
| 古谷 武良  | 〃(〃)      | 〃     |
| 林 利博   | 日大二高(〃)   | 〃     |
| 池尻 月男  | 山鹿高(熊本)   | 〃     |
| 八本 清三郎 | 夕陽丘高(大阪)  | 〃     |
| 徳永 誠也  | 山鹿高(熊本)   | 背泳    |
| 木村 基   | 城東高(高知)   | 平泳    |
| 簗原 友義  | 福岡工高(福岡)  | バタフライ |

## ○明治大学 卒業生

|       |     |         |    |
|-------|-----|---------|----|
| 堂崎 治好 | 自由形 | 日産ディーゼル | 埼玉 |
|       | 新入生 |         |    |

|       |          |     |
|-------|----------|-----|
| 岡田 洋一 | 中京商高(愛知) | 自由形 |
| 加藤 守彥 | 〃(〃)     | 〃   |
| 大谷 康夫 | 観音寺一(香川) | 〃   |

山本 修 木本高( ) 自由形

坂梨 公昭 山鹿高(熊本) "

山口 定市 安房一高(千葉) 背泳

沼 忠慶 柳井商工(山口) "

早川 哲郎 愛知高(愛知) 自由形

## ○中央大学 卒業生

|       |     |         |    |
|-------|-----|---------|----|
| 南 佳恵  | 自由形 | 東田中学校   | 東京 |
| 庄司 政雄 | 〃   | 中大後楽園校舎 | "  |
| 広 達夫  | 平泳  | 日産自動車   | 愛知 |
| 中村 研造 | バタ  | 近畿相互銀行  | 大阪 |

## 新入生

|       |          |       |
|-------|----------|-------|
| 鈴木 英土 | 伊東高(静岡)  | 自由形   |
| 金谷 修作 | 田辺高(和歌山) | "     |
| 増岡 正浦 | 和高(埼玉)   | 背泳    |
| 角剛伸   | 今宮高(大阪)  | "     |
| 袴田 道生 | 浜松西高(静岡) | 平泳    |
| 最上 義則 | 蔵前工高(東京) | バタフライ |

## ○立教大学 卒業生

|        |     |                 |    |
|--------|-----|-----------------|----|
| 井原 孜   | 自由形 | 伊東温泉プール<br>(自宅) | 静岡 |
| 野末 俊夫  | 背泳  | 第百生命            | 東京 |
| 大久保 憲二 | 〃   | ダイハツ工業          | "  |
| 藤原 哲則  | 〃   | 富国生命            | "  |
| 荒牧 弘   | 平泳  | ラジオ九州           | 福岡 |
| 藤家 衛   | バタ  | 長野電鉄            | 長野 |
| 黒田 藤樹  | 〃   | ナショナル証券         |    |

## 新入生

|       |         |     |
|-------|---------|-----|
| 野村 孝司 | 立教高(東京) | 自由形 |
| 豊池 守  | 〃(〃)    | 平泳  |

## ○慶應大学 卒業生

|       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| 吉岡 清吉 | 自由形 | 吉川商店  | 東京  |
| 荒川 八郎 | 〃   | 鎌倉市民座 | 神奈川 |
| 鈴木 明  | 飛込  | 大成紙業  | 東京  |

## 新入生

|       |          |    |
|-------|----------|----|
| 二宮 英雄 | 江南高(神奈川) | 背泳 |
| 三橋 航  | 武藏高(東京)  | 平泳 |
| 若林 博義 | 教大附高(〃)  | "  |

## ○成蹊大学 新入生

|       |         |      |
|-------|---------|------|
| 仙葉 元昭 | 成蹊高(東京) | 平泳   |
|       |         | (島田) |



今年はオリンピックを控えているので出来るだけ海外の情報を集めて世界の大勢を御紹介したい。全然名前を知らなかつた選手が決勝に残つたなどと言うことのないように。

次に掲げる情報は主として去年の秋から今年の3月迄のものであるが、メルボルンにおける日本の好敵手が誰であるかが大体分るような気がする。

なお英、米、豪はヤード種目が大部分であるから、参考までにこれをメートルに換算しておく。(英道)

|                  |                |
|------------------|----------------|
| 100Y —— 91M44    | 110Y —— 100M58 |
| 200Y —— 182M88   | 220Y —— 201M16 |
| 440Y —— 402M33   | 880Y —— 804M65 |
| 1650Y —— 1508M73 |                |

● 豪州 最近の豪州水泳界はヘンリックス、チャップマン、ローズ等を中心に目ざましい躍進をみせているが、2月17日から8日間にわたって北シドニープール(塩水55Y)で行われた豪州選手権大会では好記録が続出し、ロスアンゼルス大会当時の日本チームを思わせるものがある。

豪州水連はこの大会の成績をもとに男女36名のオリンピック候補を指定し、更にギャスリー、ハーフォード、ギャラガーの3名をコーチに任命しメルボルンに臨む体勢を固めた。これ等の候補選手は10月末に行われる最終予選会で篩にかけられ豪州水連言うところの『史上最強のチーム』を編成することになっている。

選手権大会記録(チャップマンのコーチ、ギャスリー氏の報告による)

男子 110Y 自 1. J.ヘンリックス 55.5 (長水路世界最高) 2. G.チャップマン 56.5 3. J.デヴィット 57.9 4. C.ウエルド 58.0 5. J.ハイリス 59.0 6. K.オハロラン 59.9

男子 220Y 自 1. G.チャップマン 2:05.8 (長

水路世界最高) (途中200M2:05.2長水路世界最高)  
2. J.ヘンリックス 2:05.8 (長水路世界最高) 3. M.ローズ 2:07.7 (予選2:07.5) 4. K.オハロラン 2:09.2 5. J.デヴィット 2:11.5 6. C.ウエルド 2:13.3

男子 440Y 自 1. M.ローズ 4:33.0 2. M.ガレッティ 4:37.3 3. K.オハロラン 4:37.8 4. G.ワインラム 4:40.6 5. G.ハミルトン 4:48.7 6. G.ジーベンプーム 4:51.2

男子 880Y 自 1. M.ローズ 9:36.4 2. M.ガレッティ 9:43.8 3. G.ワインラム 9:52.0 4. G.ジーベンプーム 9:57.3 5. J.コンラッジ 10:02.7 6. J.コンロイ 10:28.6

男子 1650Y 自 1. M.ガレッティ 1:33.5 2. G.ワインラム 18:44.4 2. M.ローズ 18:49.8 4. J.ドノヒュー 19:02.3 5. G.ジーベンプーム 19:15.9 6. R.リード 21:42.5

男子 110Y 背 1. D.タイラ 1:05.5 2. J.モンクトン 1:06.4 3. J.ハイリス 1:07.1 4. M.スワンソン 1:10.2 5. A.トリッケイ 1:10.8 6. A.フィングルトン 1:14.0

男子 200Y 平 1. T.ギャザーコール 2:45.4 2. G.ウイーバー 2:52.2 3. H.バウマン 2:54.7 4. R.リーピー 2:55.6 5. W.アーノルド 2:59.3 6. J.ウエストン 3:01.2

男子 220Y バタ 1. G.ミドルトン 2:36.5 2. P.アンダーソン 2:41.6 3. B.ウイルキンソン 2:43.0 4. J.マーシャル 2:44.1 5. H.ターナー 2:48.8 6. E.アボット 2:49.8

男子 440Y 個人混 1. C.ウエルド 5:40.9 2. B.ウイルキンソン 5:47.2 3. G.ミドルトン 5:53.0 4. M.ジャング 5:55.5 5. W.アーノルド 6:03.5 6. L.ムーア 6:11.7

男子 880Y 継 1. ニュー サウス ウエ尔斯(デヴィット、ヘンリックス、チャップマン、ローズ) 8:35.8 2. クイーンズランド 9:22.7 3. ウエスタンオーストラリア 9:25.6 4. ヴィクトリア 9:36.6

男子 440Y 混継 1. ニュー サウス ウエ尔斯(モンクトン、ギャザーコール、ヘンリックス、チャップマン) 4:26.2 2. クイーンズランド 4:36.5 3. ヴィクトリア 4:48.0

男子 飛板飛込 1. R.フォールズ 150.26 2. M.マッカン 144.56 3. B.ワーレン 144.04 4. A.ワインサー 142.82 5. W.ブラウン 132.90 6. F.

- マーフィ 131.04
- 男子 高飛込 1. F. マーフィ 147.78 2. B. ワーレン 136.45 3. W. タリー 135.74 4. W. ブラウン 135.16 5. C. キャシャード 133.22 6. B. ブラント 129.81
- 女子 110Y 自 1. D. フレーザー 1:04.5 (長水路世界最高) 2. L. クラップ 1:04.8 3. M. ギブソン 1:08.1 4. J. マンロー 1:08.1 5. J. フォッグ 1:08.8 6. F. マッキロップ 1:09.7
- 女子 220Y 自 1. D. フレーザー 2:21.2 (世新) 2. L. クラップ 2:25.1 3. J. マンロー 2:33.6 4. J. フォッグ 2:34.1 5. B. ジャクソン 2:34.9 6. C. オファレル 2:37.4
- 女子 440Y 自 1. L. クラップ 5:05.9 (世新) 2. D. フレーザー 5:07.9 (世対) 3. C. オファレル 5:19.8 4. P. バートン 5:21.6 5. J. マンロー 5:23.9 6. D. グリヤー 5:38.3
- 女子 800Y 自 1. J. マンロー 11:07.4 2. C. オファレル 11:08.7 3. P. バートン 11:28.1 4. C. ガイルス 11:54.8 5. S. ベンタース 12:00.9 6. D. クリーク 12:02.5
- 女子 110Y 背 1. G. ベケット 1:17.5 2. P. シングルトン 1:17.9 3. B. ジャックソン 1:18.2 (予選 1:18.1) 4. P. ハンチングフォード 1:19.0 5. D. ナクト 1:19.4 (予選 1:17.9) 6. A. ビーヴモア 1:19.4
- 女子 220Y 平 1. B. エバンス 3:05.4 2. B. サイクス 3:05.5 3. L. ホイリヤー 3:10.0 4. D. ワーモルド 3:14.9 5. B. カーンク 3:16.0 6. P. スタントン 3:16.7
- 女子 110Y バタ 1. B. ベインプリッヂ 1:16.8 2. M. ガイルス 1:22.1 3. P. バートン 1:22.4 4. P. オベンデン 1:22.4 5. M. ギブソン 1:25.1 6. L. キングストン 1:26.8
- 女子 220Y 混 1. B. ベインプリッヂ 2:50.2 2. R. ラシグ 2:57.6 3. P. ハンチングフォード 3:01.8 4. G. ベケット 3:02.3 5. A. リードン 3:10.5 6. L. ワーデン 3:10.7
- 女子 440Y 繼 1. サウス オーストラリヤ 4:38.8 2. ニューサウスウェールズ 4:39.1 3. クイーンズランド 4:48.0 4. ヴィクトリヤ 4:58.1
- 女子 440Y 混継 1. ニューサウスウェールズ 5:21.5 2. クイーンズランド 5:37.3 3. ヴィクトリヤ 5:47.4
- 女子飛板飛込 1. M. マツクオーレイ 139.58 2. R. バートン 132.98 3. I. ハツチス 125.76 4. A. プライス 114.33 5. P. シツクネシー 98.90 6. P. ハワード 98.89
- 女子高飛込 1. B. マックオーレイ 84.24 2. R. バートン 65.46 3. A. プライス 65.23 4. I. ハツチス 61.51 5. P. トリビー 59.68 6. P. シツクネシー 48.15
- 以上の他にジュニア一部の選手権も行われたが主な記録は次の通り
- 男子 110Y 自 G. シプトン 1:01.2 R. マレー 1:01.7
- 男子 440Y 自 J. コンラッジ 4:47.3 B. エリオット 4:56.8
- 男子 110Y 自 A. フィングルトン 1:13.1 G. ローイ 1:13.8 R. デーイ 1:13.9
- 男子 110Y 平 J. フォード 1:20.6
- 男子 110Y バタ P. アンダーソン 1:10.6
- 女子 110Y 自 F. リーチ 1:04.6 (長水路世界最高) E. フレーザー 1:08.5
- 女子 220Y 自 E. フレーザー 2:32.1 L. キングストン 2:33.3 F. リーチ 2:33.5 F. マッキロップ 2:36.5
- 女子 110Y 背 G. ベケット 1:18.1 A. ビーヴモア 1:18.9
- 女子 110Y 平 B. エバンス 1:26.6 B. サイクス 1:26.6 L. ホイリヤー 1:26.7
- 女子 100Y バタ B. ベインプリッヂ 1:18.0 P. バートン 1:21.9
- 女子 100Y 自記録の中フレーザーの 1:04.5 リーチの 1:04.6 は 100M の世界公認記録、デンオーデンの 1:04.6 (25M 水路) を実質的に破っている。
- 以上は選手権大会の記録であるが、本大会以外の競技会で出た好記録は次の通りである。(何れも長水路)
- 男 110Y 自 J. デヴィット 56.5(1月20日)  
(長水路世界最高)
- 男 440Y 自 M. ローズ 4:32.5(1月中旬)
- 男 880Y 自 M. ローズ 9:34.3(世新)(1月18日)  
途中 800M 9:31.4
- 男 1650Y 自 M. ローズ 18:26.5(1月18日)  
途中 1500M 18:20.8
- 男 110Y 背 D. タイラ 1:04.0(1月28日)  
(長水路世界最高)
- 女 100M 自 J. マンロー 1:06.9(1月17日)

女 200M 自 J. マンロー 2:28.0(1月19日)  
女 400M 自 J. マンロー 5:16.0(1月18日)  
なお以上の他に米国エール大学に留学中のオーブリも返り咲いて元気な所をみせている(米国の項参照)

● 欧洲 とりあげる程のニュースはないが、昨年の秋以来の目ぼしいものを掲げてみると、男子では自由形のニエキ(洪)ザボルスキ(洪)ロマニ(伊)モンセレー(仏)ラブリネンコ(ソ)背泳のボゾン(仏)マギャール(洪)平泳のボデインガー(独)ウタシー(洪)バタフライのタンペック(洪)シモンズ(英)等のベテランが依然として強く新人としてはドイツのメーベル、ウェーバー(共にバタフライ)等が僅に氣をはいている程度である。女子ではオランダのガステラース・フォールビが夫々100M自、100Mバタに世界新を出した。主な成績は次の通りである。

○モスクワの国際水上競技大会は11月13、14、15の3日間アルムスタジオン(室内50米プール)で行われた。

男子 100M 自 1. R. ロバーツ(英) 58.1 2. V. スコモロフスキ(ソ) 58.3 3. L. パランディン(ソ) 58.7 4. G. ラルソン(瑞) 58.7 5. E. エダシ(ソ) 58.7 6. V. ソロキン(ソ) 58.7

男子 400M 自 1. S. ザボルスキ(洪) 4:43.4 2. G. モンセレー(仏) 4:44.0 3. Y. アボビヤン(ソ) 4:48.4 4. J. コリノン(仏) 4:53.1 5. M. ボビッチ(ソ) 4:53.7 6. S.G. カールソン(瑞) 4:56.4

男子 1500M 自 1. S. ザボルスキ(洪) 18:55.3 2. V. ラブリネンコ(ソ) 19:04.0 3. E. プレス(ソ) 19:12.4 4. R. スリーナン(英) 19:36.6 5. V. クリヤコフ(ソ) 19:43.5 6. P.O. エリクソン(瑞) 20:14.7

男子 100M 背 1. G. ボゾン(仏) 1:05.1 2. L. マギャール(洪) 1:06.4 3. W. プロックウェイ(英) 1:07.6 4. V. ソロヴィエフ(ソ) 1:08.6 5. H. リグビイ(英) 1:09.0 6. G. コアノー(仏) 1:09.3

男子 200M 平 1. A. ゴロフチエンコ(ソ) 2:41.7 2. V. ミナシキン(ソ) 2:42.6 3. V. ブーロフ(ソ) 2:44.5 4. L. マカレンコ(ソ) 2:47.7 5. H. ブルサール(仏) 2:48.4 6. A. マヌロー(仏) 2:49.3

男子 200M バタ 1. G. シモンズ(英) 2:30.8 2. G. タンペック(洪) 2:32.2 3. R. ピロリー(仏) 2:36.6 4. V. ストルザノフ(ソ) 2:39.1 5. E. アッツ(洪) 2:39.3 6. G. ガルクーシャ(ソ) 2:40.1  
男子 800M 繼 1. ソ連2組 8:55.4 2. ソ連1組 8:58.8 3. 仏国 9:01.7 4. 瑞典 9:16.7 5. 英国 9:16.8

女子 100M 自 1. V. ギェンゲ(洪) 1:06.8 2. K. ツォーケ(洪) 1:07.6 3. G. ガステラース(和) 1:08.1 4. A. パーンウェル(英) 1:08.6 5. A. ヘルストローム(瑞) 1:09.8 6. U. フォーコバ(ソ) 1:09.8

女子 400M 自 1. V. ギェンゲ(洪) 5:18.2 2. J. ファンアルフェン(和) 5:28.2 3. A. ヘルストローム(瑞) 5:28.3 4. N. クリヤコバ(ソ) 5:34.5 5. K. ラルソン(瑞) 5:35.7 6. T. タリヤンスカヤ(ソ) 5:37.0

女子 100M 背 1. J. グリンハム(英) 1:14.7 2. J. ファンアルフェン(和) 1:15.0 3. M. エドワーズ(英) 1:15.4 4. J. デコルテ(和) 1:15.6 5. E. ペヨール(洪) 1:16.5 6. K. モスクビナ(ソ) 1:19:0

女子 200M 平 1. A. デハーン(和) 2:55.3 2. M. ガブリシュ(ソ) 3:00.3 3. M. グランディ(英) 3:01.0 4. M. オルマリ(ソ) 3:02.1 5. ヘンドリカ(和) 3:02.8 6. V. コスチナ(ソ) 3:04.6

女子 100M バタ 1. M. リトメリツキ(洪) 1:16.4 2. J. ファンアルフェン(和) 1:16.9 3. A. モルトン(英) 1:17.2 4. A. デハーン(和) 1:18.8 5. R. セッケリー(洪) 1:19.8 6. C. マカダム(英) 1:21.7

女子 400M 繼 1. 洪牙利 4:31.8 2. 和蘭 4:35.4 3. ソ連 4:44.5 4. 瑞典 4:45.3

○1955年度のハンガリー選手権大会はメルボルンオリンピックの時期に調子を合はせるため、12月12、13、14の3日間ブタペストの33米のプールで行はれたが、欧州の一流が参加し好記録が続出した。次に示す記録のうち男子200M自は共同通信によるもので他はスエーデンの機関紙 "Simsport" から転載したものである。

男子 100M 自 1. ニエキ(洪) 58.1 2. ラルソン(瑞) 58.5 3. マギャール(洪) 58.6 4. ドベイ(洪) 58.6 5. エミナント(仏) 58.7

男子 200M 自 1. ニエキ(洪) 2:07.2 2. ロマニ(伊) 2:08.7 3. ドモトル(洪) 2:12.7

男子 400M 自 1. ロマニ(伊) 4:36.2(1:04.2  
2:15.9, 3:28.8) 2. サボルスキ(洪) 4:37.7  
3. ティル(洪) 4:41.7 4. グレムロウスキ(ポ)  
4:42.7 5. モンセレー(仏) 4:48.2

男子 1500M 自 1. ザボルスキ(洪) 18:32.0  
2. ティル(洪) 18:57.2 3. グレムロウスキ(ポ)  
19:01.1

男子 100M 背 1. マギャール(洪) 1:03.9 2.  
ボゾン(仏) 1:04.0 3. バシク(チ) 1:06.0 4.  
コアノー(仏) 1:07.6

此のレースは最初マギャールとボゾンが共に1:04.  
.8で同着だったので再レースの結果、上記の通りに  
なったのである。

男子 200M 平 1. ウタシ(洪) 2:41.2 2. ハ  
イツ(ル) 2:42.3 3. ファビアン(洪) 2:44.4

男子 200M バタ 1. タンペク(洪) 2:25.1 2.  
ボベスク(ル) 2:34.9 3. フェール(洪) 2:35.1  
4. サムエル(チ) 2:39.2 5. パップ(洪) 2:39.6

女子 100M 自 1. ギエング(洪) 1:07.2 2.  
ギエルギャツク(洪) 1:07.7 3. テメス(洪) 1:08.4

女子 400M 自 1. ギエング(洪) 5:10.4 以下不明  
女子 100M 背 1. パヨール(洪) 1:14.4 2.

ザツ(洪) 1:16.4 3. ノバク(洪) 1:17.2

女子 200M 平 1. ハンセン(丁) 2:58.5 2.  
ヘレシコバ(チ) 2:58.7 3. ゼルフォソ(洪) 3:04.6

女子 100M バタ 1. ギエング(洪) 1:15.9 2.  
R.セケリー(洪) 1:17.1 3. スカピロ(チ) 1:19.0

水球 洪 7—3 伊  
女子 飛板飛込 1. サゴット(洪) 129.82 2. ハ  
ンソン(瑞) 116.87 3. バイデンガー(瑞) 107.41  
4. バモシ(洪) 106.00

他の飛込は不明である。  
○イタリーのロマニは11月25米水路(場所不明)で  
200M自に2:06.5の伊新記録を出した。

○東独の新記録(10月末、25米水路)  
男子 100M 平 フリッチャ 1:09.2  
200M 平 ノ 2:35.9

女子 200M バタ ランゲナウ 2:48.8

○西独の新記録 3月11日西独ホックで行はれた  
競技会で 200M バタに次の好記録が出た。M.メーゼ  
ル 2:24.0 H.ウエーベル 2:24.5 (25M)

○ポーランドは次の4名をメルボルンに派遣する。  
女子 クレミンスカ(バタ, 100Mベスト 1:19.5)

男子 グレムロウスキ(自, 中長 400M 4:39.8)  
1500M 18:51.7

ラチンスキー(バタ 200M 2:36.0)

ムロッコウスキ(自, 短 100M 59.1)

○アントワープの国際大会(11月末~12月始25米  
水路)

男子 100M 自 1. フェル(独) 59.6 2. ロー  
レン(白) 59.7 3. ウィレムス(和) 59.8

男子 400M 自 1. フッゲル(独) 4:45.6 2.  
デブレンク(和) 4:52.7 3. ローレン(白) 4:53.2

男子 100M 背 1. コルテウェーグ(和) 1:07.1  
2. ミルシュ(独) 1:07.6 3. シュミール(和)  
1:08.8

男子 100M 平 1. プルサール(仏) 1:12.8  
2. コズマ(白) 1:14.9

男子 200M 平 1. ボディンガー(独) 2:40.8

男子 100M バタ 1. シモンズ(英) 1:06.5 2.  
メーゼル(独) 1:07.2 3. ルシアン(仏) 1:08.4

男子 200M バタ 1. シモンズ(英) 2:30.6 2.  
メーゼル(独) 2:35.0 3. ピロリー(仏) 2:36.9

女子 100M 自 1. ガステラース(和) 1:07.0 2.  
コック(和) 1:08.6 3. イエンゼン(独) 1:09.5

女子 400M 自 1. コック(和) 5:10.0 2. デ  
ニース(和) 5:16.0 3. ピータース(白) 5:22.1

女子 100M 平 1. ウォルフ(独) 1:24.5  
女子 100M バタ 1. フォールビ(和) 1:15.2 2.  
コック(和) 1:17.4 3. デハーン(和) 1:17.9

女子 200M 背 1. ヴァンアルフェン(和) 2:36.1  
2. デコルテ(和) 2:39.7 (女子 100M 背は不明)

○オランダのA.フォールビは1956年2月5日、ヴ  
ェルツエン(和)にて、又3月18日ラ、ルビウェー  
ル(白)で100Mバタに1:11.9の世界新を出した。

水路は共に25M、公認記録は同郷の1:13.7、又C.ガ  
ステラースは3月3日アムステルダム(25M水路)  
で100M自に1:04.2の世界新を出し、1936年にデン  
ウーデン(和)が作った公認記録1:04.6を20年振り  
に更新した。

●米国 室内シーズンを終った所であるが米国人  
として活躍した選手はブリーンを始めヨルジック、  
ウィギンス等が居るが、留学生として米国滞在中の  
長沢を始め、イタリーのロマニ(中,長)ニュージー  
ランドのハーリング(背泳)豪州のオープリ(短)  
アルゼンチンのガルヴァオ(背)南阿のダンカン等  
が好記録を出して国際的にも花々しい所をみせてい  
る。

全米学生選手権大会、3月29日から3日間エール

大学で開催されたが、第1日にG.ブリーンが1500M自に18:05.9の世界新を出し、古橋の公認記録18:19.0を7年振りに更新した。結果は次の通り

(1500Mは50M水路、その他は25Y水路)

50Y自 1. ムーア(スタンフォード大) 22.1 2. オーブリ(エール大) 22.1 3. クーン(ノースウェスタン大) 22.3 (1着のムーアはロビン・ムーアである。)

100Y自 1. クーン(ノースウェスタン大) 49.3  
2. オーブリ(エール大) 49.4 3. ムーア(スタンフォード大) 49.7

220Y自 1. ウールジー(インディアナ大) 2:04.7  
2. マツケヴィット(アイオワ大) 2:06.1 3. ジョーゲンセン(ハーバード大) 2:07.7

440Y自 I. ウールジー(インディアナ大) 4:31.1  
2. ブリーン(コートランド教育大) 4:31.8 3. ダンカン(オクラホマ大) 4:38.3

1500M自 1. ブリーン(コートランド教育大)  
18:05.9(世新) 2. ダンカン(オ克拉ホマ大) 19:  
43.3 3. オカモト(テキサス農工大) 19:53.3

ブリーンの途中時間 100—1:04.2 200—2:15.2  
300—3:27.8 400—4:41.0 500—5:54.2 600—7:  
07.5 700—8:21.3 800—9:35.2(正式) 900—10:48.0  
1000—12:01.8 1100—13:15.0 1200—14:28.4 13:  
00—15:41.7 1400—16:54.5 1500—18:05.9

100Y背 1. ハーリング(アイオワ大) 58.1 2.  
メーリング(オ克拉ホマ大) 58.7 3. ガルヴァオ  
(南メソヂスト大) 58.8

200Y背 1. ハーリング(アイオワ大) 2:07.5  
2. クレップ(北カロライナ大) 2:09.2 3. メーリ  
ング(オイラホマ大) 2:10.1

200Yバタ 1. ファツゼン(北カロライナ大) 2:16.  
.3 2. デラニー(シンヴァン大) 2:16.9 3. ジョン  
斯顿(アイオワ大) 2:17.7

200Y平 1. ファツゼン(北カロライナ大) 2:2  
3.1 2. クティナ(陸大) 2:23.3 3. ホフマン(オ  
ハイオ州大) 2:24.3

200Y個人混 1. ウィギンス(オハイオ州大)  
2:07.5 2. タナベ(インディアナ大) 2:09.8 3.  
クレップ(北カロライナ大) 2:13.2

400Y継 1. エール大(コーンウェル・ロビン  
ソン, アームストロング, ギデオンス) 3:23.1 2.  
オハイオ州大 3:24.5 3. ハーバード大 3:25.4

300Y混継 1. エール大(クリントン, コーンウェル, オーブリ) 2:46.3 2. アイオワ大 3. オハイオ州大

1M飛込 1. フラウンフェルター(オハイオ州大) 514.10 2. ハーパー(オハイオ州大) 505.80

3M飛込 1. ハーパー(オハイオ州大) 505.35  
2. フラウンフェルター(オハイオ州大) 3. ウィツテン(オハイオ州大)

以上の他に目ぼしい記録をあげてみると、次の通りである。(ハーリング以外は短水路記録)

長沢二郎 100Yバタ 55.2(3月9日) 100M  
バタ 1:00.9(非公認)(2月11日) 1:01.9日新(3月9  
日) 200Yバタ 2:07.0(3月23日) 200Mバタ 2:19.3  
世新(3月13日) 220Yバタ 2:20.1世新(3月23日)

W.ヨルジツク 200Yバタ 2:08.0(2月11日)  
200Mバタ 2:21.9(2月11日)

A. ウィギンス 110Yバタ 54.4世新(1月21日)

G. ブリーン 1500M自 17:44.5(3月17日)

J. マツケヴィット 220Y自 2:05.0(2月18日)

D. ハンレー 220Y自 2:06.4(2月19日)

J. ジョーゲンセン 220Y自 2:07.2(3月10日)

440Y自 4:40.5(3月10日)

F. ナウス 440Y自 4:39.6(3月31日)

W. ウールジー 440Y自 4:31.1(3月31日)

A. ロマニ 400M自 4:30.0(3月29日)

R. オーブリ 100Y自 49.0世新(3月10日)

H. ギデオンス 100Y自 49.6(〃)

C. ダイヤー 100Y自 49.7(〃)

R. ファツゼン 200Y平 2:19.9(3月17日)

L. ハーリング 100M背 1:04.6(3月24日)

200M背 2:21.7 長水路(〃) 長水路

又女子では次の世界新が出ている。

N. ラメイ 100Yバタ 1:04.6世新(3月4日)

ワールターリードグラブ(マレー, シヤーズ, ミュ

レン, ワーナー) 400Y混継 4:23.0世新(3月4日)

● 南米 南米選手権大会は2月16日から4日間チ  
リ北部のヴィナ・デル・マールで開かれたが、結果は  
次の通りで可なりよい記録が出ている。なお此の記  
録はブラジル, マリリアの山崎嵩君から報告された  
ものである。(50M塩水)

男子 100M自 1. I. マリノ(ペル) 59.5 2.

E. ヴイララン(ペル) 59.8

男子 400M自 1. G. マルチネス(コロンビヤ)

4:39.9 2. S. サントス(ブラジル) 4:40.3

男子 1500M 自 1. O. クレーマー (アルゼンチン) 19:03.5 2. S. サントス (ブラジル) 19:06.6  
 男子 100M 背 1. J. ゴンザレス (ブラジル) 1:09.8 2. H. ソルス (アルゼンチン) 1:11.3  
 男子 200M 背 1. J. ゴンザレス (ブラジル) 2:31.1 2. O. カビギリア (アルゼンチン) 2:36.5  
 男子 100M 平 1. H. ドミングス (アルゼンチン) 1:15.6 2. O. モビリア (ブラジル) 1:16.7  
 男子 200M 平 1. H. ドミングス (アルゼンチン) 2:47.2 2. O. モビリア (ブラジル) 2:53.3  
 男子 100M バタ 1. M. リソ (ペル) 1:10.1 2. O. コッサニ (アルゼンチン) 1:09.8  
 男子 200M バタ 1. O. コッサニ (アルゼンチン) 2:36.4 2. E. オーセッド (アルゼンチン) 2:41.1  
 男子 400M リレー 1. ペル (マリノ, ヴィララン, リソ, マデネツシ) 3:59.7 2. ブラジル 4:00.7  
 男子 800M リレー 1. ブラジル (アリストルコ, M. サントス, ララ, S. サントス) 8:55.0 2. アルゼンチン 9:04.2  
 女子 100M 自 1. E. ホルト (アルゼンチン) 1:09.8 2. G. マリノ (アルゼンチン) 1:11.9  
 女子 200M 自 1. E. ホルト (アルゼンチン) 2:33.8 2. R. ボンダー (チリ) 2:39.2  
 女子 400M 自 1. E. ホルト (アルゼンチン) 5:27.2  
 女子 100M 背 1. I. アルメイド (ブラジル) 1:18.5 2. V. ロッコ (アルゼンチン) 1:19.0  
 女子 200M 背 1. V. ロッコ (アルゼンチン) 2:49.9 2. I. アルメイド (ブラジル) 2:51.7  
 女子 100M 平 1. B. ローデ (アルゼンチン) 1:28.7 2. A. オステラ (アルゼンチン) 1:30.6  
 女子 200M 平 1. B. ローデ (アルゼンチン) 3:06.4 2. A. オステラ (アルゼンチン) 3:10.2  
 女子 100M バタ 1. B. ローデ (アルゼンチン) 1:26.0 2. B. ロジゴ (アルゼンチン) 1:27.1  
 女子 400M 繙 1. アルゼンチン 4:42.6 2. ブラジル 5:04.6  
 水球 1. アルゼンチン 2. ブラジル  
 得点 男子 1. アルゼンチン 148点 2. ブラジル 137点 3. ペル 88点 4. チリー 25.5点  
     5. コロンビヤ 24点  
 女子 1. アルゼンチン 191点 2. ブラジル 85点 3. チリー 44点 4. ペル 25.5  
 ● 1955年度の長水路世界女子10傑を3月20日迄に

連盟に集つた各資料から作つてみた。世界水準が如何に高いかが一目して分る。

#### 100M 自由形

- 1:05.4 V. ギエンゲ (洪)
- 1:05.8 K. ツオーケ (洪)
- ※1:05.9 F. リーチ (豪)
- 1:06.1 W. ウエルナー (米)
- 1:06.5 R. クローン (和)
- 1:06.6 M. コック (和)
- 1:06.6 H. バルケネンデ (和)
- ※1:06.8 H. スチュアート (加)
- ※1:06.8 F. エワート (英)
- 1:07.1 B. クロンプ (独)
- 1:07.1 J. マンロー (豪)

※印 110Y

#### 400M 自由形

- 5:05.4 H. バルケネンデ (和)
- 5:06.3 M. コック (和)
- 5:06.5 V. ギエンゲ (洪)
- 5:13.6 L. デニース (和)
- 5:14.2 R. セツケリー (洪)
- 5:16.1 D. グレイ (米)
- ※5:16.8 L. クラップ (豪)
- 5:17.1 M. シュリーバー (米)
- 5:18.5 A. セボ (洪)
- 5:19.0 R. マニコバ (チ)

※印 440Y

#### 100M 背泳

- 1:13.0 J. デコルテ (和)
- ※1:14.1 M. エドワーズ (英)
- ※1:14.3 J. グリンハム (英)
- 1:14.4 J. ヴァンアルフェン (和)
- 1:14.4 H. シュミット (独)
- 1:14.8 M. マーフィ (米)
- 1:15.2 G. ヴィーレマ (和)
- 1:15.3 M. アンドレー (仏)
- 1:15.4 E. パヨール (洪)
- ※1:15.5 J. タイソ (英)

※印 110Y

#### 200M 平泳

- 2:52.4 E. セッケリー (洪)
- 2:55.3 A. デハーン (和)
- 2:56.5 J. ハンセン (丁)
- 2:57.2 B. ヘレシコバ (チ)

|     |  |            |       |                 |      |                |
|-----|--|------------|-------|-----------------|------|----------------|
| 5.  | 2:58.6   | R.クローン     | (和)   | ウールジー           | (米)  | 4:37.1         |
| 6.  | 2:58.8   | R.ブルインス    | (和)   | 大野              | (日)  | 4:37.4         |
| 7.※ | 2:59.1   | H.ゴルドン     | (英)   | 庄司              | (々)  | 4:36.4         |
| 8.  | 2:59.4   | M.ガイストラ    | (独)   | ローズ             | (豪)  | ○4:32.5        |
| 9.  | 3:00.3   | M.ガブリッシュ   | (ソ)   | チャップマン          | (々)  | ○4:41.0        |
| 10. | 3:00.3   | ギーゼル       | (独)   | ジョンストン          | (南ア) | ○4:43.3 (1954) |
|     |  | ※印         | 220 Y | ダンカン            | (々)  | ○4:37.9 (1952) |
|     |  | 100 M      | バタフライ | ソルダス            | (洪)  | 4:42.8         |
| 1.  | 1:13.8   | A.フォールビ    | (和)   | ザボルスキ           | (々)  | 4:40.2         |
| 2.  | 1:14.6   | B.ミュレン     | (米)   | ワードロツプ          | (英)  | ○4:41.5        |
| 3.  | 1:15.2   | M.シヤーズ     | (米)   | マツケチニー          | (々)  | ○4:47.0        |
| 4.  | 1:15.5   | R.セッケリー    | (洪)   | ロマニ             | (伊)  | 4:42.4         |
| 5.  | 1:15.6   | M.リトメリツキー  | (洪)   | グレムロウスキー        | (ボ)  | 4:39.8         |
| 6.  | 1:15.7   | M.コック      | (和)   | サントス            | (伯)  | 4:40.3         |
| 7.  | 1:15.7   | J.ラングナウ    | (独)   | モンセラー           | (仏)  | 4:38.8         |
| 8.  | 1:16.2   | S.マシ       | (米)   | ボアト             | (々)  | 4:38.8         |
| 々   | 1:16.2   | B.ウィツタル    | (加)   | 1500 M          | 自由形  |                |
| 10. | 1:16.9   | J.ヴァンアルフェン | (ラ)   | 大野              | (日)  | 18:29.4        |
| ●   | スエーデンの“Simsport”1月号にメルボルンで活躍を予期される選手として次の人があげている。附記のタイムは1955年以降のベストレコードでこれは坂本氏の調査によるものであるが、こんな人が、と思われるのもあるし、入れてもらいたい人もあるがその辺の判定は読者に一任する。 | コノノ        | (米)   | 18:53.0 (1954)  |      |                |
|     |  | ブリーン       | (々)   | 18:38.6         |      |                |
|     |  | オネケア       | (々)   | 18:52.3         |      |                |
|     |  | ジョンストン     | (南ア)  | ○19:01.4 (1954) |      |                |
|     |  | ダンカン       | (々)   | 19:03.5 (1952)  |      |                |
|     |  | ワインラム      | (豪)   | ○18:44.4        |      |                |
|     |  | チャップマン     | (々)   | ○19:24.2 (1954) |      |                |
|     |  | グレムロウスキー   | (ボ)   | 18:51.7         |      |                |
|     |  | ベテンプス      | (ア)   | ※18:44.4        |      |                |
|     |  | ソルダス       | (洪)   | 18:51.6         |      |                |
|     |  | ザボルスキ      | (々)   | 18:43.6         |      |                |
|     |  | 200 M      | バタフライ |                 |      |                |
|     |  | 石本         | (日)   | 2:23.8          |      |                |
|     |  | 長沢         | (々)   | 2:28.4          |      |                |
|     |  | ハリソン       | (米)   | 2:29.5          |      |                |
|     |  | ヨルジック      | (々)   | 2:29.1          |      |                |
|     |  | リオス        | (墨)   | 2:37.8          |      |                |
|     |  | タンペク       | (洪)   | 2:29.0          |      |                |
|     |  | フェイエール     | (々)   | 2:36.5          |      |                |
|     |  | ストルザノフ     | (ソ)   | 2:35.8          |      |                |
|     |  | ボペスク       | (ル)   | 2:35.1          |      |                |
|     |  | ピロリー       | (仏)   | 2:33.7          |      |                |
|     |  | シモンズ       | (英)   | 2:30.8          |      |                |
|     |  | 100 M      | 背泳    |                 |      |                |
|     |  | オヤカワ       | (米)   | 1:04.8          |      |                |
|     |  | マツキニ       | (々)   | 1:05.4          |      |                |
|     |  | 400 M      | 自由形   |                 |      |                |
|     |  | コノノ        | (米)   | 4:35.6          |      |                |

|         |      |               |
|---------|------|---------------|
| ウイギンス   | (米)  | 1:06.2        |
| ボゾン     | (仏)  | 1:04.4        |
| マギヤール   | (洪)  | 1:05.4        |
| ブロックウェイ | (英)  | 1:05.5        |
| ワードロップ  | (々)  | 1:07.8        |
| ゴンザレス   | (伯)  | 1:05.9        |
| ガルヴァオ   | (ア)  | 1:07.8        |
| タイラ     | (豪)  | 1:04.0        |
| バシク     | (チ)  | 1:06.0        |
| ハーリング   | (新西) | 1:04.6        |
| メーリング   | (南阿) | 1:07.6 (1952) |

|         |     |         |
|---------|-----|---------|
| 200M 平泳 |     |         |
| 吉川      | (日) | 2:33.7  |
| 胡麻鶴     | (々) | 2:37.6  |
| 木村      | (々) | 2:39.8  |
| グレイエ    | (丁) | 2:45.0  |
| ガウボーイ   | (米) | ※2:38.0 |
| ゴロフチエンコ | (ソ) | 2:40.5  |
| ボーデンガー  | (独) | 2:42.6  |
| エンケ     | (々) | 2:41.2  |
| ウタシー    | (洪) | 2:39.4  |

● 全米室内選手権大会(男子) 4月5, 6, 7の3日間ニューヘブンで開催、長沢の220Yバタフライを始め9個の世界新が出た。結果は次の通り。

100Y自 1. オーブリ 49.1(世新) 2. マッキンタイヤ 50.0 3. グローバー 50.2, なおオーブリは3月10日に49.0の世界新を出している。

220Y自 1. ハンレー 2:05.9 2. コンノ 2:05.9  
3. マッケヴィット 2:06.0 4. ブリーン 2:08.2

440Y自 1. ブリーン 4:30.1 2. コンノ 4:30.3  
3. ロマニ 4:39.2 4. ナウス 4:39.9

1500M自 1. ブリーン 18:20.2 2. ブルネル 19:38.2 3. スタッグマン 19:46.7, なおブリーンはそのまま1哩を泳ぎ19:40.4の世界新を出した。

100Y背 1. ウイギンス 57.0 2. オヤカワ 57.6  
3. マッキニー 58.2

220Y背 1. マッキニー 2:21.7 2. オヤカワ 2:24.6 3. クレップ 2:26.4

100Y平 1. クティナ 1:03.0(世新) 2. サンギリ 1:04.3(世対) 3. ファツゼン 1:04.5 クティナは公認記録1:04.3(ブロック, スウェーデン)を破っているが古川の未公認記録1:01.4には及ばなかった。

220Y平 1. ファツゼン 2:37.1 2. ハーディ

2:40.6 3. マトソン 2:40.8  
100Yバタ 1. ウイギンス 54.5(世新) 2. ネルソン 56.6 3. 長沢 56.6 ウィギンスは1月21日に54.4の世界新を出している。

220Yバタ 1. 長沢 2:19.4(世新) 2. ヨルジック 2:20.8(世新) 3. ネルソン 2:25.8(世新), 此の3人の記録は何れも公認記録2:26.1(ドレーク米を破っているが, 上位2人は石本の未公認記録2:20.3をも破っている。なお長沢は既に2:20.3(3月13日), 2:20.1(3月23日)を出しているが, 今回の分は最高記録である。

400Y混継 1. ノースカロライナ, クラブ(ソンナー, ファツゼン, ネルソン, マッキンタイヤ)  
3:46.0(世新) 2. ニューヘブン, クラブ 3:47.8(世新) 公認記録は3:48.0(オハイオ大)

400Y個混 1. ジエコ 4:46.6 2. ブルネル 4:51.6  
3. クレップ 4:51.5

400Y継 1. ニューヘブン, クラブ 3:26.8 2. ノースカロライナ, クラブ 3:27.7 3. イリノイ州, クラブ 3:28.1

1M飛板飛込 1. クロトワーシー 531.2 2. ギラース 3. ハリソン

● ハンガリーの水泳連盟のベラライキ氏(水球の名審判)の意見によれば水泳の記録の極限値は次のようなものだと言っている。コースは50米水路

|          |        |        |        |
|----------|--------|--------|--------|
| 男子 100M自 | 53.0   | 100M背  | 60.0   |
| 400M自    | 4:20.0 | 200M平  | 2:28.0 |
| 1500M自   | 17:5.0 | 200Mバタ | 2:12.0 |
| 女子 100M自 | 1:02.0 | 200M平  | 2:45.0 |
| 400M自    | 4:55.0 | 100Mバタ | 1:09.0 |
| 100M背    | 1:09.0 |        |        |

### チエツコの異聞

1955年度チエツコの20傑表が同国水泳連盟の機関紙に載っているが、女子の強い同国では女子記録が男子記録に可なり近い。特に1500M自では次の通りで水路長短の別こそあれ女子記録が男子より優秀という珍現象をみせている。

|     | 男子      | 女子      |
|-----|---------|---------|
| 1位  | 20:03.4 | 20:12.0 |
| 5位  | 21:24.8 | 21:09.2 |
| 10位 | 22:26.5 | 21:53.3 |
| 15位 | 23:26.9 | 22:57.2 |
| 20位 | 25:02.4 | 24:45.8 |

# 昭和31年度主要競技会要項について

昭和31年度主要競技会要項はこの程決定印刷し、加盟団体、其他に配布済みであるが、30年度実施した要項と変更になっている点を列記すれば次の通りである。

## (イ) 水泳教室

○本年より男子を東西に分ち2ヶ所で行う。

期日 男 女共 7月25~29日

場所 男子 東部(近畿以東)野沢温泉プール

西部(中国以西)久留米プール

女子 (全 国) 天理プール

○規定参加人数のほかに参加資格を得られる標準記録は30年度中学ベスト20位(本誌前号参照)の記録を標準とした。

## (ロ) 日本選手権大会

○メルボルンオリンピック予選を兼ねる。

○期日……3日間で行う(昨年迄は4日間)

○種目……男子背泳を100米と200米とした(昨年もこの種目であったが、昨年は日米対抗のため特に100米、200米としたもので平年は50米と100米であった。今後も100米、200米とすることに決めた)

○参加資格……加盟団体予選会に於ける標準記録(規定参加人数のほかに参加資格を得られる)を30年度日本競泳ベスト20位の記録を標準とした  
関東学生春期水球大会上位6校(昨年2校)に改める。

○備考……オリンピック選手選考のため女子400米リレーの試泳を行う。

200米以上の種目の予選は総べて、タイムレースにより行う。

高校生にして本大会に於て標準記録(30年度高校ベスト10位の記録を充当)を越えた者は第24回日本高校大会に地域高校を経ずして出場できる。

## (ハ) 地域高校

○種目……男子200米リレーを止めて400米メドレーリレーを加える。

○申込資格……同1学年で2回出場を認めない。  
同1学校名であっても全日制、定時制は区別する。

## (ニ) 日本高校

○種目……男子200米リレーを止めて400米メドレーリレーを加える。

○申込資格……日本選手権大会に於て別に定める標準記録(日本選手権参照)を越えた者は地域大会を経ずして申込むことができる。

## (ホ) 国民皆泳週間

8月16日(木)~22日(水)を国民皆泳週間として全国各地で各種行事を行い、水泳の普及を図る。

8月20日(月)はラジオ放送により学童皆泳大会を全国各地に於て行う。

## (ヘ) 全国勤労者大会

従前通りタイムレースによって行うが一般男子50米自由形のみ準決勝を行う。

## (ト) 全日本中学通信競技

種目……男子の200米リレーを止めて400米メドレーリレーを入れる。

女子は新たに400米メドレーリレーを加える。

会場……各都道府県1ヶ所に限定されるがこれに出場する者を決定するため各都道府県に数ヶ所の予選会場を持つことはむしろ望ましいことであって何等差支えない。

競技は遅くとも午後3時半迄に終了すること

## (チ) 国民体育大会

高校……出場制限「1府県12名以内、同一学年で2回出場を認めない」とする。

実業団……出場制限……「1府県12名以内」とする。

教員……出場制限……「1府県6名以内、1種目2名以内とする。文部省認定の小、中、高校の正教員及び専任講師に限る、時間講師、助手、事務職員は認めない」と訂正。

青年……出場制限……「1府県2名以内」に変更。

女子一般……出場制限……「1府県12名以内」とする。

備考…①オリンピック選手選考のため女子400米リレー試泳を行う。

②各都道府県の監督は競泳3名以内、飛込1名に制限する。

(島田)

# 昭和31年度

## 定例代議員会議事録

期日 昭和31年1月29日 午前9時半

場所 東京 丸ビル精養軒

### 出席者

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 北海道水泳連盟   | 根上 博                       |
| 青森県水泳連盟   | 吉田正四郎                      |
| 岩手水泳協会    | 瀬川 政雄 木村 憲<br>佐々木 猛        |
| 秋田県水泳連盟   | 田松長次郎                      |
| 山形県水泳連盟   | 出縄 善文 新穂 八郎                |
| 福島県水泳連盟   | 橋 登 斎藤重千代<br>吉田 勝平         |
| 茨城県水泳連盟   | 中山 利生 多治見祐孝                |
| 群馬県水泳連盟   | 池谷 君夫 島本 長一                |
| 栃木県水泳協会   | 田中 武男 長谷川俊雄<br>本田 武次       |
| 埼玉県水泳連盟   | 大野 元美 高島 朗<br>大杉 正臣        |
| 千葉県水泳連盟   | 広崎格五郎 石井辰五郎<br>本田惣一郎       |
| 神奈川県水泳連盟  | 白山源三郎 藤平 雅保<br>庄川 鉄治 鈴木 悟郎 |
| 東京都水泳協会   | 松沢 一鶴 勝村 肇<br>菊池 章 金田平八郎   |
| 野尻湖游泳協会   | 北村博三郎 西沢 達雄<br>柳沢 一郎 高橋庄之助 |
| 松本水泳協会    | 横山 伝 小林 高志                 |
| 山梨水泳連盟    | 石沢 羊一 小倉 一浩<br>寺田 忠雄       |
| 伊豆駿河湾游泳協会 | 井原 一夫 太田 光雄                |
| 静岡水泳協会    | 宮崎安之助                      |
| 浜名湾游泳協会   | 鈴木 清蔵 井上 利夫<br>宮本 秀夫 中村敬次郎 |
| 愛知水泳連盟    | 児玉 清雄 杜本 義信<br>志村 義久 加藤 茂  |
| 岐阜県水泳連盟   | 加藤 雄三                      |

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 富山県水泳協会  | 高田 秀男                    |
| 石川県水泳協会  | 阿部壮次郎 中上 正               |
| 三重水泳連盟   | 田村 正衛                    |
| 大阪水泳協会   | 木村 象雷 高畠 秋介<br>川島 正之     |
| 奈良県水泳連盟  | 重松 利生 神崎 保雄<br>大奥 兵一     |
| 和歌山県水泳連盟 | 池田 岩夫 村山 修一              |
| 兵庫県水泳連盟  | 石田 恒信 方 隆<br>原 剛中 和田 幸八  |
| 琵琶湖水泳協会  | 岡山 四郎 中野 太郎              |
| 鳥取県水泳連盟  | 三好 喬                     |
| 広島県水泳連盟  | 木村 豊唯 鎌田 寿夫<br>藤田 明 吉本 弘 |
| 島根県水泳連盟  | 竹下 昭尚                    |
| 山口県水泳連盟  | 中田 清一 三谷 文雄              |
| 香川県水泳協会  | 遊佐 正憲                    |
| 愛媛県水泳連盟  | 鶴田 義行 深谷 俊明<br>村上 恒夫     |
| 高知県水泳連盟  | 藤尾恒九郎 宇田久寿秀              |
| 徳島県水泳連盟  | 中山 昌生                    |
| 福岡県水泳連盟  | 安永 弘                     |
| 大分県水泳連盟  | 伊東喜久雄                    |
| 熊本県水泳協会  | 大井 健司 太田 茂幸<br>島田 豊彦     |
| 鹿児島県水泳協会 | 宮田 春雄                    |

### 本 部

|      |                  |
|------|------------------|
| 田畠政治 | 藤田 明 小池礼三 伊藤謹平   |
| 千葉真一 | 佐々木救 後藤勘三 中尾 保   |
| 関屋悌蔵 | 渡辺寛二郎 仁田順三郎 宮畠虎彦 |
| 山崎辰雄 | 外山高一 斎藤武五郎 菊田保孝  |
| 松沢一鶴 | 上野徳太郎 根上 博 志村義久  |
| 川田友之 | 牧野正蔵 沢海東助 竹林地文雄  |
| 栗村中丸 | 小山賢之助 内藤 徹 宮道 洋一 |
| 深谷俊明 | 星 一雄 伊丹康夫 和田幸一   |

勝村幾之介 時任巖 串田正夫 小川道郎  
古橋広之進 小泉正延 左近允正矩 辻花子  
山賀みや子 西沢礼子 山東初子

## 関西支部

高石勝男 森好男 岸田敏馬

## 学生部会

根上博 志村義久 岸田敏馬 川口友平  
山下勝次 中沢潔 谷訥 田中守  
長谷景治 古賀学 小椋晃吉 大石竜一  
古川勝 石本隆 沢村正一 宇野恒孝  
植田茂昭 東山充 足立達 谷内洋一郎  
中野成章 石原靖継 岩井孝之 大渡雅士  
田中忠議 島田邦男 斎藤実 中溝忠夫

## 委任状提出団体

宮城県水泳連盟 新潟県水泳協会

## 欠席団体

豊橋水泳協会 福井県水泳協会  
京都水泳協会 岡山県水泳連盟  
長崎県水泳連盟 佐賀県水泳協会  
宮崎県水泳連盟 沖縄水泳連盟

## ○開会挨拶 藤田理事長(午前10時開会)

田畠会長は緒方竹虎氏急逝の為出席が遅れているので藤田理事長よりメルボルンオリンピック大会に対し充分なる成果を挙げられる様本年は大いに努力したい旨挨拶あり。

足立氏逝去の冥福を祈る為全員黙禱

小池専務理事議事進行係となり左記の諸件を各関係者より報告した。

## ○報告事項

### 昭和30年度事業概要

#### 1. 競技会

- 日本選手権水上競技大会兼日米予選会  
7月21—24日 神宮プール
- 第4回日米対抗水上競技大会  
8月5, 6, 7日 ノ
- 地域高校選手権水上競技大会  
北海道高校 7月30, 31日 札幌中島プール  
東北 ノ 8月10, 11日 岩手金田一プール  
関東 ノ ノ 鎌倉市営プール  
中部 ノ 8月2, 3日 福井三秀プール

近畿高校 8月5, 6日 大阪プール  
中国 ノ 8月6, 7日 岡山県営プール  
四国 ノ ノ 高知市営プール  
九州 ノ ノ 福岡瀬高プール

- 日米対抗水上競技大阪大会  
8月13, 14日 大阪プール

- 日米交歓地方大会  
高知大会 8月16日 高知市営プール  
八幡大会 8月19日 大谷プール  
吳大会 8月21日 吳二河プール  
奈良(エキジビション) 8月23日 天理プール  
名古屋大会 8月25日 振甫プール

- 第23回日本高校選手権大会  
8月19, 20, 21日 神宮プール

- 第6回全国勤労者大会  
8月27, 28日 浜松市営プール

- 第1回全日本中学校水泳通信競技大会  
8月28日 全国各地

- 第31回日本学生選手権大会  
9月9, 10, 11日 神宮プール

- 第10回国民体育大会水上競技大会  
9月22—25日 鎌倉市営プール

#### 2. 選手強化事業

- オリンピック強化冬期合宿練習会  
1月4—9日 横須賀プール

- 春期 ノ 4月29日—5月5日 ノ

- 日米対抗日本代表選手合宿練習会  
7月25—8月4日 神宮プール

- 第3回水泳教室 女子  
7月22—26日 天理プール

- 男子  
7月26—30日 ノ

- 水球講習会(スマール氏)  
8月25—30日 神宮, 日大プール

#### 3. 国外派遣並びに招聘関係

##### 派 遣

- (イ) ヒリツビン(太田監督, 谷, 庄司, 胡麻鶴)  
3月6日—17日

##### 招 聘

- (イ) アメリカ(日米対抗) キッパス監督以下17名  
7月28日—8月27日

- (ロ) ノ シンクロナイズドスイミング8名

#### 4. 指導普及事業

1. 日本泳法研究会 2月19,20日  
横須賀観光ホテルプール
2. 水泳指導者講習会  
6月20—24日 国民体育館
3. ハ 檢定試験  
6月25, 26日 ハ
4. ハ 全国協議会  
6月26日 ハ
5. 国民皆泳大会 8月20日 全国  
中央会場鎌倉プール

#### 5. 建設測定事業

##### 1. 競泳池公認

|     |          |     |     |
|-----|----------|-----|-----|
| 48号 | 金田一プール   | 岩手  | 50米 |
| 49  | 上田市プール   | 長野  | ハ   |
| 50  | 長野市プール   | ハ   | ハ   |
| 51  | 今泉小学プール  | 静岡  | ハ   |
| 52  | 榛原高校プール  | ハ   | ハ   |
| 53  | 宮之城中プール  | 鹿児島 | ハ   |
| 54  | 東舞鶴高プール  | 京都  | ハ   |
| 3再  | 振甫プール    | 愛知  | ハ   |
| 4再  | 大谷プール    | 福岡  | ハ   |
| 6再  | 松本市プール   | 長野  | ハ   |
| 7再  | 三秀プール    | 福井  | ハ   |
| 152 | 福島小学プール  | 福岡  | 25米 |
| 153 | 太田市プール   | 群馬  | ハ   |
| 154 | 富士高プール   | 東京  | ハ   |
| 155 | 太子堂中学プール | ハ   | ハ   |
| 156 | 浜松南中学プール | 静岡  | ハ   |
| 157 | ハ 東 ハ    | ハ   | ハ   |
| 158 | 四倉高校プール  | 福島  | ハ   |
| 159 | 神戸高校プール  | 三重  | ハ   |
| 160 | 長野北高プール  | 長野  | ハ   |
| 161 | 鎌倉高プール   | 神奈川 | ハ   |
| 162 | 成美学園プール  | ハ   | ハ   |
| 163 | 豊浦高校プール  | 山口  | ハ   |
| 164 | 北野小学プール  | 福岡  | ハ   |
| 165 | 伊東中学校プール | 静岡  | ハ   |

##### 2. 全国各地に測量者派遣

#### 6. 記録発表

- (イ)世界記録 (ロ)日本記録 (ハ)日本新記録 (二)日本  
国際記録 (ホ)日本競泳20傑. (ヘ)日本高校競泳20傑  
(ト)日本中学20傑 (チ)日本水球代表チーム (リ)日本  
飛込10傑

#### 7. 諸会議

- (イ)代議員会 (2) (ロ)団体長会議 (1) (ハ)理事会 (12) (二)常務理事会 (20) (ホ)飛込委員会(12)  
(ヘ)水球委員会 (11) (ト)普及委員会 (9) (チ)学生委員会 (25) (リ)歓送迎会(6) (ヘ)編集委員会 (14)  
(ハ)競泳, 記録, 測定委員会, 其他 (46)

#### 8. 刊行物

- (イ)機関誌「水泳」103, 104, 105, 106, 107号  
(ロ)水球指導書

##### ◎各委員長より次の通り補足説明した

##### (イ) 普及部会 (松沢常務理事)

指導普及事業及びプール公認の件を補足説明し、  
尙今後新たにシンクロナイズドスイミングを大いに促進したいので御協力願いたいと要望

##### (ロ) 学生部会 (根上常務理事) 西本部会長代理 昨年度インターラグツヂの件報告

全国国公立大学大会の報告の後、全国学芸大学の大会開催の希望あり、各加盟団体へ協力方要望

##### (ハ) 水球部会 (沢海常務理事)

水球指導と実践パンフレット作製配付

学生リーグ戦の2回戦制実施

スマール氏コーチ、引継ぎシーズンオフ2回合同練習実施等報告

##### (二) 飛込関係 (岩佐理事) 柴原常務理事代理

本年度オリンピックに対し飛込が大いに希望がある状態にあるので各加盟団体も大いに協力して欲しい地方の飛込施設の活用方要望 (飛込講習会開催等) 飛込競技記録 (地方競技会) の詳略及講評等を委員会宛報告要望

##### (ホ) 記録関係 (宍道常務理事)

地方大会の記録を本部宛に必ず迅速に報告されたい日本記録報告は必ず正式な方法で提出されたい

尚記録の報告は10月中旬迄終るようされたい旨要望

##### (ヘ) 編集関係 (川田常務理事)

雑誌「水泳」昨年度4回発行、加盟団体の記録、技術、研究、調査、質問等投稿依頼、記録号は地方の記録原稿遅延のため本日間に合はなかつた。

##### (ト) 水泳教室その他に關して (高石強化委員長)

昨年度水泳教室 7月22日～30日於天理プール前の期間女子、後半男子

女子は今回が初めて、関西支部の指導者が担当参加人員75名 (10都道府県)

男子に関して東京より芦田コーチ 以下出向指導  
参加人員は高知県の18名を筆頭に18都道府県 119  
名

水泳教室の目的は、正しい泳法と厳格なる練習  
方法を指導するにある。

男子の場合回を重ねるに従ひ立派な泳ぎ方をする  
者が増加した、参加人員多数でプールが狭い感  
あり今後は東西に分けて行ふ等別な方法を取りた  
い。

(イ) 外国関係(川田常務理事) 安部名誉主事代理  
昨年度日米対抗報告 大成功

F I N A理事会に於てメルボルンの水温22度以  
下と発表、之の訂正方申入れ中。

ハンガリーよりの招聘があったが、期日の関係  
で辞退。

A A Uに於て31年度水泳賞を日本水連に贈呈す  
ることに決定した旨来信あり。

フィリッピンよりの男子4、女子3選手招聘あ  
るも辞退。

#### 1. 体協関係(藤田理事長)

国体、第3回アジア大会、オリンピックに対する  
補助金が少いため政府に対し復活要求中。

#### ○オリンピック対策

精銳主義 選手100名内外予定

経費1億3千万円を拠金目標(日本オリンピック  
協会の手による)とする。

選手選考規準(体協オリンピック委員会小委  
員会に於ける)はオリンピックで入賞し得る見  
込の者、前大会の記録6位に達したるものと  
規準とする。

従つて男子競泳の場合フルエントリー、プラス、  
リレー補欠若干となるものと思われるが、女子競泳  
に関しては400米リレーが稍々前記規準に近づいて  
いるのみで、全く悲観的である。

その他団体競技は大幅に制限を受ける。

#### ○国体地方持廻りの件

明年度の静岡以後持廻り中止案が出ている。

#### ○秩父宮記念体育図書館設立の件

青山の旧学習院跡に建設予定、各団体に対し  
募金(当会場に於ても本日募金実施)の依頼が  
あつた。

#### 2. 国体準備状況(兵庫県水連石田氏)

第11回国体開催地兵庫県、水泳は甲子園プール  
(西宮市)と決定(神戸市王子公園プールはス

タンド及び飛込設備不備の為中止) 但し水球準  
決までは王子公園プールにて行ふ予定  
配宿は昨年度費用と略同様としたい。

3. オリンピック強化合宿練習会(小池専務理事)  
冬期競泳合宿練習会は本年1月4日より10日  
迄、東大室内プールに於て小池、太田両コーチ  
により男子選手59名を集めて開催した。

体力を作ることを目標に体操を主として(吉  
田氏指導)1日の練習時間は体操2時間、水泳  
は30分-40分程度行った。

合宿中全員健康診断を行い、寄生虫のいる者  
若干名あったが、他に異状はなかった。

次回の春期合宿練習会は5月始め頃、別府の  
室内プールで行う予定にしている。

#### 4. ストップウォッチ購入の件(伊藤会計理事)

現在使用中のストップ・ウォッチは購入後既  
に20年以上経過したので万全を期する為め、最  
新式の大形ロンデン18個を新規購入すること  
とした。値段は1個5万8千円也(計約100万円  
也)である。

奈良、愛知より各1個宛注文があり、計20個  
服部時計店へ発注、早慶戦迄に間に合せる予定  
である、免税にはならない模様。

#### 5. 自動審判測定器の件(松沢常務理事)

放射能測定器の原理に依る測定器並びにその  
他測定器に關し目下研究中である。

#### 6. 室内プール(50米)建設の件(藤田理事長)

国立プール建設の件は未だまとまらない、天  
理教本部の廊下に作る件も検討の結果見送りと  
なった。

別府室内プールの件は外側だけ出来ており工  
事も進捗中なので3、4月頃完成する予定であ  
る。

#### ○競技会担当常務理事の件(小池専務理事)

国体 根上氏 勤労者大会 小出氏  
通信競技 宮道氏と決定

以上で報告事項終り(午前11時30分)

○中学生20傑バッヂは本会終了後水連事務所にて  
交付伝達。

F I N Aより世界記録証が到着したので各選  
手に対する贈呈式を行った。

#### ○世界記録証贈呈式

200米平泳 2:35.2 1954 田中 守

200米バタ 2:20.8 1954 長沢 二郎

昭和30年度会計決算報告書

自 30. 1. 1  
至 30. 12. 31

日本水泳連盟

| 収入の部       |              | 科 目       | 支出の部         |            |
|------------|--------------|-----------|--------------|------------|
| 予算額        | 決算額          |           | 決算額          | 予算額        |
|            |              | 経常費の部     |              |            |
| 819,202    | 819,202      | 前期繰越金     |              |            |
| 200,000    | 73,500       | 加盟金       |              | 15,000     |
| 100,000    | 120,000      | プール公認料    |              |            |
| 100,000    | 230,826      | 「水泳」誌年鑑売上 |              |            |
| 2,650,000  | 3,618,600    | 賛助金収入     |              |            |
| 30,398     | 422,289      | 雑収入       |              |            |
| 250,400    | 91,250       | 前期繰越未収入金  |              |            |
|            | △ 657,550    | 未収入金      |              |            |
|            |              | 前期繰越未払金   | 701,686      | 701,686    |
|            |              | 未払金       | △ 15,000     |            |
|            |              | 借室料       | 407,643      | 350,000    |
|            |              | 借人件費      | 736,160      | 700,000    |
|            |              | 什器備品費     | 17,675       | 100,000    |
|            |              | 会議合費      | 572,474      | 400,000    |
|            |              | 宿泊、交通費    | 742,140      | 200,000    |
|            |              | 印刷費       | 371,807      | 300,000    |
|            |              | 通信費       | 766,385      | 800,000    |
|            |              | 雜費        | 301,744      | 300,000    |
|            |              | 借入金       | 332,615      | 133,314    |
|            |              | 助成金       | 1,800,000    | 1,800,000  |
|            |              | 積立金       | 200,000      | 400,000    |
|            |              | 日米特別会計より  | 2,000,000    | 1,000,000  |
| 12,000,000 | △ 12,719,650 | 後期繰越金     | △ 9,274,936  | 8,450,000  |
|            | △ 235,440    |           | 877,990      |            |
| 16,150,000 | △ 18,160,817 | 経常費合計     | △ 18,225,285 | 15,650,000 |
|            | 892,990      |           | 892,990      |            |
|            |              | 事業費の部     |              |            |
| 100,000    | 100,000      | プール使用料    | 500,000      | 500,000    |
|            |              | 競技用品費     | 163,302      | 100,000    |
|            |              | 測定器       |              | 100,000    |
|            |              | 球関係       | 144,082      | 50,000     |
|            |              | 飛込関係      |              | 50,000     |
|            | 11,500       | 普及部関係     | 21,900       | 100,000    |
|            |              | 強化費       | 429,586      | 400,000    |
|            |              | 水泳教室      | 46,400       | 250,000    |
|            |              | 通信競技      | 23,400       | 500,000    |
| 4,000,000  | 2,068,860    | 日本選手権     | 627,046      | 800,000    |
|            | 118,040      | 全国勤労者     | 104,062      |            |
|            | 331,470      | 国民体育大会    | 279,730      |            |
|            |              | 国外国際費     | 225,894      | 1,000,000  |
|            |              | 予備費       |              | 250,000    |
|            |              | オリンピック準備費 |              | 500,000    |
| 4,100,000  | 2,629,870    | 事業費合計     | 3,565,402    | 4,600,000  |
| 20,250,000 | △ 20,790,687 | 合計        | △ 20,790,687 | 20,250,000 |
|            | 892,990      |           | 892,990      |            |

自 31. 1. 1  
至 31. 12. 31

昭和 31 年度 予 算 書

日本水泳連盟

| 収 入 の 部   |            | 科 目             | 支 出 の 部    |           |
|-----------|------------|-----------------|------------|-----------|
| 前年度決算額    | 予 算 額      |                 | 予 算 額      | 前年度決算額    |
|           |            | 経 常 費 の 部       |            |           |
| 2,000,000 | 2,000,000  | 前 期 繰 越 積 立 金   |            |           |
| 9,274,956 | 9,274,956  | 前 期 繰 越 金       |            |           |
| 892,990   | 892,990    | 前 期 繰 越 未 収 入 金 |            |           |
| 73,500    | 200,000    | 加 盟 金           | 15,000     |           |
| 120,000   | 100,000    | プ ー ル 公 認 料     |            |           |
| 230,826   | 250,000    | 「水泳」誌 其 他 売 上   |            |           |
| 3,618,600 | 1,800,000  | 贅 助 金           |            |           |
| 422,289   | 1,082,054  | 雜 収 入           |            |           |
|           |            | 前 期 繰 越 未 払 金   | 15,000     | 15,000    |
|           |            | 借 室 料           | 400,000    | 407,643   |
|           |            | 人 件 費           | 750,000    | 736,160   |
|           |            | 什 器、備 品 費       | 150,000    | 17,675    |
|           |            | 会 議 費           | 400,000    | 572,474   |
|           |            | 会 合 費           | 300,000    | 676,640   |
|           |            | 宿 泊 交 通 費       | 300,000    | 371,807   |
|           |            | 印 刷 費 「水泳誌」     | 600,000    | 561,020   |
|           |            | 〃 雜             | 200,000    | 205,365   |
|           |            | 通 信 費           | 300,000    | 301,744   |
|           |            | 雜 費             | 170,000    | 322,615   |
|           |            | 助 成 金           | 200,000    | 200,000   |
|           |            | 後 期 繰 越 積 立 金   | 2,000,000  | 2,000,000 |
|           |            | 後 期 繰 越 金       | 8,000,000  |           |
|           | 15,600,000 | 經 常 費 合 計       | 13,800,000 |           |
|           |            | 事 業 費 の 部       |            |           |
| 100,000   | 100,000    | プ ー ル 使 用 料     | 500,000    | 500,000   |
|           |            | 競 技 用 品 費       | 1,200,000  | 163,302   |
|           |            | 測 定 器           | 50,000     |           |
|           |            | 水 球 関 係 費       | 50,000     | 144,082   |
|           |            | 飛 込 関 係 費       | 50,000     |           |
| 11,500    |            | 普 及 部 関 係 費     | 50,000     | 21,900    |
|           |            | 指 導 普 及 費       | 50,000     | 429,586   |
|           |            | 水 泳 教 室         | 100,000    | 46,400    |
|           |            | 通 信 競 技         | 50,000     | 23,400    |
| 2,068,860 | 4,500,000  | 日 本 選 手 権       | 800,000    | 627,046   |
|           |            | 外 国 関 係         | 1,00,000   | 225,894   |
|           |            | オ リ イ ピ ツ ク 関 係 | 2,000,000  |           |
|           |            | 予 備 費           | 500,000    |           |
|           | 4,600,000  | 事 業 費 合 計       | 6,400,000  |           |
|           | 20,200,000 | 合 计             | 20,200,000 |           |

|             |        |      |                         |
|-------------|--------|------|-------------------------|
| 200米平泳      | 2:33.7 | 1955 | 古川 勝                    |
| 400米リレー     | 3:46.8 | 1955 | 鈴木, 谷,<br>後藤, 古賀        |
| 400米メドレーリレー | 4:17.2 | 1954 | 長谷, 田中,<br>長沢, 谷        |
| 〃           | 4:15.7 | 1955 | 長谷, 古川,<br>石本, 古賀<br>以上 |

氏出席の上、協議することに決定。

(口)選手の件

選手選出に関して常務理事会に於て協議の結果案として日本選手権に於て、大部分の選手を決定し残りを他の主要競技会の成績を加味して決定したい。

体協よりは9月末迄に選手を決定する様指示があった。(但し陸上競技はシーズンの関係上10月末迄)旨説明した。

尙、選手決定の件について熊本、福岡両連盟より之に対する意見書がでている。

之によると標準記録を設けシーズン中にそれを突破したものを候補選手として選抜し、之等による最終予選会を行って欲しいとの意見である。

瀬川氏(岩手)発言

福岡、熊本と同意見で最終予選会を、10月末行われたいとの要望あり(但し10月末との意見は体協指示に反するので不可能)

此処で、先刻より関西高石支部長中座のため藤田理事長代って高石支部長の意見を披露  
高石氏の意見

出来るだけ早い時期(出来得れば7月中)に選

◎審議事項(午前11時35分開始)

1. 会計報告及び予算の件(伊藤会計理事説明)

○第4回日米対抗特別会計決算書(45頁)

○昨年度会計決算書(43頁)

次いで渡辺監事より監査の結果、この報告は適正と認めらる旨発言。両決算書を承認。

○本年度予算書に関しては後刻説明審議する。

2. オリンピック対策の件(藤田理事長)

(口)役員決定の件

選手精鋭主義のため従って役員の数等も相当制限を受ける模様。

役員決定に関しては常務理事会に一任されたい。(承認) 本日後刻休憩中、緊急常務理事会開催、常務理事並に関西支部長高石氏亦は石田

昭和30年

第4回日米対抗特別会計決算書

日本水泳連盟

| 収入の部       |                                 | 科 目                         | 支 出 の 部                             |            |
|------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|------------|
| 予 算        | 決 算                             |                             | 決 算                                 | 予 算        |
| 10,000,000 | △ 13,108,237<br>16,920          | 東京大会                        | 2,028,531                           | 1,000,000  |
| 10,000,000 | △ 9,026,110                     | 大阪大会                        | 2,101,116                           | 1,000,000  |
| 2,000,000  | 2,000,000                       | 地方分担金                       |                                     |            |
| 5,000,000  | 5,927,530<br>488,520            | 賛助金<br>選手招聘費                | 6,517,774                           | 6,300,000  |
|            | △ 638,640<br>218,520<br>420,000 | 米選手経費<br>日本選手経費<br>選手役員地方経費 | 2,179,680<br>1,653,319<br>2,002,228 | 4,200,000  |
|            |                                 | 賞牌記念品費                      | 1,018,472                           | 600,000    |
|            |                                 | 会合費                         | 800,822                             | 700,000    |
|            |                                 | 宣伝費                         | 133,137                             | 500,000    |
|            |                                 | 交通宿泊費                       | 153,098                             | 300,000    |
|            |                                 | 雑費                          | 301,210                             | 400,000    |
|            |                                 | 経常費繰入                       | 12,719,650<br>△ 235,440             | 12,000,000 |
| 27,000,000 | △ 31,609,037<br>235,440         | 合 計                         | 31,609,037<br>△ 735,440             | 27,000,000 |

手を決定し、充分なる休養を取らせて後、コーチング・スタッフに任せるべきである。

#### 鶴田義行氏（愛媛）発言

福岡熊本岩手の意見並に高石氏の意見共に一理はある、自分は高石氏の意見に略々同感であるが之に幅を持たせて候補選手を決め之に爾後出来るだけ多く機会を与へて最終決定を行って欲しい。

#### 此等の意見に対し小池専務理事

選手決定に関しては日本選手権を重点とし、之に依って決定出来なかった選手を他の主要競技会の成績に依って決める、即ち日本選手権に於て主力を決定すると云ふ常務理事会案を強調。愛媛鶴田氏も略々同意意見了解。

#### 之に対し熊本水連大井氏発言

最終予選会開催案を強調。要するに勝負の世界であるから競技会で最終決定をし、選考と云ふ事はなるべく避けて欲しい。

此処で大阪木村氏より参考意見として次の如き発言あり。

スキー、陸上競技その他の種々の競技に於ても特に、長距離の選手決定は成る可く本競技会に近い時期に最終予選会を行つて決めている。此の方法に依ると選手がベストコンディションの状態で本競技会に臨める。故に水泳に於ても同様な事が云へるのではないか。

#### 小池専務理事

一応日本選手権大会を予選会としているので、それにトップコンディションを持って行って貰つて決める。その時トップコンディションを持って行けない者はオリンピックでもトップコンディションを持って行けないと思う。

木村氏では、もう一つの案はヘッドコーチを決め、選手の選考方法並びにその他一切のスケジュールをヘッドコーチに委せでは。

#### 藤田理事長発言

ヘッドコーチ一任と云ふ事にして後刻協議し度いと思ふが、如何（全員賛成）昼食休憩中に緊急常務理事会開催。之によつて案を立てることに決定。

午後は2時より再会

#### ○休憩中別室にて緊急常務理事会開催

理事長、常務理事、関西高石支部長、兵庫石田氏、常務理事出席

午後の審議再会（午後2時20分）

田畠会長出席

緊急常務理事会報告（藤田理事長）

オリンピック対策に関する常務理事会案として、

#### ○役員決定の件

監督兼ヘッド・コーチ 小池 礼三

競泳コーチ 太田 光雄

飛込コーチ 小柳 富男

マネージャー 古橋広之進

女子選手に対するコーチは女子選手決定の結果決める。

水球観察員ももう少し協議して定める。

#### ○選手選考方法

小池ヘッド・コーチの案により、日本選手権を予選会とし選手をでき得る限り決定し、（期日は競技要項案通り）

その他学生選手権、高校選手権、労働者大会、国体大会等も残余の選考材料とする。

以上満場一致決定する。

#### ○小池ヘッド・コーチ挨拶

#### 1. 昭和31年度予算の件（伊藤会計理事）

（44頁参照）

事業費支出の部の内競技用品費中 ストップウォッチ購入代約100万円、同オリンピック関係費200万円。

収入の部で日本選手権450万円が例年の収支予算と大幅に異なる処である。

満場一致予算承認する。

#### 2. 本年度主要競技会日程及要項の件（小池専務理事）

プリント（要項案）に就いて説明

日程に関する特別意見なく賛成。（本号表紙裏参照）

#### ○各行事別の説明

a 日本大学対中央大学戦を本年より開催する。

#### ○水泳教室要項について（小池専務理事）

水泳教室は男、久留米プール、女、天理プールで行いたいと思う。標準記録は中学20位とした旨説明。

女子の引率者は女子でなければならないかと云う質問があつたが止むを得ぬ場合男子引率者で差支えない旨説明あり。藤田理事長より久留米プールに予定した理由を説明

女子の会場は天理プール（奈良水連諒承）と決定。

高石氏意見

女子の場合1ヶ所でよいが、男子の場合参加人員が多くなり、指導がうまく行かないで、東西2ヶ所に分けて行い出来れば両方を集めて記録会を行なえれば最もよいと思う。費用は個人負担であるから会場を増やし、2ヶ所で行う事も可能であると思う。

瀬川氏（岩手）

釜石における東北大会について説明、富士製鉄釜石プールは冬でも使用可能。

水泳教室は現在迄関西方面が多いが、出来れば東北方面でも行つて欲しい。

田畠会長

全国中等学校大会が開催不可能のため、これに代るべきものとして水泳教室を1ヶ所で現在迄行つてきたが、参加者が増加すれば将来は2ヶ所又はブロックで行わねばならぬだろう。

高石氏

水泳教室は本部に於ては誰が中心になって居られるか。要項は誰が作られたか。

小池氏

従来までは競泳委員会で作成していたが、今回は冬期合宿中、小池、根上、太田、伊藤等で作った。

小池氏

只今高石氏より男子を2ヶ所との意見があつたが、この点どうでしよう。

高石氏 重ねて東西2会場説主張

田村氏（三重）

経験者の意見が最も正しいものと思われるから2ヶ所なり、3ヶ所なりで行つた方がよいと思う。

重松氏（奈良）

中学は予算の問題で遠方へは行けない処もあるので、会場を増せばその面が緩和され、近県よりの参加が多くなる。

従来は費用の点で不参加の学校も多かったよううに聞いている。

結局

女子1会場 } と決定、場所は理事会一任、細部  
男子2会場 } は理事会にて再検討をすることに  
決定

○高校大会に就いて（小池専務理事）

### ○男子リレー種目の件

現在のほかに400メドレーを増やして行つては如何の案に対し、選手の負担が大きくなり過ぎると思われるので、現事会案は200リレーを削り、400メドレーを入れる。この案に対して賛成多数で承認決定。

リレーは他に800メリレー、これは従前通り行う。

### ○日本選手権大会

- a. 期日は要項案通り8月10, 11, 12日（3日間）
- b. 種目の件 背泳、従来の50, 100, を100を200にした。

理由説明（小池氏）理事会案承認、決定。

- c. 水球申込資格の件 関東学生水球リーグ戦上位6校出場資格を与える件（従来は2校）承認
- d. 標準記録の件

地方予選会に於ける標準記録は昨年度20傑の記録を標準と決定。

高校生でオリンピックを目指し、本大会に出場する選手に対し、高校ブロック大会予選を経ずして出場資格を与えるための標準記録は昨年度高校10傑を標準にしてある。

### e. タイムレース制の件

選手権大会の期日が3日間になったため200米以上のレースに関しては予選は総てタイムレースにより行う（従来は1500米のみタイムレース）決定。

- f. 本大会をオリンピック選手選考競技会とすることに決定。他に女子選手のオリンピック参加可能性のあるものは平泳と400リレーであるので、特に番外として選抜の400メドレーを行う。このメンバーは選考委員会で決める。

### ○国民皆泳週間の件（松沢常務理事）

期日 8月16日～22日

（20日を中心とする1週間、これは20日を真中でなくとも20日を含む1週間の意味である）

### ○勤労者大会の件

- a. 一般男子50米自由形は参加者も多いのでタイムレースで予選を行い、更に準決勝を行うことに決定。
- b. 大会期間の件

従来の2日間を3日にしたいと云う意見が福岡、熊本代表より提出されたが、厚生省及び共催団体との関係もあり、現状では2日間で

事情の許す限り多数の参加者を集めて行いたい。

今後参加がこれ以上増加しすぎた時は亦方法を考えることに決定、福岡、熊本 諒承。

c. 会場の件

本年は天理と鎌倉と2ヶ所より申込があり、理事会で検討の結果、鎌倉は真夏の宿舎に難があるので天理を推し、厚生省その他の共催団体と打合せの結果、奈良県天理プールに決めた。承認

○通信競技の件

競技終了時刻を速報、——整理の関係で遅くも午後3時半とする事に決定。

a. 種目の件

男子は200メートルリレーを止めて400メートルリレーとし、女子は新たに400メートルリレーを加える。福岡、熊本よりオリンピック種目にして欲しいとの意見があったが本年は案通り決定。

b. 申込制限の件

多数人員を参加させるため、1人1種目と定める。

賞品も出来るだけ多数の生徒に与えるための奨励策にもよる。

熊本代表 九州は1人2種目、1校3名で行っている。

会長 予選会を行いこれを選んで行えばよい。

愛媛代表 陸上競技の場合、補助金があるが水泳は如何。

小池専務理事 現段階では補助金はない。

水連本部希望 各都道府県で行って欲しい。

その場合記録は必ず提出して欲しい。

○国民体育大会の件

a. 人数制限の件

体協の方針として人数をしぼっているので、高校、実業団、女子に於ても人員制限をする。即ち12名以内とする（自由100、400、平泳、背泳のフルエントリー・リレー要員）

b. 教員資格について（補足）

時間講師、助手、事務職員は認めないとする。

c. 青年の部にバタフライを追加したいとの意見（福岡、熊本）があるが、時期尚早（常務理事

会案）と思われる所以、もう1年様子を見る事とする。承認

d. 青年団府県対抗の出場制限に就いて

この件に関し、高木氏（福岡）より書面で、労働者大会に参加者メンバーにのっていても実際、試合に出てない者は国体の青年に加えて欲しいので出場制限を削除して欲しい旨、提出あり。

小池専務理事 青年は農村青年、商家の子弟等に競技会のチャンスが少ないので要項通りの方がよいと思う。

会長

組合に加わっていない者、街の青年を集めるためには、大会社の人が加わったら青年層の出るチャンスがなくなるのではないか。

以上、種々協議の結果、要項案通り承認決定。

此處で熊本代表より青年の部へバタフライを入れ300メートルを400メートルにして欲しいとの意見あり。（これは高校でバタフライを泳ぎ卒業し就職するものに対し）

小池氏

本部としては出場人員の制限等もあるので、今年1年辛抱して貰いたい、その後考慮したい、諒承。

尙体協の人員削減の線にそって、各府県の役員を競泳3名以内、飛込1名とする事、承認。

e. 水球競技参加の件（藤田理事長）

人員制限と矛盾するが、ようやく水球を府県対抗正式種目として取上げられたが、参加数が少いため中止してはと云う声が、国体委員会で出ているから各加盟団体では一層この発展のために尽力されたい。

f. 池田氏（和歌山）

中学生に国際的な選手の出た場合、全国的競技会に出場出来るよう文部省に交渉して欲しい。

（例、女子平泳青木娘の場合、県教育委に交渉方依頼）

藤田理事長

国際水準にあるものは全国大会へ出られる（文部省承認済）ことになっている県当局その他へ交渉する、諒承。

この時田畠会長挨拶退場（午後4時45分）

（故緒方竹虎氏納棺に立会のため）

○高校ブロック大会日時会場決定の件

東北 8月4, 5日 秋田市営プール  
中部 8月4, 5日 石川県松任プール  
関東 8月4, 5日 山梨県営プール

○日本記録公認種目改廃の件（小池専務理事）

下記の通り改正したい。

| 現行種目(男女共) | 改正種目              | 男子      | 女子      |
|-----------|-------------------|---------|---------|
| 自由形       |                   | 50米     | 50米     |
| 100       |                   | 100     | 100     |
| 200       |                   | 200     | 200     |
| 300       |                   |         |         |
| 400       |                   | 400     | 400     |
| 500       |                   |         |         |
| 800       |                   | 800     | 800     |
| 1000      |                   |         |         |
| 1500      |                   | 1500    | 1500    |
| リレー       | 200(4人各50米)       | 200現行に同 | 200現行に同 |
|           | 400(4人各100米)      | 400 "   | 400 "   |
|           | 800(4人各200米)      | 800 "   |         |
| 背泳        | 50                | 50      | 50      |
| 100       |                   | 100     | 100     |
| 200       |                   | 200     | 200     |
| 400       |                   |         |         |
| 平泳        | 100               | 100     | 100     |
| 200       |                   | 200     | 200     |
| 400       |                   |         |         |
| 500       |                   |         |         |
| バタフライ     | 50                |         | 50      |
| 100       |                   | 100     | 100     |
| 200       |                   | 200     | 200     |
| 潜水        | 50                |         |         |
| メドレー      | 300背, 平, 自, 各100米 | 300現行に同 | 300現行に同 |
| リレー       | 400背, 平, バ, 自100米 | 400 "   | 400 "   |

F.I.N.A.に加盟している以上は F.I.N.A にある種目にそのまま残して置き度い。

例へば女子 800, 1500 等は現在日本で行っていないが残して置く。

森氏(関西支部)

この 800, 1500 等も今後日本水連にても行える様努力願いたい。尙、短水路の記録も残しておいたらどうか。

小池氏

短水路も日本記録として公認している。

神崎氏(奈良)

ヤード制については

小池氏

ヤード制については日本では殆どないので、日本記録としては認めないが、世界記録の出た時は認めて申請している。

高石氏

種目を廃する理由はどうか。

小池氏

従来のものはそのまま残して置くが、今後についてはレースの殆どない、種目は価値も少ないと、F.I.N.A.でも改めているので、日本でも廃止した方がよいと思う。改廃の件、原案通り承認。

○シンクロナイズド・スイミングの件（松沢常務理事）

国体以来非常に進出してきた。

日本での規約は、F.I.N.A.のルールが1956年より変るためその後に決め、日本水連競技種目と致し度提案したい。

現在では A.A.U の規約に基いて進めて行きたい。講習会兼競技会等を計画している。

規則は小委員会を作り、各地へ呼び掛けて順次まとめて行きたい。異議なし。

○役員改選の件（小池専務理事）（藤田理事長）

現在、会長、専務理事の任期は年鑑には4年になっているが、これは誤りで3年である。従って今年は会長、専務理事の改選期であるが、今年はオリンピックの年もあるので、田畠会長小池専務理事は来年の定例代議員会迄留任したい。その後は任期を4年としたい。（オリンピックより次のオリンピック迄）

次に監事足立氏が昨年逝去されたので後任に奥野良氏にお願い致し度い。承認

○その他の事項

○普及部会より（松沢常務理事）

①規則改正、即ちシンクロ等追加、夏の代議員会に於て計る

②日本泳法研究会について説明

③指導者検定試験合格者、住所不明の方の再調査依頼（正確な住所を普及部会宛連絡願いたし）

○強化委員会について（高石氏）

指導強化が水泳の基礎を作る上に大切な事であることは異存はない筈である。

昨年度は本部に予算がないというので何の仕事もしなかった。

本年度も予算を見ると強化委員会の予算が加へられていない。今後強化委員会の活動をやらねばならぬのか、それとも止めてしまってよいのか皆さんにお計りしたい。続けて行く限りは予算を増

して欲しい。

藤田理事長

予算は普及指導費として一応 5 万円であるが入れてある、活潑に活動して戴ける分には予備費等もあるのでその方から出し得る、予算面に特に強化と云う字を使わなかったのは今年はオリンピックがあり、それと混同されるので使わなかつたのである。

鶴田氏（愛媛）

地方強化は大切なことで費用はかさんでも力を入れて将来のため大いに尽力してほしい。

木村氏（大阪）

ヘッドコーチが専務理事を兼ねるのは負担が多いのではないか。

藤田理事長

長年の自分の経験から見て体協その他の関係から渉外上好都合と思う。亦、多忙な場合は常務理事会で処理して行くことにしたらどうか。

関谷氏（顧問）

この問題については出来るだけ早い時期にヘッドコーチの方に専念して貰いたい、メルボルン大会に対しては特に選手の健康管理の問題に

就き留意されたい。

藤田理事長

ではこの問題に関しては会長にもよくお話ししてコーチとしての働きにぶらぬように努力する。

木村氏

アメリカの情勢（ジュニア、オリンピック）説明後、日本に於ても教育畠の方々に大いに協力を求めてこれを行へば、その層も広いし、手も多いのでより以上の効果が上るのでないか。

神崎氏

木村氏と同意見なるも、中高校生に関しては強化委に小中学生で泳ぎを始めるものに関しては普及部に委ね、予算もその様に計上し、委員会がもっと活潑に動くよう願いたい。

藤田理事長

常務理事会で良く検討し遺憾ないよう進めて行きたい。

#### ◎閉会挨拶（藤田理事長）

閉会（午後 5 時 50 分）

（小川、岩佐、島田）以上

## 連 盟 日 誌 (昭和 30 年度)

5月1日（日）春季競泳合宿練習会第3日（横須賀観光ホテルプール）  
5日（木）〃 終る  
6日（金）理事会  
7日（土）学生水球委員会  
9日（月）飛込委員会  
10日（火）財務委員会（松むら）編集委員会  
12日（木）常務理事会  
13日（金）学生総務委員会、水球委員会  
17日（火）NHKとの懇談会（松むら）  
19日（木）常務理事会  
20日（金）厚生省との打合せ会（松むら）  
23日（月）指導者講習会打合せ会（国民体育館）記録委員会  
24日（火）学生水球委員会、編集委員会  
25日（水）神宮プール専門委員会、早慶対抗メンバー交換会、水球小委員会  
26日（木）常務理事会  
27日（金）三大学対抗打合せ会

28日（土）関東学生水球リーグ戦（神宮プール）  
（日大プール）  
29日（日）〃  
31日（火）競泳委員会  
6月1日（水）神宮プール開き 神宮プール  
報道関係との懇談会（東生園）  
3日（金）常務理事会  
4日（土）学生水球委員会、三大学対抗メンバーメンバー交換会  
5日（日）第27回早慶対抗競技会（神宮プール）  
8日（水）常務理事会  
11日（土）中大対法政記録会（中央大学プール）  
12日（日）日立、明三大学対抗競技会  
（神宮プール）  
13日（月）水球委員会  
14日（火）飛込委員会  
15日（水）編集委員会  
16日（木）理事会  
17日（金）東部医歯薬打合せ会、鎌倉プール打合せ会

- 18日（土）日米対抗全国打合せ会
- 20日（月）水球小委員会、水泳指導者講習会始  
る  
(国民体育館)
- 22日（水）普及部委員会、通信競技打合せ会  
(朝日新聞社)
- 23日（木）全国労働者打合せ会、常務理事会
- 24日（金）国体打合せ会  
(神奈川県庁)  
水泳指導者講習会終る
- 25日（土）学生実行委員会  
水泳指導者資格検定試験 第1日  
(国民体育館)  
検定試験委員会全国協議会 第1日(〃)
- 26日（日）水泳指導者資格検定試験 第2日(〃)  
検定試験委員会全国協議会 第2日(〃)
- 27日（月）編集委員会
- 28日（火）飛込委員会
- 30日（木）常務理事会
- 7月1日（金）東部国公立大会メンバー交換会  
藤田、清川両氏送別会（松むら）
- 2日（土）東部医歯薬大会メンバー交換会
- 3日（日）東部理工科大学大会  
(東京工大プール)
- 4日（月）編集委員会
- 6日（水）水球委員会、藤田理事長大阪へ転勤
- 7日（木）常務理事会
- 8日（金）飛込委員会
- 9日（土）日米大阪大会打合せ会  
(大阪)
- 10日（日）東部医歯薬大会（中央大学プール）  
東部国公立大学大会  
(都立大学プール)
- 11日（月）〃  
(〃〃〃)
- 12日（火）実行委員会
- 13日（水）日本選手権、代議員会打合せ会
- 14日（木）理事会
- 15日（金）日本選手権大会番組編成会
- 16日（土）〃  
学生水球委員会
- 18日（月）飛込委員会
- 21日（木）日本選手権大会 第1日(神宮プール)  
清川常務理事アメリカへ出発
- 22日（金）日本選手権大会 第2日(神宮プール)  
日米対抗打合せ会
- 23日（土）日本選手権大会 第3日(神宮プール)  
定例代議員会  
(明治記念館)
- 27日（水）報導関係との打合せ会
- 28日（木）米国選手羽田着来朝  
(キッパス監督以下17名)
- 29日（金）米国選手歓迎会  
(光輪閣)
- 8月3日（水）日米両チーム打合せ会（稻垣）
- 4日（木）日米競技役員打合せ会
- 5日（金）第4回日米対抗競技第1日  
(神宮プール)
- 6日（土）〃  
第2日（〃）
- 7日（日）〃  
第3日（〃）
- 8日（月）普及部委員会
- 12日（金）学生水球委員会、水球委員会
- 13日（土）国民皆泳大会打合せ会
- 17日（水）機械測定委員会
- 18日（木）通信競技打合せ会
- 19日（金）労働者大会打合せ会  
第23回日本高校大会 第1日  
(神宮プール)
- 20日（土）〃  
第2日（〃）  
国民皆泳大会（中央会場鎌倉プール）
- 21日（日）第23回日本高校大会 第3日  
(神宮プール)
- 22日（月）関東学生水球トーナメント第1日  
(神宮プール)
- 23日（火）〃  
第2日（〃）  
国体報導関係打合せ会  
(鎌倉)
- 24日（水）関東学生水球トーナメント第3日  
(神宮プール)
- 25日（木）中学水泳通信競技打合せ会  
水球講習会（スマーリー氏指導）始る  
(神宮プール)
- 26日（金）東京都国体、中学水泳大会 第1日  
(神宮プール)
- 27日（土）〃  
第2日（〃）
- 28日（日）〃  
第3日（〃）  
第1回全日本中学水泳通信競技  
(全国)
- 〃  
整理（朝日新聞社）
- 29日（月）関東学生大会メンバー交換会
- 31日（水）水球講習会（スマーリー氏指導）終る
- 9月1日（木）スマーリー氏との懇談会（稻垣）
- 3日（土）関東学生選手権大会 第1日  
(神宮プール)
- 4日（日）〃  
第2日（〃）
- 5日（月）関東学生総務委員会  
日本学生大会メンバー交換会
- 6日（火）飛込委員会
- 8日（木）常務理事会
- 9日（金）第31回日本学生選手権大会 第1日  
(神宮プール)
- 10日（土）〃  
第2日（〃）

日本学生定例代表委員会(神宮プール)  
貴賓席控室

11日(日) 第31回日本学生選手権大会 第3日  
(神宮プール)

13日(火) 普及委員会

14日(水) 編集委員会

15日(木) 理事会

22日(木) 第10回国体水泳大会 第1日  
(鎌倉プール)

23日(金) ツ  
24日(土) ツ  
25日(日) ツ  
29日(木) 常務理事会

10月1日(土) 日本大学記録会(富士高校プール)

5日(水) 編集委員会

6日(木) 常務理事会

10日(月) 水泳懇談会(財務)(松むら)

12日(水) 学生水球委員会, 水球委員会

13日(木) 常務理事会

18日(火) 外国関係委員会

20日(木) 理事会

22日(土) 水連役員家族慰安会(光輪閣)

25日(火) 学生水球委員会

関東学生水球合同練習会始る  
(東大プール)

27日(木) 常務理事会

28日(金) 飛込委員会

31日(月) 関東学生水球合同練習会終る

11月10日(木) 審判測定器委員会, 常務理事会

11日(金) 編集委員会

18日(金) 常務理事会

22日(火) 記録委員会

24日(木) 理事会

12月3日(土) 報導(水泳担当記者)懇談会  
(伊東温泉プール)

6日(火) 別府室内プール設計打合せ会

8日(木) 普及委員会

13日(火) 厚生省との打合せ会

14日(水) 神宮プール専門委員会, 常務理事会

16日(金) 編集委員会

19日(月) 学生委員会

20日(火) 水球委員会

22日(木) 理事会

26日(月) シンクロ準備委員会

29日(木) 常務理事会

31日(土) 休  
(島田)

### 編集委員(イロハ順)(○印委員長)

|      |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 伊藤謹平 | 小川道郎  | ○川田友之 | 金田平八郎 | 多治見祐孝 |
| 高橋静子 | 中村雅明  | 上野徳太郎 | 串田正夫  | 藤田明   |
| 小池礼三 | 三枝美貴子 | 菊池章   | 宍道洋一  | 島田桃一郎 |
| 鈴木祐一 |       |       |       |       |

### 後

オリンピックイヤーを迎えて、水連はその全力を挙げてメルボルンへの準備に万全を期している。本号はその意味に於て、今迄に例を見ない程その為に紙数を費して貴重な資料を蒐めた。

田畠会長の巻頭言、スポーツライターの座談会、鈴木博士の水泳と栄養、黒田ドクターのフィジカルチェック、宍道、坂本、島田3氏の努力に依る海外ニュース、三枝美貴子氏の献立表、其の他諸先輩のオリンピック経験談等、他の運動団体のそ

### 記

れに比較して決して劣らない程立派なものが出来上った。只残念な事は、本号も紙数を大分超過したので、宮畠虎彦先輩の“30年前の話”と云ふオリンピック初期参加当時の追憶物語が、紙数の都合で次号に割愛せざるを得なくなつた事で、茲に改めて宮畠先輩におゆるしを乞ふ次第で、次号にはこれに加へて、長沢二郎君の“米国だより”を予定しているのでこれ又充分御期待に添へることを確信する。

(川田)

日本水泳連盟  
機関雑誌

水泳

第110号

昭和31年4月25日印刷  
昭和31年4月30日発行

日本水泳連盟

編集兼発行人 藤田明

印刷所 株式会社 成島印刷所  
東京都中央区日本橋本石町3の4  
電話日本総(24)1701・6509・7082

定価(年4回発行)  
1年分￥300-(予約申込者に限り  
頒布)1ヶ年前金予約は郵送料不  
要。

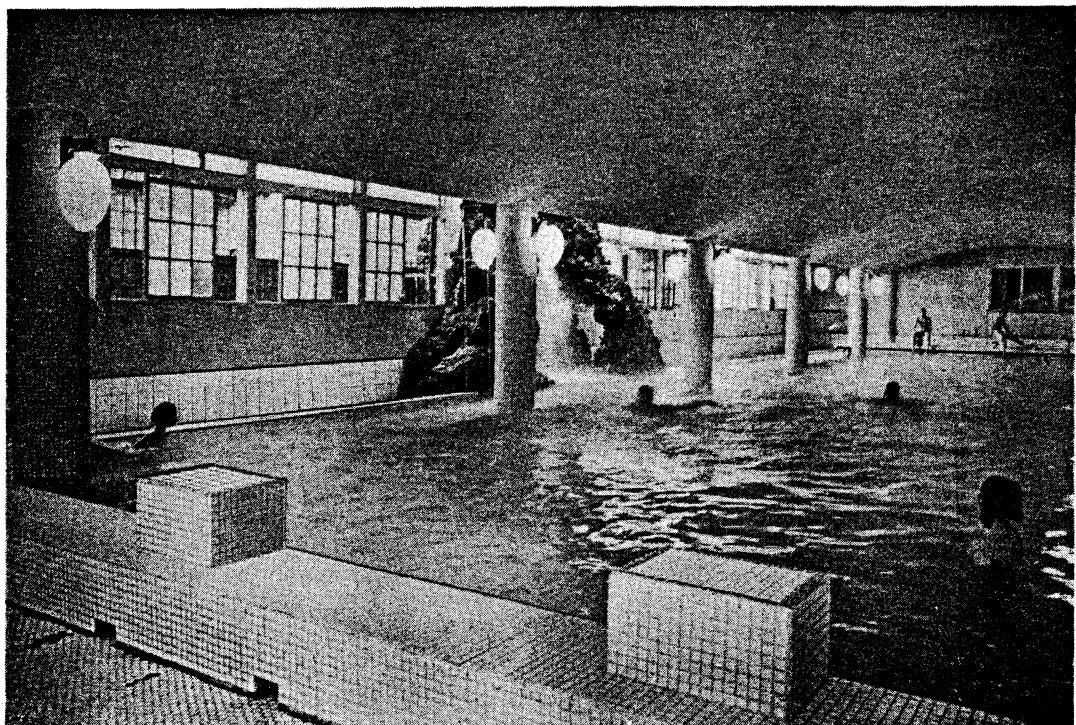
東京都千代田区丸ノ内2-2  
丸ビル722区

発行並申込所 日本水泳連盟  
電話和田倉(20)3090・4885番  
振替口座 東京5178番

日本国有鉄道推薦旅館  
日本交通公社協定旅館  
日本旅行会協定旅館  
日本水泳連盟指定プール

## 温泉旅館 伊東温泉プール

静岡県伊東市松原猪戸  
電話伊東 2013・2333



温泉プール 室内・競技用・長さ25米、巾8米、深さ1.3米・4コース  
温泉使用量 1日1万石・自然換水1日6回、子供用温泉滑り台

修学旅行、水泳合宿、団体旅行に最適

施設：収容人員300名様 露天岩風呂 舞台付大広間 男女別大浴場  
貸切風呂 ダンスホール テレビ ピンポン 暮 将棋  
宿泊料（二食付）：一般 1000円より 団体 800円より 学生 400円より

東京出張所

東京都港区芝新橋2の18

新橋駅烏森口前 電話芝(43)6402

# 競泳プール用 最新型循環濾過装置 設計、施工

50Mプール及25Mプール、徒渉プール、誤楽プール、  
温泉プール、戸外プール及屋内プール用  
塩素滅菌圧入式・硫酸銅液比例圧入式・急速濾過循環式

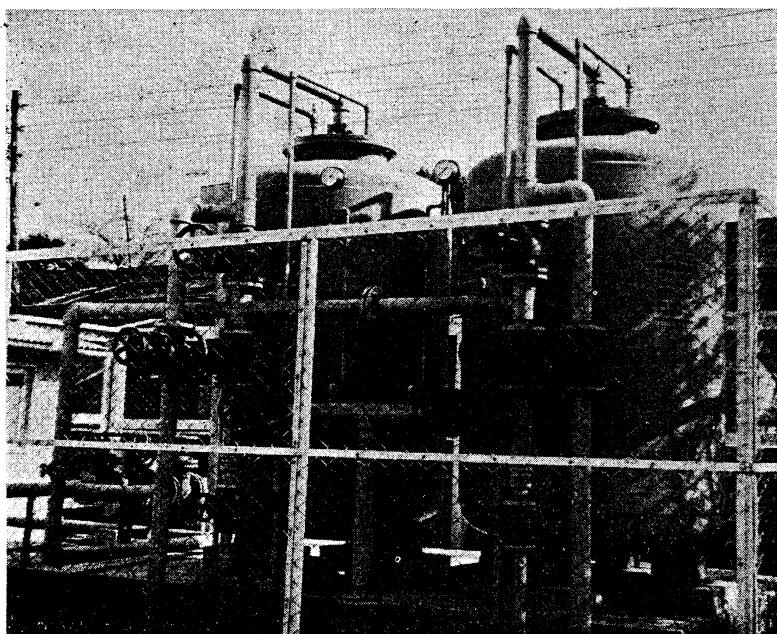
循環浄化装置はこの建物の地下室

## TURN-O ERS

プール容量の循環換水は少くも24時中3回であります。しかも薬品自動注入方式による急速濾過機を経て完全に滅菌し、且又アルゼーの発生を防止した完全な淨水が循環致します。  
依つて水泳者は清澄な水中で安全に快く泳げます。



鎌倉市営プール



立教小学校プールの循環浄化装置用急速濾過装置

## 1955年度実績

- ・鎌倉プール50m
- 立教プール25m
- 相模原米軍プール25m
- ジョンソン A. B. 白井プール  $33\frac{1}{3}$ m
- 岐阜キャンプ米軍プール50m
- 白金小学校プール25m
- 其他 5プール

## RATE OF FILTRATION

急速濾過機は内部濾床の最有効の型式であります、濾過率3ガロン/平方呎/分以上は許されません。一定時間運転後に一基づつ逆洗々滌が出来、また且又内部表面洗滌も出来ます。

# 東工業株式会社

本社 東京都港区芝白金台町2ノ34 大阪営業所 大阪市西区靱上通1ノ35  
電話大崎(49)1274・8524・9447番 電話 土佐堀(44)2657番  
工場 港区・目黒区 九州出張所 福岡市古溪町3  
電話 東③5507番